

令和2、3年度学校歯科検診に関するアンケート

目 的

コロナ禍における学校歯科検診の状況を把握し、学校現場での感染拡大を防ぎ、学校歯科保健活動の継続に資することを目的とする。

対 象

県内の公立小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校

期 間

令和2年度：令和3年3月 9日から3月19日

令和3年度：令和4年2月22日から3月25日

方 法

GoogleForms を利用したWEBアンケート

宮城県教育委員会からアンケート調査協力依頼を发出

回 答

令和2年度

区 分	学校数	回答数	回答率
小学校	381	269	70.6%
中学校	207	144	69.5%
中等教育学校	2	1	50.0%
高等学校	88	75	85.2%
特別支援学校	28	25	89.3%

令和3年度

区 分	学校数	回答数	回答率
小学校	374	268	71.7%
中学校	205	137	66.8%
中等教育学校	1	1	100%
高等学校	95	65	68.4%
特別支援学校	29	26	89.7%

調査項目

別紙各年度学校歯科検診に関するアンケート調査参照

令和3年度 新型コロナウイルス感染症下における
宮城県内学校の歯科保健活動に関するアンケート調査

学校の情報について

(1) 回答者の校種について

ア. 小学校

イ. 中学校

ウ. 高等学校

エ. 特別支援学校

(2) 学校の生徒数について（おおよそで構いません。）

() 人

(3) 学校の市町村について

() 市・町・村

(4) 学校を記載してください（自由記入）

()

コロナ禍での給食、昼食後の歯みがきについて

(1) コロナ禍以前から給食・昼食後に歯みがきを行っていましたか。

ア. 行っていた

イ. 行っていない（学校歯科健診の設問へ）

(2) 新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）で給食・昼食後の歯みがきを中止しましたか。

ア. 中止した（設問①へ）

イ. 中止していない（設問（3）へ）

【設問①】給食・昼食後の歯みがきを中止した学校用設問

【1】新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）の以前と以降で生徒の口腔内の状況に変化がありましたか。

ア. よくなった

イ. 悪くなった（歯肉・未処置歯数・舌）

ウ. 変わらなかった

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。

時 期 () 月頃

理 由 ()

相 談 ア. 学校医

イ. 学校歯科医

ウ. 職員会議

エ. 行政

オ. 教育委員会

カ. PTA

キ. その他 ()

決 定 ア. 学校医

イ. 学校歯科医

ウ. 学校長または職員会議

エ. 行政

オ. 教育委員会

カ. その他 ()

【3】学校全体の DMF 指数（永久歯対象）についてお答えください。

※不明の場合は「不明」とご入力ください。

令和3年度 学校歯科健診に関するアンケート調査結果(令和3年3月25日)

学校の情報について

(1) 回答者の校種について

区分	学校数	回答数	回答率
小学校	374	268	71.7%
中学校	205	137	66.8%
中等教育学校	1	1	100%
高等学校	95	65	68.4%
特別支援学校	29	26	89.7%

(2) 学校の生徒数について

学校の大まかな規模を示す為、以下の図の通り区分する

	生徒数の目安	学級の目安
小学校		
過小規模	200 以下	5 学級以下
小規模	201 以上 450 以下	6 ~ 11 学級
適正規模	451 以上 720 以下	12 ~ 18 学級
大規模	721 以上 1200 以下	19 ~ 30 学級
過大規模	1201 以上	31 学級以上
中学校		
過小規模	80 以下	2 学級以下
小規模	81 以上 440 以下	3 ~ 11 学級
適正規模	441 以上 720 以下	12 ~ 18 学級
大規模	721 以上 1200 以下	19 ~ 30 学級
過大規模	1201 以上	31 学級以上
中等教育学校	1 校のみの為、人数標記	
高等学校	明確な基準は無いが、便宜上、中学校に準ずる	
特別支援学校	明確な基準は無いが、便宜上、人数標記とする	

小学校	過小規模 (200以下)	113
	小規模 (201以上、450以下)	90
	適正規模 (451以上、720以下)	44
	大規模 (721以上、1200以下)	21
	過大規模 (1201以上)	0
回答数		268

中学校	過小規模 (80以下)	16
	小規模 (81以上、440以下)	90
	適正規模 (441以上、720以下)	26
	大規模 (721以上、1200以下)	5
	過大規模 (1201以上)	0
回答数		137

高等学校	過小規模 (80以下)	8
	小規模 (81以上、440以下)	24
	適正規模 (441以上、720以下)	14
	大規模 (721以上、1200以下)	19
	過大規模 (1201以上)	0
回答数		65

特別支援学校	50名以下	11
	51名以上100名以下	6
	101名以上150名以下	4
	151名以上200名以下	1
	201名以上	4
回答数		26

中等教育学校	800名	1
	回答数	1

(3) 学校の市町村について

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	中等教育学校
仙台市	87	46	18	7	1
石巻市	31	15	5	1	0
塩竈市	6	4	1	1	0
気仙沼市	10	9	3	1	0
白石市	6	3	1	1	0
名取市	9	4	1	2	0
角田市	7	2	1	1	0
多賀城市	6	2	2	0	0
岩沼市	3	3	2	1	0
登米市	10	5	3	1	0
栗原市	0	0	2	1	0
東松島市	6	1	2	0	0
大崎市	20	7	6	1	0
富谷市	6	5	1	1	0
刈田郡蔵王町	4	1	1	0	0
刈田郡七ヶ宿町	1	1	1	0	0
柴田郡大河原町	2	2	3	0	0
柴田郡村田町	2	1	1	0	0
柴田郡柴田町	6	3	0	1	0
柴田郡川崎町	3	2	1	1	0
伊具郡丸森町	1	0	1	0	0
亶理郡亶理町	4	3	0	0	0
亶理郡山元町	3	1	0	1	0
宮城郡松島町	3	1	1	0	0
宮城郡七ヶ浜町	3	2	0	0	0
宮城郡利府町	3	2	1	1	0
黒川郡大和町	6	2	1	0	0
黒川郡大郷町	1	1	0	0	0
黒川郡大衡村	1	1	0	0	0
加美郡色麻町	0	0	1	0	0
加美郡加美町	7	1	1	0	0
遠田郡涌谷町	2	1	1	0	0
遠田郡美里町	4	2	1	2	0
牡鹿郡女川町	1	1	0	1	0
本吉郡南三陸町	4	2	1	0	0
不明	0	1	1	0	0
回答数	268	137	65	26	1

コロナ禍での給食・昼後の歯みがきについて

(1) コロナ禍以前から給食・昼食後に歯みがきを行っていましたか。(行っていない場合、学校歯科健診の設問へ)

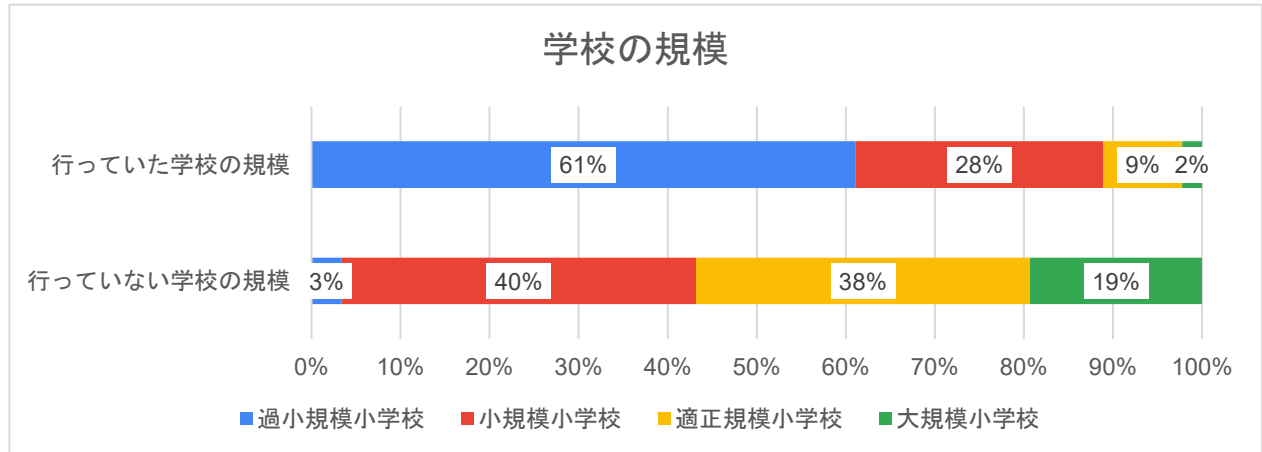
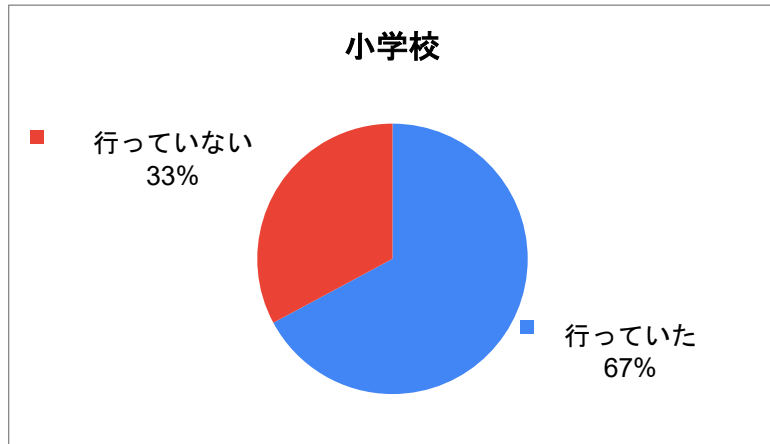
小学校

行っていた

180

行っていない

88



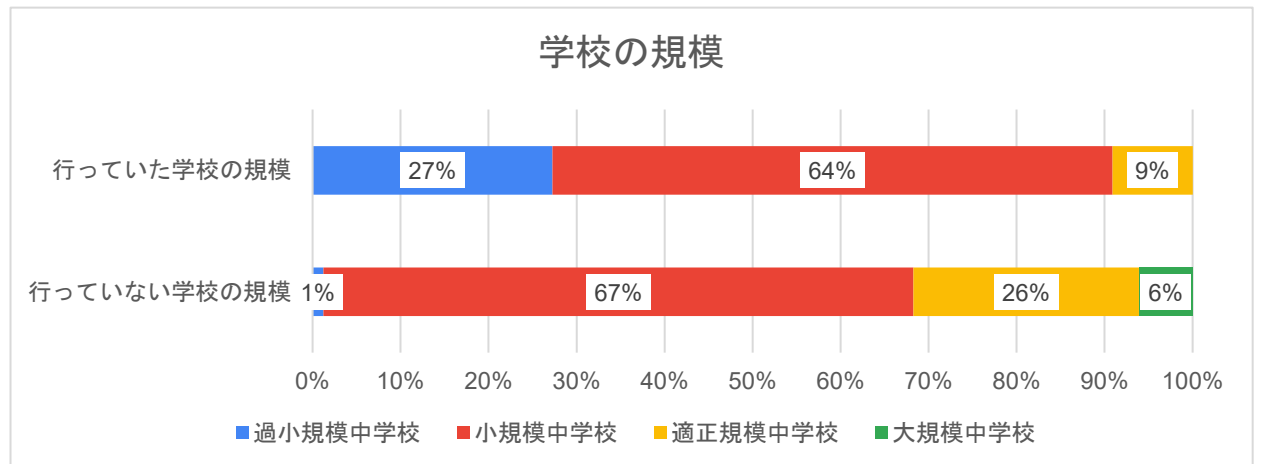
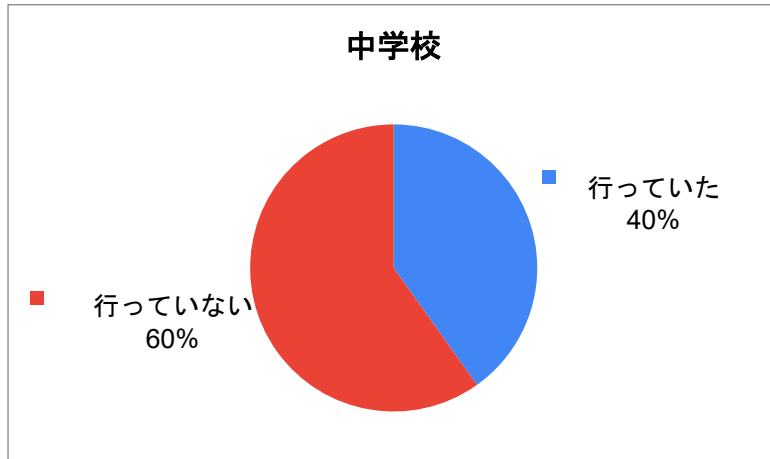
中学校

行っていた

55

行っていない

82



(1) コロナ禍以前から給食・昼食後に歯みがきを行っていましたか。の続き

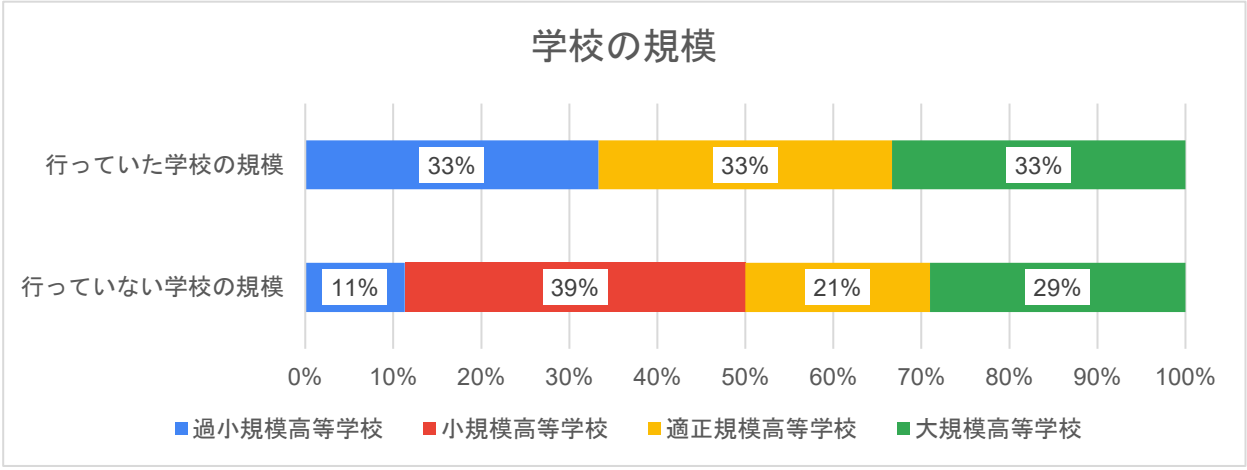
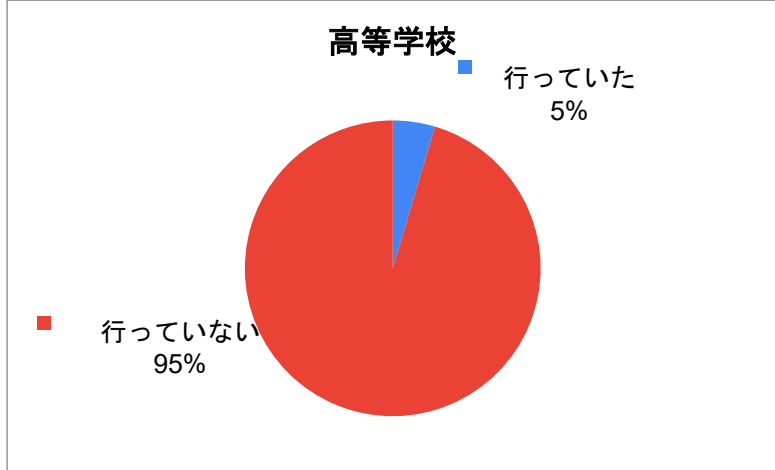
高等学校

行っていた

3

行っていない

62



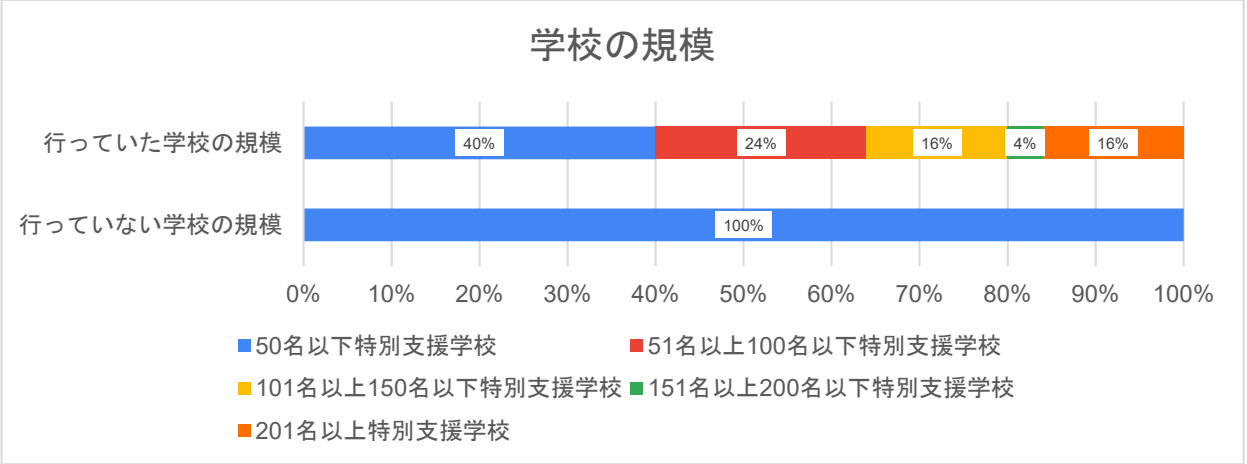
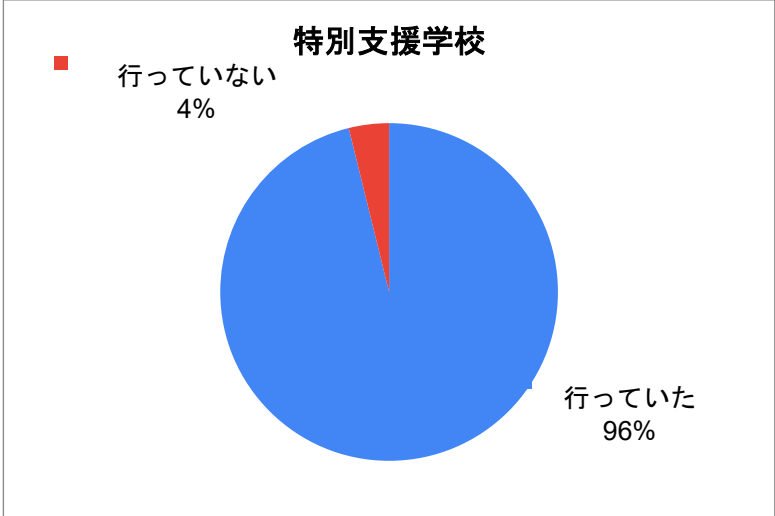
特別支援学校

行っていた

25

行っていない

1



中等教育学校 行っていない（規模：800名）

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

特別支援学校では4%と、少ない「以前から未実施」が小学校では31%、中学校では55%、高等学校では88%と給食後の歯みがきが元々あまり行われていない状況が見てとれます。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）で給食・昼食後の菌みがきを中止しましたか。

中止していない場合、設問（3）へ

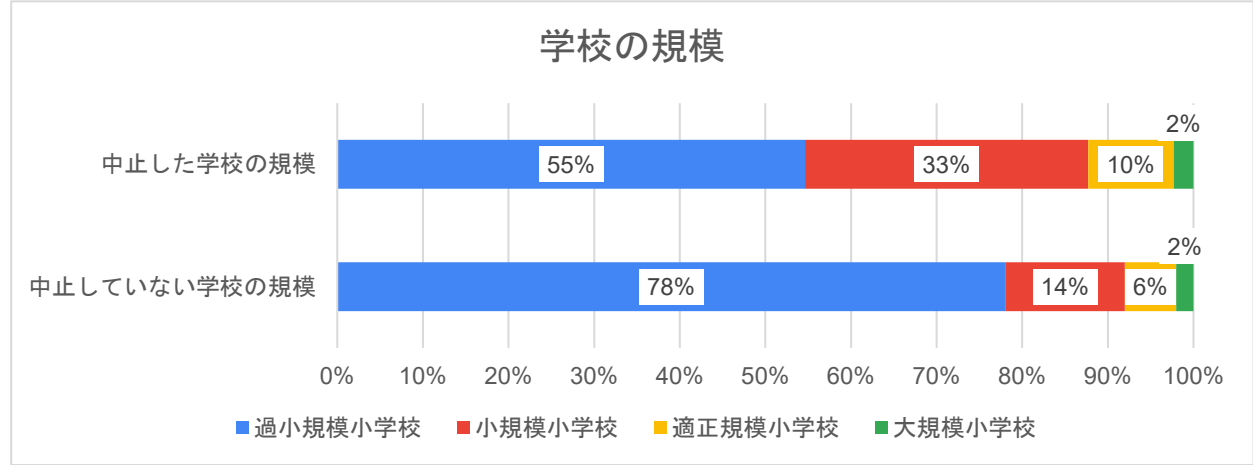
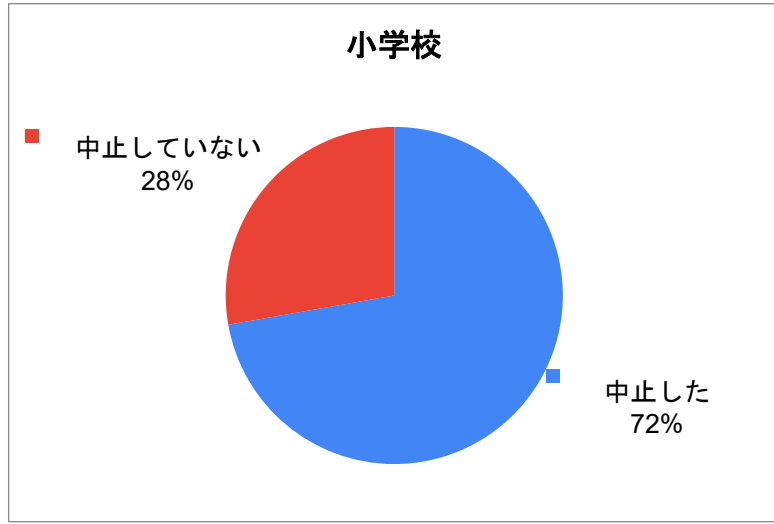
小学校

中止した

130

中止していない

50



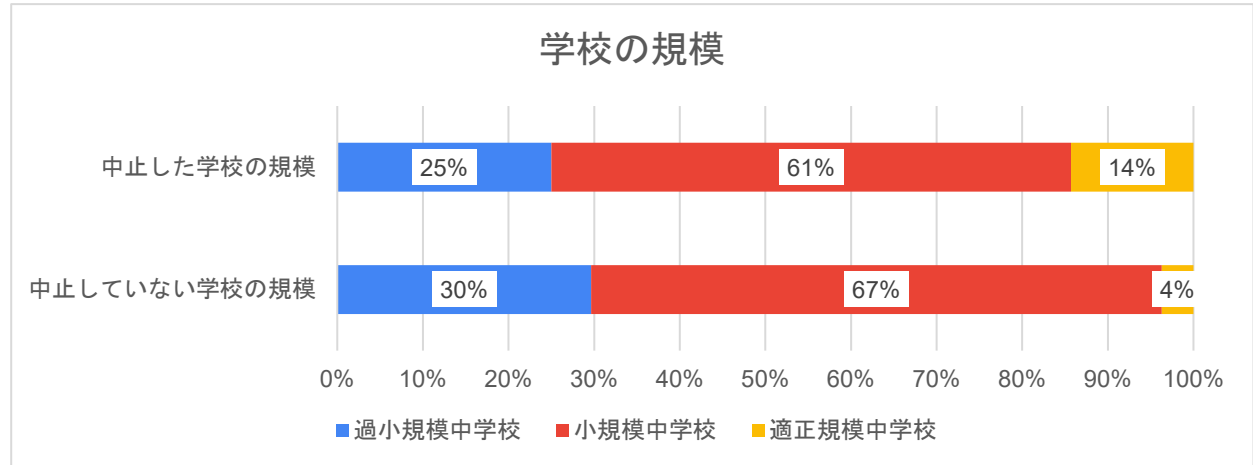
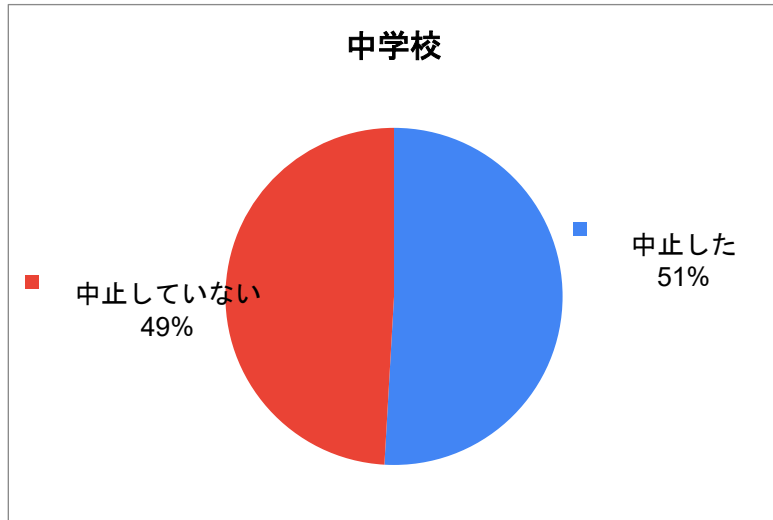
中学校

中止した

28

中止していない

27



(2) 新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）で給食・昼食後の歯みがきを中止しましたか。の続き

高等学校
中止した
中止していない

1
2

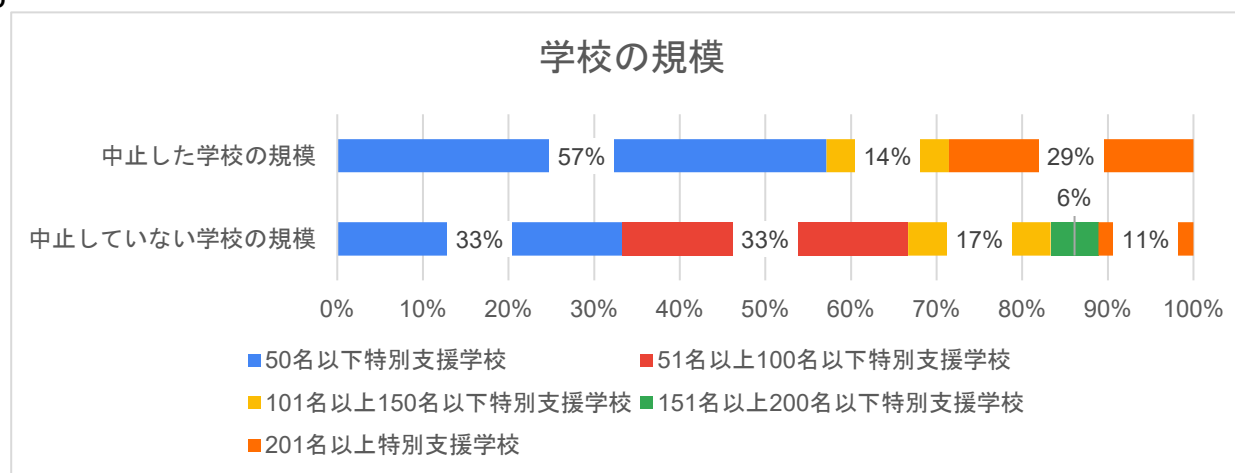
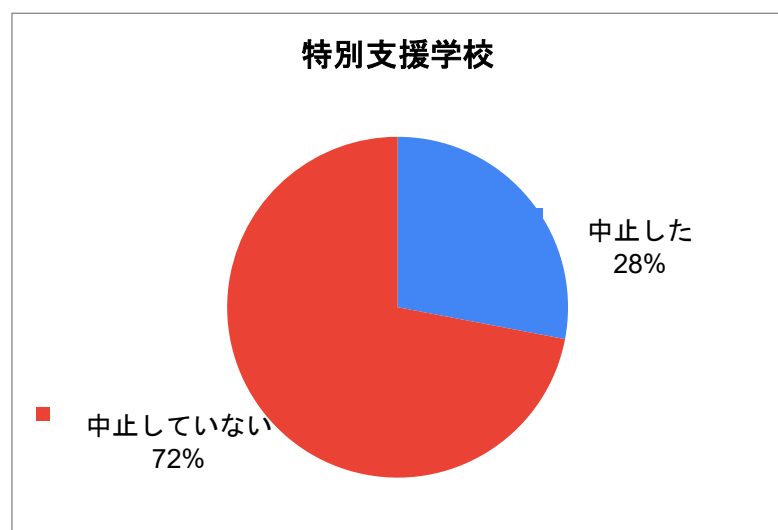
中止した学校の規模
中止していない学校の規模

適正規模
過小規模
大規模校

1
1
1

特別支援学校
中止した
中止していない

7
18

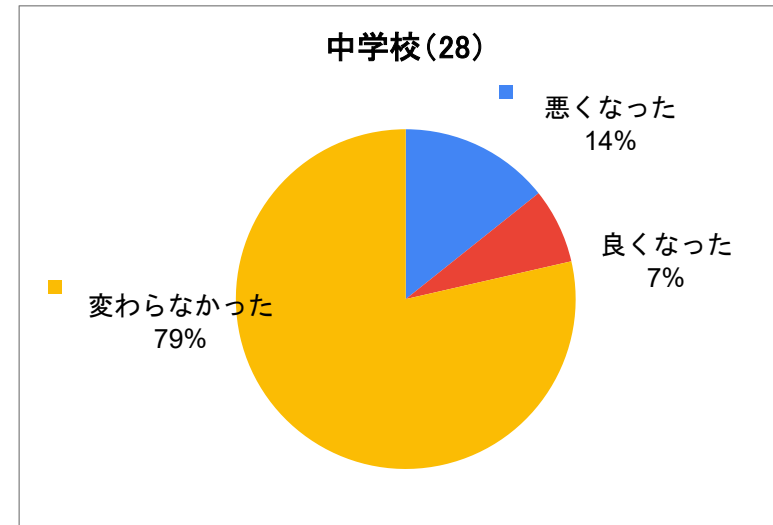
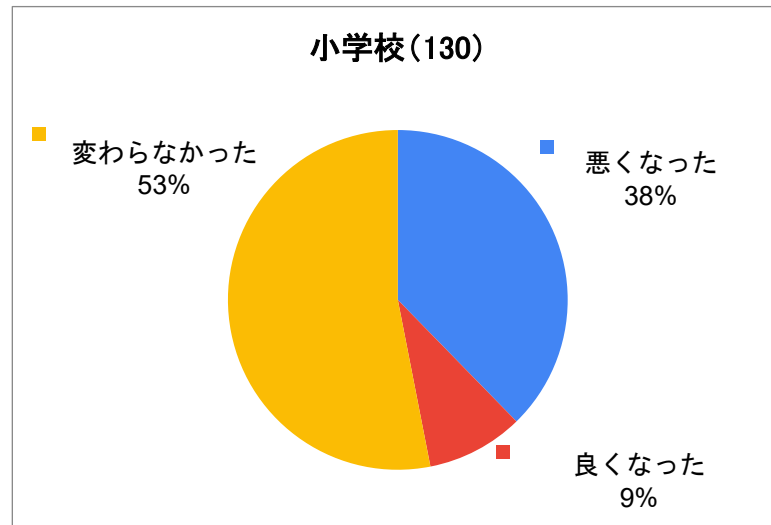


宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

小学校では40%、中学校では15%、高等学校では3%と、昼食後の歯みがきがより行われていた校種ほど、中止したことが分かります。

【設問①】給食・昼食後の歯みがきを中止した学校用設問

【1】新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）の以前と以降で生徒の口腔内の状況に変化がありましたか。



高等学校 変わらなかった（1校）

特別支援学校 悪くなった（2校）
変わらなかった（5校）

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

歯科についての数値が悪くなった、より悪い状況の児童がその傾向が強く、二極化が進んだとの回答もあり重要な機会であったことを知ることになったとの記載もありました。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。

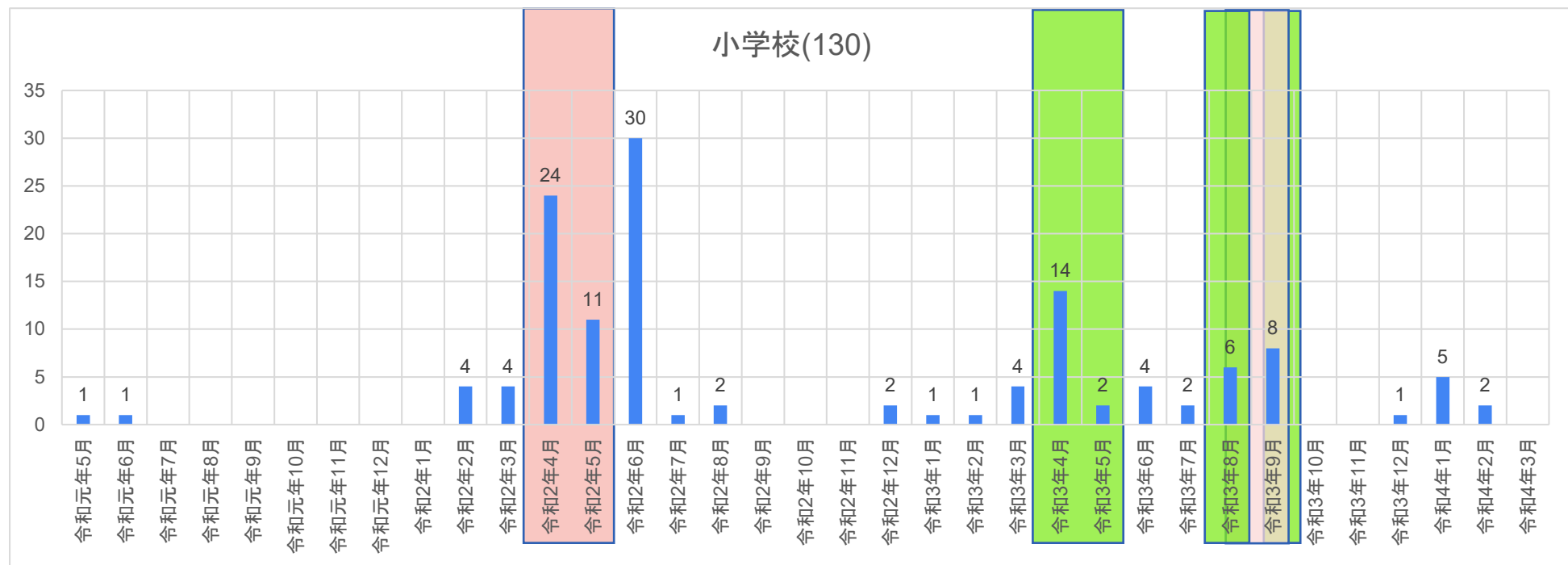
時期

まん延防止等重点措置期間

緊急事態宣言期間

[防] 2021/4/05 (月) ~5/11 (火)
 [防] 2021/8/20 (金) ~8/26 (木)
 [防] 2021/9/13 (月) ~9/30 (木)

[緊] 2020/4/16 (木) ~5/14 (木)
 [緊] 2021/8/27 (金) ~9/12 (日)



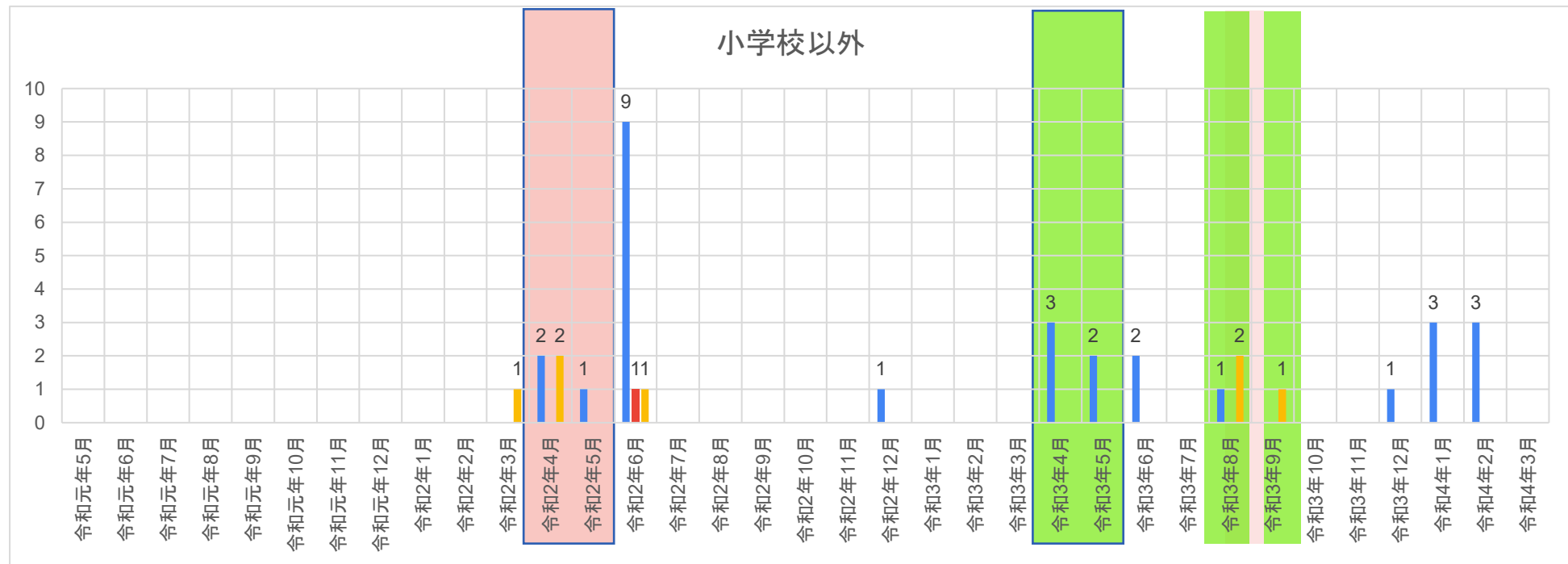
【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き

まん延防止等重点措置期間

[防] 2021/4/05 (月) ~5/11 (火)
 [防] 2021/8/20 (金) ~8/26 (木)
 [防] 2021/9/13 (月) ~9/30 (木)

緊急事態宣言期間

[緊] 2020/4/16 (木) ~5/14 (木)
 [緊] 2021/8/27 (金) ~9/12 (日)



中学校 (28)

高等学校 (1)

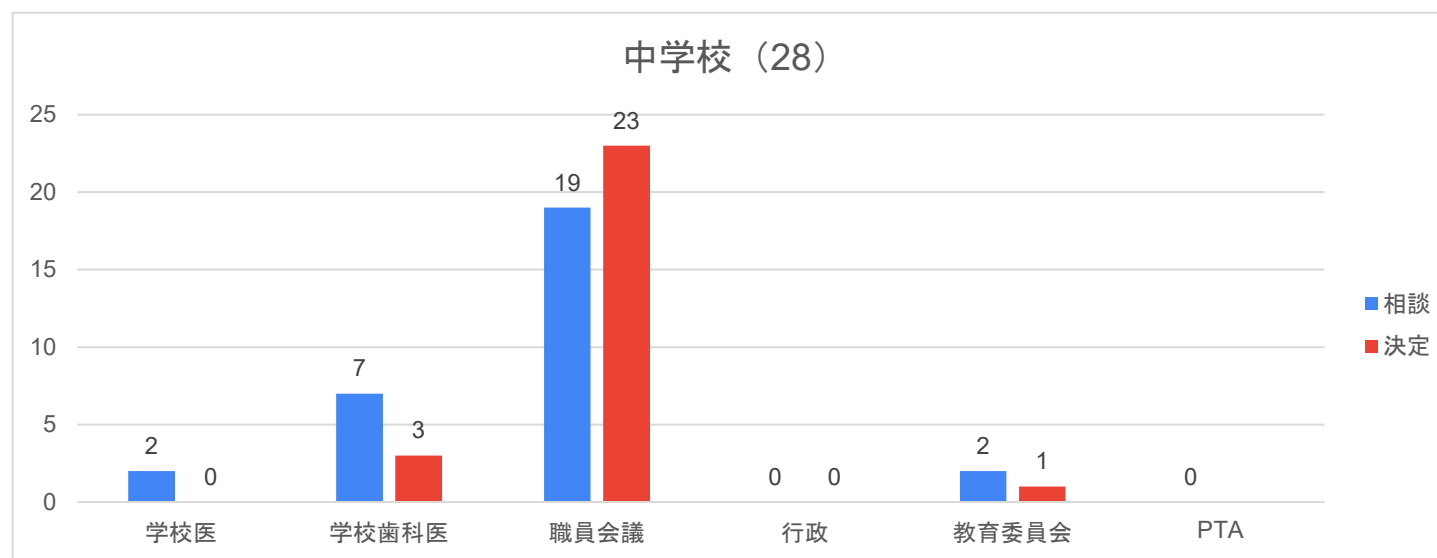
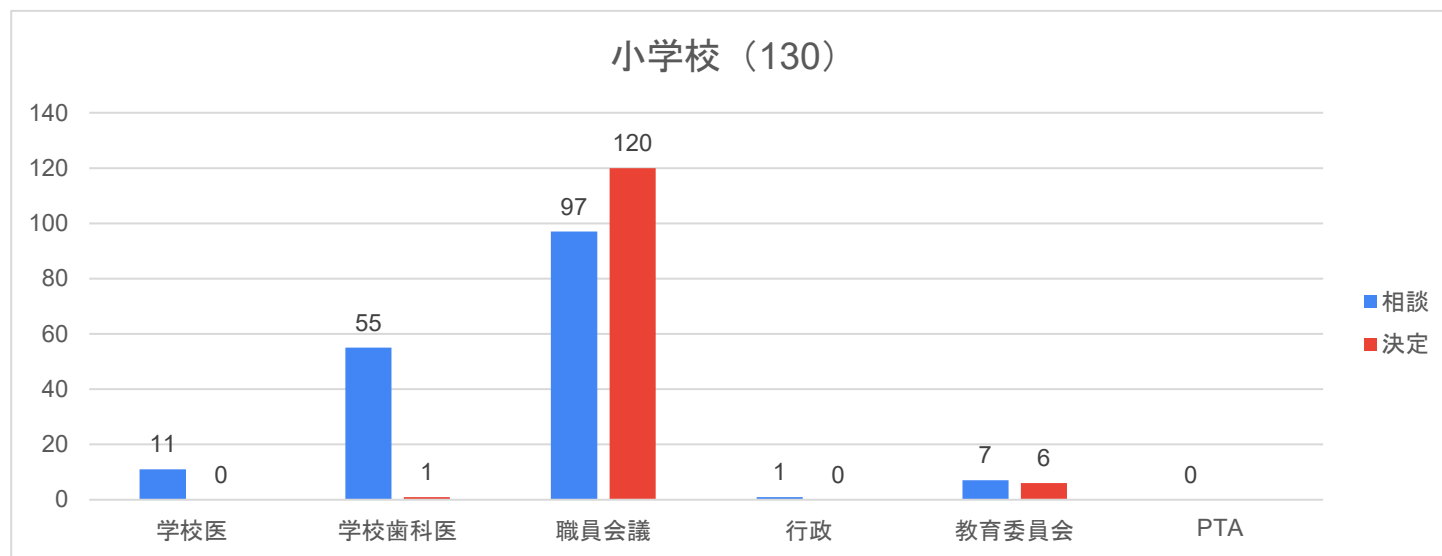
特別支援学校 (7)

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

時期については、緊急事態宣言、まんえん防止等重点措置に集中していました。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き

相談・決定 相談（複数回答可）、決定（複数回答不可）



【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き

相談・決定 相談（複数回答可）、決定（複数回答不可）

高等学校 相談：学校歯科医（1校）
決定：職員会議（1校）

特別支援学校 相談：学校医（1校）
相談：学校歯科医（3校）
相談：職員会議（3校）
決定：職員会議（5校）

相談（その他自由記入）

小学校

- ・学校職員
- ・管理職
- ・校内で管理職・養護教諭で協議
- ・学校保健部，地域の養護教諭
- ・北部養護教諭部会
- ・学校歯科医，職員会議，近隣の小学校と実施状況について情報交換
- ・管理職
- ・前任者の対応だったため不明
- ・学校独自ではなく，保健所から教育委員会へ指示があった。
- ・学校長，教頭，教務主任，保健主事，養護教諭，栄養士等の会議
- ・着任した時は、実施していなかった。
- ・学校歯科医，職員会議，同じ地区の小中学校
- ・校内保健担当職員
- ・校内感染予防対策検討委員会
- ・支部養護教諭部会で統一した
- ・学校歯科医，職員会議，学校薬剤師
- ・学校歯科医，職員会議，近隣の学校

中学校

- ・町からの指示により実施
- ・学校長判断
- ・管理職
- ・隣接校（支部）の養護教諭部会で
- ・管理職
- ・職員会議，年度初めに、町教委より今年度の歯磨きについて、各校で十分協議するよう指示あり
- ・中学校区の養護教諭部会

特別支援学校

- ・校内の保健給食部会
- ・校内感染対策委員会
- ・危機管理委員会

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き

相談・決定

決定（その他自由記入）

小学校

- ・前任者の対応だったため不明
- ・すでに決まっていた。
- ・学校

中学校

- ・特別支援学級担当者と養護教諭

特別支援学校

- ・校内の保健給食部会
- ・危機管理委員会

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

相談を行ったのは歯科校医、校医、教育委員会等で、決定は教職員会が多かった。

中止した理由（自由記入）

小学校

- ・保健所から助言があったため。
- ・新規感染者が増えたから。
- ・緊急事態宣言がだされていたため
- ・歯磨きでの感染の報道があつてから
- ・水飲み場の数が少なく密を避けられなかったため。飛沫が心配されたため
- ・緊急事態宣言明け、臨時休校明けだったから
- ・臨時休校となり、飛沫防止のため
- ・新規感染者が増えたから。
- ・緊急事態宣言中だったから。
- ・緊急事態宣言後の学校再開であつたため、中止した。
- ・町教育委員会からの指示により
- ・まん延防止等重点措置中のため
- ・感染拡大防止のため。その後再開しましたが、2021/2に濃厚接触者の判断に歯みがきの有無が関わっていたため、再度中止しました。
- ・感染防止のため
- ・緊急事態宣言発出・近隣地域のクラスター発生・「歯みがきでクラスター」の報道があつたため。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・十分な場所がないため。
- ・統合新設校のため、児童数が3倍増え、歯磨きする場所が確保できないから。
- ・緊急事態宣言が出たから
- ・感染拡大がみられたため。
- ・新規感染者が増えていたから。
- ・6月より学校が再開したが歯みがきは、ツバも飛ぶので感染に関わる。
- ・コロナ感染予防のため。水飲み場が少なく、密を避けられないため
- ・密を避けるため、飛沫感染を防ぐため。
- ・水道が密になったり、歯みがきをする際に飛沫が飛ぶリスクが考えられたため。
- ・県内で緊急事態宣言が発令されたため。
- ・感染増
- ・緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置や近隣の感染状況を踏まえて決定した。
- ・感染リスクがあるため、感染防止のための手洗い時間の確保のため歯みがき時間の設定が難しいため
- ・臨時休業明け、感染が確認されたから
- ・地域で新規感染者が出たから
- ・飛沫による感染の恐れを考えたため
- ・水道が少なく、密になるため。うがいの際に、飛沫が飛ぶため。
教室でも十分な間隔がとれず、磨いている際に飛沫が飛ぶ可能性があるため。
- ・感染予防のため
- ・歯磨きによる感染リスクが否定できないから
- ・感染予防（飛沫・洗面所の密を避けるため）
- ・緊急事態宣言後、学校再開になったが感染予防の為、学校歯科校医助言により
- ・感染リスクを最小限にするため
- ・感染予防のため

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・飛沫による感染防止のため
- ・新規感染者が増加したため。学校歯科医と相談し、手洗い場が狭く、飛沫による感染リスクがあると判断したため。
- ・感染症対策のため
- ・密が避けられない。マスクを外し飛沫が飛ぶ危険性。
- ・コロナウイルス患者の増加のため
- ・緊急事態宣言発令のため
- ・デルタ株の流行により、県内でも児童生徒の感染が報告されたため
- ・歯磨きが感染リスクにつながると考えたため。
- ・手洗い場の数が限られており、密を避けて実施することが難しいため。
マスクを外したり、唾液が口から溢れたり、感染のリスクが高まるため。
- ・地域の感染レベルの上昇（レベル2以上へ上昇）
- ・水道施設設備の不足により使用個所を分さんでできなかったため
- ・緊急事態宣言中だったため
- ・飛沫による感染の心配と学校の設置や体制を整えられないから。
- ・感染予防上、飛沫の管理が難しいから
- ・緊急事態宣言が出たから
- ・学校歯科校医の指導のもと
- ・飛沫感染予防

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・感染拡大防止のため。
- ・緊急事態宣言中, 教育委員会より通知がでたため
- ・柴田町教育委員会の指示
- ・歯みがきによる感染不安があったから
- ・飛沫感染対策
- ・新型コロナウイルス感染対策症対策のため
- ・県内および気仙沼地域において感染が急拡大したため
- ・新型コロナ感染症の予防
- ・感染対策が十分に行えないと判断したから
- ・飛沫や密接を防止するための環境整備が困難であるため
- ・施設の問題や保護者の要望があったため。
- ・うがい等で感染リスクが上がると考えたため
- ・感染拡大防止の措置体制及び方法を適切に行うことが困難であると判断したため
- ・水飲み場が密になるから。飛沫が飛ぶから。
- ・水道の数が少なく密を回避できないため
- ・緊急事態宣言中や新規感染者が増えた時期だったから
- ・緊急事態宣言中のため
- ・感染拡大の一因になる心配があったから
- ・蔓延防止措置地域になり、市内の感染者数が増えたため
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
- ・感染拡大により歯みがきが懸念されたから。
- ・校内の感染対策として必要と考えたため

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・デルタ株による県内の、緊急事態宣言で不安があったため
- ・感染が拡大していたため
- ・密や飛沫の防止のため
- ・地域で陽性者の発生が見られたため
- ・新規感染者が増えたから。
- ・感染者が増加したため。
- ・歯みがきについての感染症対策が徹底できないと判断したため
- ・飛沫が感染源と言われており、さらに流しの混雑を防ぐため
- ・新規感染者の増加。飛沫感染防止のため。学校の構造上、水飲み場が少なく三密が心配されたため。
- ・新規感染者が増えたから
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
- ・新規感染者が増えたから。
- ・歯磨き中の唾液の飛散から、感染拡大を防ぐため
- ・歯みがき時の感染予防対策を十分に実施できないため
- ・飛沫が懸念されたため
- ・緊急事態宣言が発令されたから。
- ・バス会社で歯磨きによるクラスターが発生した事例があったから
- ・新型コロナ感染予防 密になる 歯ブラシの管理 歯みがき中唾液が飛ぶ等
- ・県内や市内の感染者数が増えたから
- ・感染リスクが高いため
- ・感染者が増えてきた。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・感染防止のため
- ・飛沫感染の防止のため
- ・飛沫感染の一つだったため 学校再開時から中止とした
- ・感染者が増えたから、うがい時にしぶきがとぶ恐れがあるため
- ・コロナ感染予防対策のため
- ・コロナが収束していないから
- ・感染者が増え、宮城県のレベルが2に上がったから。
- ・感染症予防のため（水飲み場が狭く密になったり、飛沫感染したりする恐れもあったため）
- ・手洗い場で口をゆすいだ水を吐き出すことに危機感を持ったから。
- ・緊急事態宣言中だったから
- ・新型コロナウイルス感染症に感染した児童がいたため
- ・緊急事態宣言中だったから
- ・保健所からの指示により中止した
- ・地域の感染レベルが上がったことにより、リスクを考慮して。
- ・新型コロナウイルス感染症流行のため
- ・マスクをして生活するにあたり、おおきな飛沫をとばす可能性がある歯磨きを集団で行うことは難しいと判断したため
- ・新規感染者が増えたから
- ・手洗い場が十分に確保できないため
- ・緊急事態宣言が発令されたため
- ・飛沫感染の恐れがあるため
- ・緊急事態宣言中だったから。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

中学校

- ・濃厚接触者が出たため
- ・本校で感染者が複数出たから
- ・飛沫感染を防ぐため
- ・町？に保健所から指導があったため
- ・歯科校医の助言により
- ・感染予防のため、中総体直前の2週間に限り中止した。
- ・高校入試を高校入試を控えた時期に感染者が出たことで、複数のクラスが同じ場所で歯磨きをすることのリスクを再考し中止に中止にした。
- ・地域の感染レベルの上昇（レベル2へ上昇）
- ・流し場での感染が不安だったため。
- ・感染者が多かったため、養護教諭がかわったタイミングで中止した。
- ・飛沫飛散リスクが高く、水道の数にも限りがあり密が避けられないため。
また水道の衛生管理（消毒作業）がたいへんであるため。
- ・感染拡大防止のため。
- ・休校明けで感染拡大の先が見えない状況だったから。
- ・新型コロナウイルス感染が心配だったので
- ・飛沫感染の恐れがあったため
- ・生徒に指導をしていたが、密になってしまうことと、市内で感染者が増えたため。
- ・感染症の拡大
- ・他校から、濃厚接触者の判断基準の一つが、同じ場所で歯磨きをしたかどうかだったと聞いたため。
- ・緊急事態宣言 校内での感染リスクが高い時期
- ・飛沫防止のため
- ・蔓延防止・緊急事態宣言がだされたため。地域での感染者数の増加。デルタ株のエアゾル感染が懸念されてたため。

【2】給食・昼食後の歯みがきを中止した時期・理由・中止を相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

中学校

- ・手洗い場(水道)が少なく、密になるため。
- ・飛沫などによる感染を防ぐため
- ・近隣の市町村で新規感染者が増えていたため
- ・人数が多く 施設が少なく密になるため
- ・臨時休業開けで新しい生活様式になったから
- ・特別支援学級でのみ歯磨きをしていたが、十分な広さの確保などが難しかったため。
- ・水道周辺の混雑とマスクを外す事で感染拡大の疑いがあったため

中止した理由（自由記入）

高等学校

- ・水飲み場が少なく、感染リスクを少しでも減らすため

中止した理由（自由記入）

特別支援学校

- ・コロナによる飛沫感染を防ぐため
- ・歯磨きによる飛沫の飛散で感染拡大の恐れがあるから
- ・宮城県が緊急事態宣言対象区域になったことと、栗原市内の感染状況をみて
- ・地域の感染レベルが3に引き上がったから。
- ・感染対策を取りながらの歯みがきが難しいため
- ・地域感染レベルが引き上げられたため
- ・地域の感染レベルが2以上の時は、原則中止することを校内の会議で決めているため。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

理由については感染リスクの点からの中止がほとんどでした。

【3】学校全体のDMF指数（永久歯対象）についてお答えください。

DMF指数 = 被検歯におけるDMF歯の合計 / 被検者数（Mを含む）

		該当年度	DMF指数	回答数	不明回答
小学校		平成30年度	0.77	82	48
		令和元年度	0.74	102	28
		令和2年度	0.75	115	15
		令和3年度	0.66	120	10

		該当年度	DMF指数	回答数	不明回答
中学校		平成30年度	1.56	21	7
		令和元年度	1.49	26	2
		令和2年度	1.42	27	1
		令和3年度	1.31	28	0

		該当年度	DMF指数	回答数	不明回答
高等学校		平成30年度	3.5	1	0
		令和元年度	3	1	0
		令和2年度	2	1	0
		令和3年度	1.8	1	0

		該当年度	DMF指数	回答数	不明回答
特別支援学校		平成30年度	1.14	3	4
		令和元年度	1.51	3	4
		令和2年度	1.83	5	2
		令和3年度	1.51	6	1

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

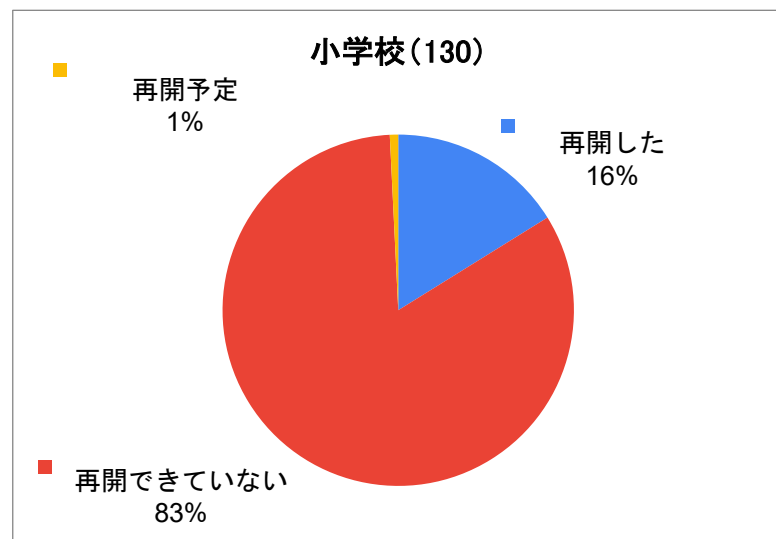
いずれの校種でも減少傾向でした。ただし、口腔内のむし歯の状態は長期の積み重ねの結果であるので観察を要すると思われま

【4】新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言（全国版・宮城県版）で給食・昼食後の歯みがきを中止後再開しましたか。

再開した（「設問②歯みがきを再開した学校用設問」）へ移動

再開できていない（「設問③歯みがきを再開できていない学校用設問」）へ移動

再開予定（「設問④歯みがきを再開予定学校用設問」）へ移動



小学校

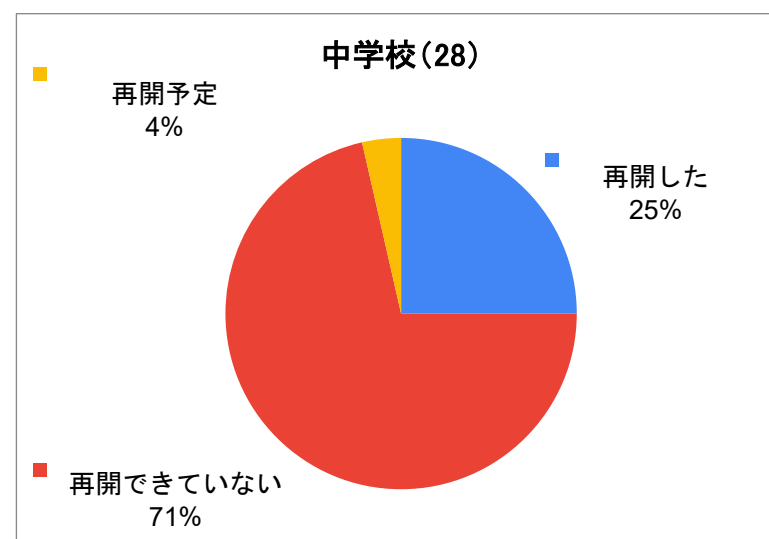
再開した（21校）

再開できていない（108校）

再開予定（1校）

高等学校

再開できていない（1校）



中学校

再開した（7校）

再開できていない（20校）

再開予定（1校）

特別支援学校

再開した（4校）

再開できていない（3校）

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

再開できていない学校は小学校で83%、中学校で71%と多く、再開は難しいことが見てとれました。

【設問②】給食・昼食後の歯みがきを再開した学校用設問

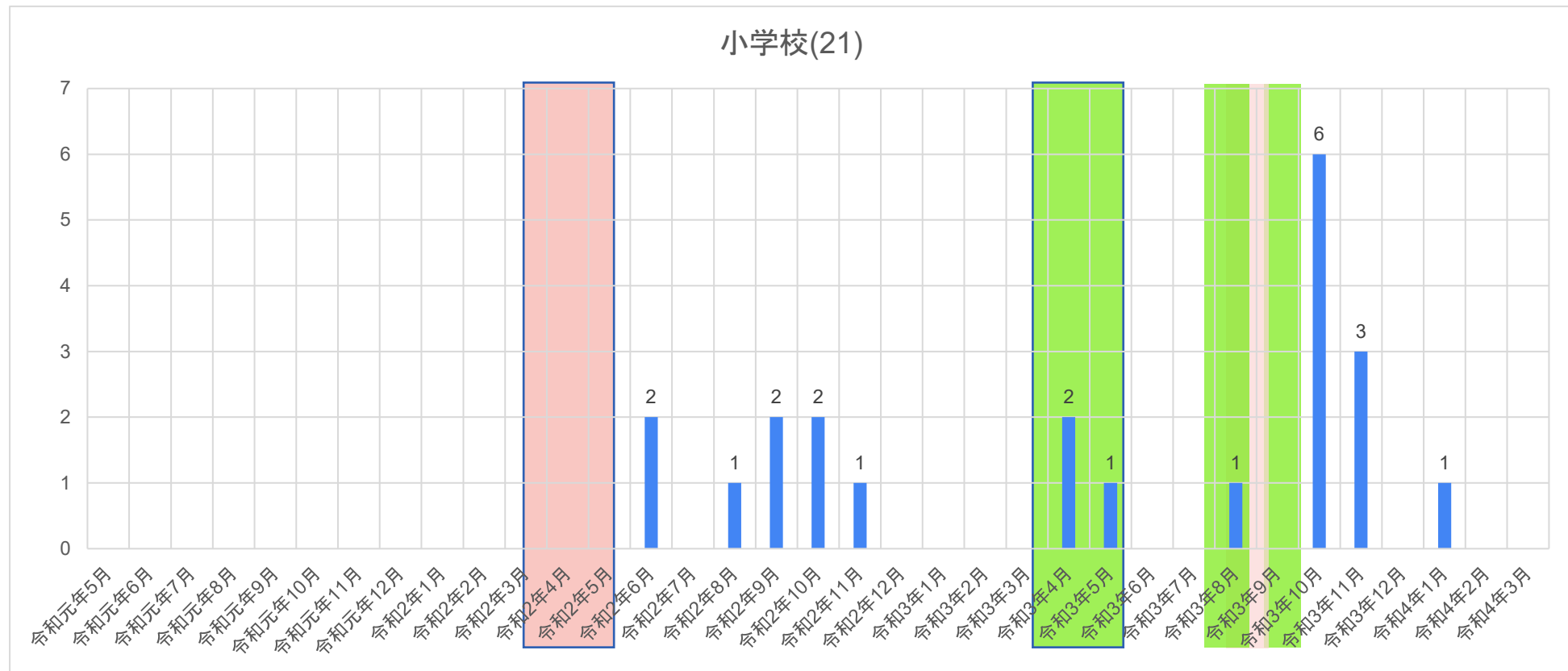
【1】給食・昼食後の歯みがきを再開した時期・理由・再開の相談や決定した方についてお答えください。

まん延防止等重点措置期間

緊急事態宣言期間

[防] 2021/4/05 (月) ~5/11 (火)
 [防] 2021/8/20 (金) ~8/26 (木)
 [防] 2021/9/13 (月) ~9/30 (木)

[緊] 2020/4/16 (木) ~5/14 (木)
 [緊] 2021/8/27 (金) ~9/12 (日)



※複数回答校 1校

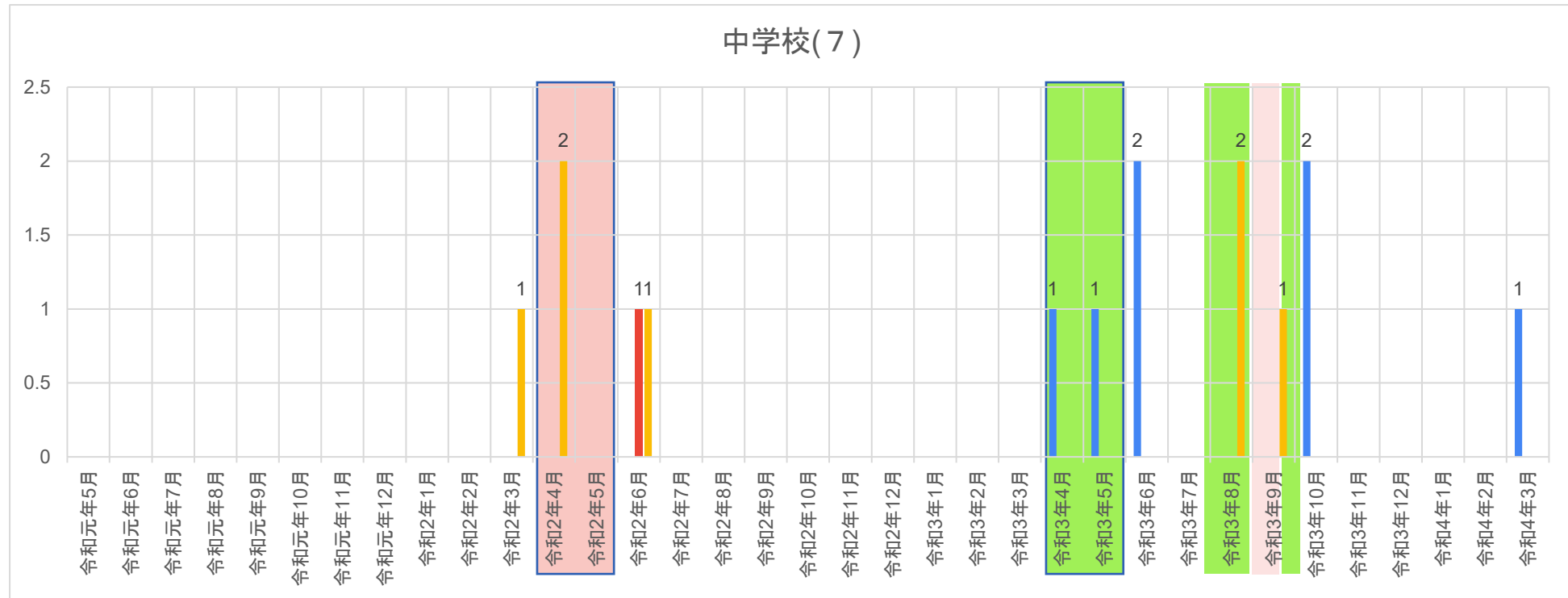
【1】給食・昼食後の歯みがきを再開した時期・理由・再開の相談や決定した方についてお答えください。の続き

まん延防止等重点措置期間

[防] 2021/4/05 (月) ~5/11 (火)
 [防] 2021/8/20 (金) ~8/26 (木)
 [防] 2021/9/13 (月) ~9/30 (木)

緊急事態宣言期間

[緊] 2020/4/16 (木) ~5/14 (木)
 [緊] 2021/8/27 (金) ~9/12 (日)



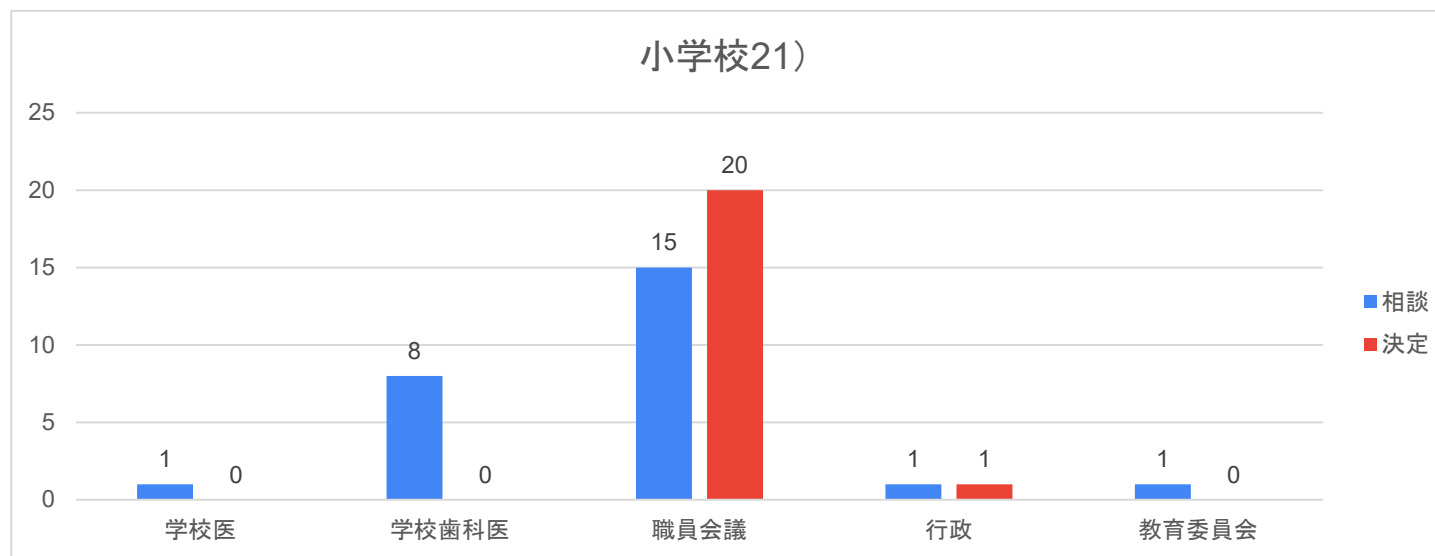
中学校 (7校)
 高等学校 (1校)
 特別支援学校 (4校) 複数回答 1校

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除された時が多かった。

【1】給食・昼食後の歯みがきを再開した時期・理由・再開の相談や決定した方についてお答えください。の続き

相談・決定 相談（複数回答可）、決定（複数回答不可）



中学校
 相談：学校歯科医（2校）
 相談：職員会議（6校）
 決定：職員会議（7校）

特別支援学校

相談：学校医（1校）
 相談：学校歯科医（1校）
 相談：職員会議（2校）
 決定：職員会議（3校）

高等学校 回答無し

相談（その他自由記入）

小学校

- ・校内管理職・養護教諭で協議
- ・特になし

特別支援学校

- ・職員会議、校内感染対策委員会
- ・地域感染レベルが下げられたため

決定（その他自由記入）

特別支援学校

- ・危機管理委員会

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

再開した小学校の約半数が学校医、学校歯科医に相談していました。

【1】給食・昼食後の歯みがきを再開した時期・理由・再開の相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

小学校

- ・全国的に感染が落ち着いたため
- ・日本学校歯科医会から「給食後の歯みがき実施のためのチェックリスト」が配布され、本校で実施可能だったから。
- ・県内の状況が落ち着いたため
- ・新規感染者が少なくなったから
- ・新規感染者数の減少・「歯みがきは感染予防につながる」という視点を歯科医師会HPで見て
- ・緊急事態宣言が明けたから
- ・新規感染者が減少したことと、学校生活が落ち着いていたことから。
- ・感染減
- ・緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置などが解除された。また、本校を含め、近隣の感染状況を考慮した。
- ・感染レベルが改善したから。
- ・まん延防止等重点措置の終了のため
- ・まん延防止等重点措置の解除 校内での感染対策をさらに強化したため(水道の割当やエチケット歯みがきの徹底)
- ・口腔状況が悪化していたため
- ・みがき方やうがいの仕方など、感染対策を整えた。
- ・感染者が減少し、緊急事態宣言が解除になったため
- ・児童からの要望があったため
- ・市立学校における地域感染レベルが落ち着いたから
- ・児童数も少なく、十分な感染対策を行えば実施できると思ったから
- ・緊急事態宣言が明けたから
- ・歯科校医より助言をもらった。
- ・新規感染者が少なくなったから

【1】給食・昼食後の歯みがきを再開した時期・理由・再開の相談や決定した方についてお答えください。の続き
中止した理由（自由記入）

中学校

- ・感染状況が落ち着き、歯科校医の助言があったから
- ・無言歯みがきとして再開した。
- ・高校入試が終わったタイミングで。「口を閉じて・向かい合わずに・短時間で」歯磨きすることを徹底して再開した。
- ・新規感染者が減少傾向だったから。
- ・蔓延防止措置が終了したから。
- ・緊急事態宣言の解除 主要な対外行事の終了
- ・日本学校歯科医会の資料を参考にし、対策を講じることで実施可能と考えたため

特別支援学校

- ・緊急事態宣言対象区域から外れたため
- ・地域の感染レベルが2に引き下がったから。
- ・地域感染レベルが下げられたため
- ・感染レベルが1に下がったため、校内の会議で検討し決定した。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

日本学校歯科医会からの「給食後の歯みがき実施のためのチェックリスト」が配布され実施可能であった緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除された、みがき方やうがいの仕方など感染対策を整えた「歯みがきは感染予防につながる」という視点を、日本歯科医師会ホームページで見ると等の記載がありました。

【2】再開するにあたり、参考にした基準等がありますか。

小学校

- ・ 県や町の感染レベル
- ・ 給食後の歯みがき実施のためのチェックリストを参考にした。
- ・ 県内の感染状況
- ・ 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」、日本歯科医会「新型コロナウイルス災禍における学校歯科保健活動全般に関するQ & A」
- ・ 日本学校歯科医会HPを参照
- ・ 緊急事態宣言が明け、近隣の学校の様子を聞いたり、未処置者や歯科衛生の意識が低いため、歯磨きの時間を短くして再開を決めました。
- ・ 学校での歯磨きについての医師会の見解とガイドライン
- ・ 無し
- ・ (2)と同様
- ・ 日本学校歯科医会の給食後の歯みがきスタイル
- ・ 特にありません。
- ・ 県や市の感染状況 日本学校歯科医会の「給食後の歯みがきスタイル」(エチケット歯みがき)の資料を参考にした
- ・ 前任者が対応したため不明
- ・ 日本学校歯科医師会「歯みがき実施のためのチェックリスト」
- ・ 緊急事態宣言の解除
- ・ 文科省からでている衛生管理マニュアル
- ・ 市立学校における地域感染レベル
- ・ 学校歯科医会から出ている動画(コロナ対策を踏まえた歯磨きの実施について)
- ・ 緊急事態宣言
- ・ 歯科検診の結果
- ・ 歯科医師会からの文書を参考にした

【2】再開するにあたり、参考にした基準等がありますか。

中学校

- ・ 特になし
- ・ 日本歯科医師会HP。動画「「ウィズコロナ時代の歯のみがき方 口を閉じてみがきましょう」
- ・ なし
- ・ 日本学校歯科医会「新型コロナウイルス感染予防のための給食後の歯みがきスタイル指導」
- ・ 県内、市内の感染者数と県内の宣言や措置の有無
- ・ 緊急事態宣言の解除
- ・ 日本学校歯科医会のチェックリスト・パンフレットなど

特別支援学校

- ・ 緊急事態宣言対象区域の有無
- ・ 衛生管理マニュアル
- ・ 地域感染レベル
- ・ 地域の感染レベル

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル」日本学校歯科医会「給食後の歯みがき実施のためのチェックリスト」新型コロナウイルス災禍における学校歯科保健活動に関するQ&A地域の感染レベル等の記載がありました。

【設問③】給食・昼食後の歯みがきを再開できていない学校用設問
 【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。

方法（複数回答可）	回答数	
小学校 (108)	緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置などが解除された 学校医または学校歯科医が許可した 学校の設備が整った	28 26 38
中学校 (20)	緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置などが解除された 学校医または学校歯科医が許可した 学校の設備が整った	5 3 8
高等学校 (1)	緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置などが解除された 学校医または学校歯科医が許可した 学校の設備が整った	1 0 0
特別支援学校 (3)	緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置などが解除された 学校医または学校歯科医が許可した 学校の設備が整った	2 2 1

その他（自由記入）

小学校

- ・教育委員会との相談の結果
- ・新規感染者が減ってきたら。
- ・コロナウイルス感染が終息に近づいたら
- ・感染が落ち着き、区切りがよいタイミングで開始
- ・コロナもインフルエンザ同様の感染症扱いになるなど、対策が緩和された状況
- ・町教育委員会からの指示による
- ・感染状況が落ち着いてきたら。
- ・新規感染者が減少すること
- ・コロナがインフルエンザ同等の扱いになること。
- ・児童，保護者の不安が解消された。地域の学校で再開した。

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。続き
その他（自由記入）

小学校

- ・校内の感染者数が落ち着いた。
- ・時間の確保
- ・感染拡大が落ち着く
- ・濃厚接触者という定義がなくなり、保護者の理解が得られること。
- ・感染状況が落ち着いたら。
- ・感染症の流行がより縮小し、感染によるリスクが低下したら
- ・石巻市の感染状況が落ち着いた。
- ・新規感染者が減ること。
- ・感染症が減少傾向になり、落ち着いてくるまで
- ・全国の感染者が減ったら
- ・コロナ禍の終息
- ・県内・市内の感染者が減少したり、新型コロナウイルス感染症についての対応の仕方に変化があれば、実施について再検討したい。
- ・地域の感染レベルの低下（レベル1への引き下げ）
- ・新規感染者がなくなること
- ・新型コロナウイルス感染症が終息するまで。
- ・柴田町教育委員会と保健所の指示があれば。
- ・感染状況が落ち着くこと
- ・県のレベルが1になった長期休み明けから
- ・県内および気仙沼地域での感染が落ち着いた時
- ・教職員・保護者の同意

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。続き
その他（自由記入）

小学校

- ・ 感染状況の収束、安全に実施できる設備と時間の確保及び人的配備
- ・ 新型コロナ感染症の収束
- ・ 市内の感染状況が落ち着いたら
- ・ 感染者が県内全域で減少すること。保護者や職員の理解。
- ・ 再開は困難と考えている
- ・ 市内等の感染状況が落ち着き、歯科校医からも承諾がえられたら
- ・ 流行が治まるまで
- ・ 地域の感染状況が落ち着いた
- ・ 感染が落ち着いたら
- ・ 近隣地域での感染が減少したとき
- ・ 校長の判断。
- ・ 感染者がいなくなったら。
- ・ 感染リスクがなくなること
- ・ 地域の感染状況に心配がなくなった
- ・ 感染者がほぼいない状況になってから
- ・ 歯みがきに関し各家庭で管理する方向にシフト
- ・ 感染が収束するか、水道が増えるか
- ・ 再開できていない理由がクリアされたら
- ・ 校長の許可
- ・ マスクを外せるようになったら
- ・ 保健所からの再開の許可が出る
- ・ 地域の感染状況が落ち着くまで
- ・ 終息
- ・ 保護者に理解をいただくための根拠

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。続き
その他（自由記入）

小学校

- ・感染が収まらないと再開は難しい。」
- ・感染が落ち着いたら

中学校

- ・コロナ感染者が減ること
- ・5類に下げられる等、法律が整ってから。
- ・町教育委員会の指示
- ・地域の感染レベルの低下（レベル1への引き下げ）
- ・感染レベルが下がり、生徒や教職員の不安がなくなった
- ・感染する恐れがなくなったら
- ・感染症の終息
- ・地域の感染状況が落ち着くこと。
- ・上記の通り、地域の感染状況が落ち着くこと。
- ・感染状況が落ち着き、校内で新規感染者が出ない状況になれば。

特別支援学校

- ・コロナが終息したら

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

学校の設備（手洗い場、換気）、時間の確保。

【設問③】給食・昼食後の歯みがきを再開できていない学校用設問

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。

理由（自由記入）

小学校

- ・感染者が未だにいるため
- ・新規感染者が増えているため。
- ・コロナ感染症がおさまっていないため
- ・第6派がこなかったら、3学期から開始する予定だった
- ・水道の蛇口数が十分でない。飛沫感染を防ぐ歯みがき指導の徹底が難しいため。
- ・感染者数が減ってこないため
- ・新規感染者が増えているため。
- ・感染対策として、様々な理由から再開できない。水道の数、時間的なことなども含めて。
- ・町教育委員会からの再開の許可がないため
- ・感染予防のため
- ・引き続き、感染対策として。
- ・水洗い場が少なく、児童が歯磨きする場が確保できないため
- ・感染者の増加、手洗い場の数が不十分なため。
- ・まだ、コロナ感染が続いているので、怖い。
- ・コロナ感染状況が改善していないため
- ・児童数が多く、密を避けられないため。
- ・新規感染者が増え、地域のレベルが下がらないため。
- ・一時再開したが、校内で感染者が発生したため中止している。
- ・感染リスクがあるため、感染防止のための手洗い時間の確保のため歯みがき時間の設定が難しいため

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

小学校

- ・新規感染者が確認されているため。
- ・校内で新規感染者が増えているため
- ・新規感染者が出ているため
- ・中止した理由と同じ。
- ・感染者が増えているため。
- ・児童は飛沫を飛ばさずに歯磨きをすることが困難だから
- ・感染状況の拡大
- ・感染状況が落ちついていないため
- ・新規感染者が増えているため
- ・1度再開したが、学校区内で感染者が出たため再び中止した。
- ・新規感染者が増えているため。手洗い場の密を避けることができないため。
- ・市内でも感染者が出ており、飛沫による感染リスクを避けるため。
- ・感染予防対策のため
- ・感染状況が変わらないため。密を避けられる設備が不足。
- ・感染者が減らないため
- ・歯磨きによる感染リスクの問題（飛沫、水道施設等）が解決できないため。
- ・感染状況が改善されないため。
- ・地域の感染レベルが高いため（レベル2以上）
- ・水道施設設備の不足
- ・新規感染者が増えているため
- ・地域で感染者が増えているため

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

小学校

- ・地域の流行が続いているため。
- ・県内での感染者増加のため
- ・手洗い場が少なく密を回避できない。
- ・感染拡大防止のため。
- ・現在、陽性者が児童の中から発生しており、とても再開できない現状にある。
- ・柴田町教育委員会の指示のため
- ・感染予防上まだ不安があるから
- ・感染予防のため（十分な予防策が取れないため）
- ・コロナのレベルが下がらないため
- ・県内での感染拡大が続いているため
- ・感染の不安
- ・歯水飲み場水飲み場が狭く感染が予想されるから
- ・飛沫と密集を防止するための環境整備が困難な状況であるため。
- ・感染対策を行いながら歯磨きを行うと、時間がかかりかかり、喫食時間を割かなくてはならないため。
- ・校内で感染者が増えているため
- ・感染拡大状況が収束しないままで、感染予防に配慮した対応が困難であると判断したため。
- ・時間差での歯磨きが難しく、飛沫の危険が回避されないから。
- ・水道の数が少なく密を回避できないため。
- ・感染者がまだ多いため。
- ・新規感染者が増えているため
- ・在籍児童の感染者が0にならないため
- ・市内の感染者が減らないため

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

小学校

- ・手洗い場が狭く、うがいの飛沫がかかるのが心配
- ・新規感染者が増えているため。
- ・新規感染者が増えているため
- ・まだ感染状況が落ち着いていないため
- ・現在流行中のため
- ・新規感染者が増えているため
- ・感染症予防対策に不安があるため(歯みがき場所の確保, 密集防止)
- ・感染者が拡大していることから飛沫によるリスクを可能な限り減らしたいため。
- ・感染状況が予断を許さないため。
- ・歯みがきについての感染症対策が徹底できないため
- ・新規感染者が増えているため
- ・感染状況がおさまっていない。
- ・新規感染者が増えているため
- ・新規感染者が増えているため
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため。
- ・感染者が増えているため
- ・校内で感染者が出ているため。
- ・水道の数が少ないため
- ・歯みがき時の感染予防対策を十分に実施できないため
- ・感染者が増加しているため。
- ・新型コロナが落ち着いていないため
- ・学校医の意見

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

小学校

- ・地域の感染者が多いため
- ・水道の蛇口数が少なく、物理的・時間的に感染予防が難しい。
- ・市内でコロナウイルス感染症が収束していないため
- ・感染の危険がある状況では再開が困難
- ・飛沫感染防止 密集回避
- ・水道の数が少ないため。
- ・感染が収束しないため
- ・コロナ感染者が減らない、マスク生活が続いている、ソーシャルディスタンスが必要
- ・マスクを外しての活動は、リスクが高いため
- ・感染レベルが下がらないため。
- ・地域の感染状況や、実施場所の確保が難しいため
- ・感染者数が減らないため。
- ・宮城県内の新規感染者数が高止まりしているため
- ・新型コロナウイルスに感染症に罹患している児童がいるため
- ・保健所からの再開の許可が出ていないため
- ・感染者が高止まりで、地域のレベルもさがっていないため。
- ・収束しないため
- ・十分な感染予防対策がとれないため
- ・感染者が減っていないため
- ・手洗い場の広さが十分でなく、感染者も出ていたため
- ・宣言が解除されても収束しているわけではないため、一度中止すると再開するタイミングが難しい。
- ・低学年は飛沫が飛ぶ恐れがあるため

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

小学校

- ・新型コロナウイルス感染症が収まらないため。
- ・新規感染者数が増えている。

中学校

- ・周辺地域の新規感染者が増えているため
- ・まだコロナ感染者が減っていない
- ・感染者数が高止まりしているため
- ・町に感染者が連日でている 保健所からの指導
- ・地域の感染レベルが高い（レベル2以上）
- ・流し場での感染リスクが高くなるため。
- ・感染者が増えているため
- ・感染レベルが高く以前よりも県内・市内における新規感染者数が多いため
- ・新規感染者が増えているため。手洗い場が狭い、換気できないなど構造の問題。
- ・新規感染者が減っていないため
- ・飛沫感染防止のため
- ・感染症の終息が見込めないため
- ・地域の感染状況が落ち着いていないため。
- ・再開できないのではなく飛沫防止のため再開したくない
- ・地域での感染状況が落ち着き、飛沫だけでなくエアゾル感染の防止が対策により可能となることが明らかであること、の2つがクリアできていないため。
- ・水道の数が足りないため
- ・市内の感染状況が落ち着いていないため

【1】再開できない理由と再開可能のための要件についてお答えください。の続き
理由（自由記入）

中学校

- ・水飲み場が密になるため
- ・校内での新規感染者が継続して出ているため。特別支援学級生徒で施設から通っている者もあり、感染対策を優先する必要があるため。
- ・水道の数の確保が出来ていない

特別支援学校

- ・コロナ感染者が減っていないため
- ・新規感染者が増え、地域レベルが2となっているため
- ・地域の感染レベルが1になった時点で再会を検討したが、周知や準備が整わずその間にまたレベルが上がったため

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

新規感染者の減少、地域の感染レベルの低下、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除、学校医、学校歯科医、校長の許可、コロナ禍の終息、保護者に理解をいただくための根拠、学校の規模、洗口場の整備等により、感染対策が取りづらい状況にある学校も多いと思われます。日本学校歯科医会ホームページ「新しい生活様式の歯みがきの仕方」等を参照下さい。などが記載されておりました。

【2】再開できず、困っていることがあればご記入ください。（自由記入）

小学校

- ・家庭での歯磨きが十分でない児童の口腔内衛生が心配される。
- ・学校の作りで流し場の換気ができない。
- ・特になし
- ・歯垢の付着の増加，根付いた歯みがき習慣のリセット
- ・う歯が増加していることもあり，歯みがきの再開を望んではいるが，リスクが高く，学校でのまん延防止で学びの機会を保障するためにも中止はやむを得ないと考えています。
- ・歯磨きの時の児童の密を避けられない、歯磨後の流しの衛生を保つことが難しい
- ・家庭での歯磨きが難しい児童等は個別で対応しているが、全校で再開できることが望ましい。
- ・来年度の歯科検診が心配
- ・児童への歯磨き指導をする際に実技指導ができない。
歯磨き習慣の定着を促すために家庭への協力に頼るところが大きくなる。
- ・町内に感染者数が多いので，歯磨きを再開することにより感染拡大しないかと不安が広がるから。
- ・歯磨き習慣の低下がみられこと。
- ・昼食後の歯みがき習慣がつかない。う歯や歯肉炎が増加した。
- ・十分なスペースの確保（歯磨きの場所・水場）
- ・学校の設備が整わない
- ・感染を防ぐ安全な環境と時間の確保や職員間での理解を得るのが難しい状況であるため。
- ・奨励されている歯磨きのやり方が小学校現場では児童の実態や設備に合わず実施できない。
- ・再開の見通しがたたないこと。感染者が減っても歯みがき自体に不安を感じる人がいるのではないかとということ。
- ・全ての手洗い場の消毒作業が不可能。
- ・児童が食後口腔内がスッキリしないと訴えることがある（給食が納豆の日など）
- ・飛沫対策が難しい。

【2】再開できず、困っていることがあればご記入ください。（自由記入）の続き

小学校

- ・ 歯みがき後の消毒作業に人員が足りません。
- ・ 歯磨き習慣が定着していない
- ・ 口腔状況を日常的に確認することができず、虫歯の発見や歯磨き指導が難しいこと。
また、児童虐待のサインの一つである口腔状況をキャッチしづらいこと。
- ・ 歯磨きの習慣が身に付かないことにより、口腔環境が悪化
- ・ 歯みがき指導ができない
- ・ 長年学校歯科医と連携し、行ってきた歯磨きの習慣化が図れなくなったこと。
子供たちの口腔内環境が悪化が懸念される。
- ・ 歯みがきの習慣が定着していない子どもは口腔衛生環境がさらに悪くなる。
- ・ 歯磨き指導ができていないこと
- ・ 歯科保健指導の実技ができない。

中学校

- ・ 保健所の指示がでたこと
- ・ 特になし
- ・ 口腔の状態の悪化やう歯の増加
- ・ 洗口薬を使ってもよいか？と問い合わせが来たとき（令和2年度）
- ・ なし
- ・ 学校の設備が不足している。時間や人数を調整しての実施も難しい。
歯みがきを再開したい気持ちはあるが、環境が整わない。
- ・ 特別支援学級生徒への歯磨きの大切さの意識づけや指導が行いにくい
- ・ 今ある設備での感染予防策と時間を確保していくのが難しい

【2】再開できず、困っていることがあればご記入ください。（自由記入）の続き

特別支援学校

- ・特別支援学校なので、口を閉じたままの歯磨きや介助なしの歯磨きが難しい児童が多く在籍している。また、すぐ再開、となっても歯磨き指導自体になれるまで時間がかかるため、段階を踏んで感染症予防を講じながら実施することに困難さを感じている。
- ・特別支援では介助が必要な子供が多数おり、使い捨て手袋等を持参してもらう計画。（手洗い一人一人介助を変わるたびに行う余裕がない。）

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

家庭での歯磨きが十分でない児童の口腔衛生、歯磨き習慣の低下、感染を防ぐ安全な環境と時間の確保、職員間での理解が難しい、学校の設備が整わない、歯磨き後の清掃作業に人員が足りない、歯磨き指導ができていないこと、歯科保健指導の実技ができないなど色々記載して頂きました。また、情報としてはあるものの、何らかのきっかけがないと再開は難しい状況も見てとれました。

【設問④】給食・昼食後の歯みがきを再開予定学校用設問

【1】給食・昼食後の歯みがきを再開する、した時期・理由・相談や決定をした方についてお答えください。

時期

小学校（1校）	令和4年4月
中学校（1校）	令和4年4月

理由

小学校（1校）	児童の口腔内環境悪化したこと はみがきルールを決めて、教職員と児童へ示した
中学校（1校）	コロナの減少

相談

小学校（1校）	学校歯科医
中学校（1校）	職員会議

決定

小学校（1校）	学校長または職員会議
中学校（1校）	学校長または職員会議

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

設問 の再開した学校とほぼ同様でした。

【2】再開するにあたり、参考にした基準等がありますか。

小学校（1校）	地域の歯磨き実施状況アンケート結果をもとに
中学校（1校）	歯科医師会からの資料

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

設問 の再開した学校と同様に文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル」、日本学校歯科医会「給食後の歯みがき実施のためのチェックリスト」等を参考になされていました。

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。

【(2) 新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言で給食・昼食後の歯みがきを中止しましたか？に中止していないと回答された学校用設問】

小学校（50校）

- ・ 地域の実態から、本校での学校での歯磨きは大きな意味がある。何年、何十年もかけて形成してきた給食後の歯磨き習慣を中止することは、なるべく避けたかった。
- ・ 歯ブラシやコップの置き場所、人と人との間隔を十分に取れる環境が確保でき、安全上問題はないと判断したため。
- ・ 歯磨きは新型コロナウイルス感染症予防に有効であるため。
- ・ 人数が少ないため、十分な間隔をとって歯みがきを行うことが可能であった。
- ・ 小規模校なので、密にならない。感染者が出ていない
- ・ 学校歯科医とも相談をして、飛沫が飛ばないように配慮（磨く際やうがいの際など）しながら実施している。
- ・ 小規模校ということもあり、十分な感染症対策を行い実施することが可能だったから。
- ・ 校内の話し合いにより、児童数が少ないので、3密を避け実施できると考えたため
- ・ 人数が少なく、流し場の人数制限や使用制限ができたから
- ・ 児童数に対して蛇口の数が十分あり、密を避けて実施できると考えたから。口腔内の衛生環境を保持したかったから。
- ・ 地域では感染が増加していなかったため。
- ・ 小規模校で教室内での児童間の距離が十分とれ、手洗い場も密にならないようにすれば、感染のリスクが減らせると考えられたために実施した。
- ・ 感染症対策をしっかりとって、歯みがきができる環境だったから。歯の健康が大切だと思うから。
- ・ 少人数のメリットを生かして、距離をとっての歯みがき、時間差でのうがいができたため。
- ・ 感染予防を徹底することで、家庭での歯みがきで不十分な箇所がないか指導したかった。
- ・ 口腔内の衛生管理を行うことで、感染症対策にもつながると考えたため

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。の続き

小学校(50校)

- ・特に中止する声は上がらなかったから。
- ・人数が少ないため
- ・小人数のため、飛沫等による影響はないと思われたため
- ・歯科校医の指導と指示により歯磨きのときに具体的に行なっている感染症予防対策とその徹底について十分にできている。また、感染予防対策を取ることのできる環境にあると歯科校医も了承した。
- ・全校人数が少なく、距離をとっての実施が可能であったため。
- ・歯科校医と相談し、各歯科医師会からの見解をもとに、感染予防として歯磨きの大切さを共通認識とし、大規模校ではあるが、感染対策をはかって実施することとした
- ・口腔内の清潔は、健康を保つために重要と考えたから
- ・中止することへのデメリットを考えたから。歯磨きの仕方についての配慮を行った。
- ・感染予防をしながら歯と口の健康を維持したいと考えた。う歯保有者が多いため。
- ・学校歯科校医より給食後の歯みがきの実施について御指導いただき、「新型コロナウイルス感染症予防のための食後の歯みがきスタイル」に配慮しながら実施している。
- ・学校歯科医から、感染症対策を行った上で実施してほしいと指導があったため
- ・特に問題ないと判断。学校歯科医からも中止の指示はなかった。実施について確認したが、水道の水を流したままの状態、かつ、ガラガラうがいではなく、ぶくぶくうがいで、吐き出すときに、高いところから行わなければよい、ということを確認した。
- ・感染症対策を徹底していたため。
- ・歯の健康は全身の健康にもつながるので、感染対策を行って実施し、中止することは検討しなかった
- ・児童数が少なく、学年別で歯みがきをすることで密を回避できたため。
- ・学校歯科校医に相談し、感染等の恐れは少ないと判断したため
- ・食べたら磨くという生活習慣を確立させたかった
- ・感染者が出ていなかったから
- ・学校薬剤師に相談し、小規模校のため感染予防しながら実施可能との結論に至ったから。
- ・タイムスケジュールを変更し、歯みがきによる洗面所の蜜を避けて実施可能と校内で判断した。

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。の続き

小学校(50校)

- ・う歯予防のための歯磨きの定着のため
- ・エチケット歯みがきの指導をした上で、ご家庭の判断に任せました。
- ・三密回避が出来るから。
- ・学校歯科校医と相談をした結果、歯みがきをするメリットの方が大きいのでコロナ対策をしながら実施することにした。
- ・歯磨きにより口腔の衛生を保つことで、感染症にかかりづらくなると考えた。飛沫によるコロナ感染を防ぐために口を閉じて行うなど対策を講じた。
- ・時間差と間隔をとって実施することができた。
- ・口腔の清浄は感染症予防に有効な事から、校医と相談し、感染症対策をとりながら継続した。
- ・児童数が少なく、水道設備が十分にあることで、感染予防に配慮し歯みがき出来るため。
- ・歯みがきは大切と思い、コロナ感染予防に気を配りながら行った。
- ・歯科校医より、感染症対策を講じながら口腔の衛生を保つことは、感染症予防対策になるとご助言いただいたため
- ・唾液を飛ばさないよう留意させつつ、前を向いて無言で実施させるなど安全性が確保できたから。また、口腔内の衛生管理がコロナ感染対策にもつながると考えたから。
- ・できる限りで消毒し、細々と実施

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。の続き

小学校（50校）

- ・小規模校なので、手洗い場が密にならないように工夫し、感染対策を講じて実施できたから。また、DMF指数も高く、口腔衛生状態が好ましくなかったため、歯みがきの習慣を継続したかったから。
- ・口腔内の衛生状態を保つことも、感染症予防に大切であると考えられるため。

中学校（27校）

- ・水道を間隔を一つ飛ばしで使用する等飛沫対策を行った
- ・学年ごとに歯磨きを行う場所が異なり、密にならないと考えたため
- ・十分な換気と距離を取る事が出来るため
- ・口腔の衛生を保つことは感染予防につながるの歯磨きをした方が良いとの歯科校医の助言があった
- ・もともと、歯みがきをしている人が少なかったため。また、禁止にはせず、推奨はしないようにした。
- ・ソーシャルディスタンスがとれるため
- ・歯みがきは感染症予防にもつながるという観点から、学校歯科医の指導の下、密を避け、飛沫を飛ばさない工夫を徹底した上で実施することが有効であると考えたため。
- ・生徒の健康を考えた際に、コロナを心配して歯磨きをやめるより感染予防を図りながら従来通りに歯みがきを実施することの方が良いと考えたため。その際には日本学校歯科医会発行の給食後の歯みがきスタイルの資料が大変役に立ちました。
- ・歯みがきは全員が行っているわけではないため。
- ・感染対策を講じて対応することで歯みがき指導を継続することが可能だと思ったから
- ・積極的な働きかけは中止したが、歯磨きをする習慣のある生徒もいるため禁止にはしていません。
- ・密にならずにできたから
- ・歯科の健康保持のため
- ・歯科検診の結果、歯垢の付着や歯肉炎の生徒も多い事、また小学校と違い、一斉に教室で磨く形態ではないため。

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。の続き

中学校（27校）

- ・学校歯科校医と相談し、感染症対策をとりながら実施しました。日本学校歯科医会給食後の歯みがきスタイル指導を参考に実施しました。
- ・自主的に磨く生徒が数人で込み合わないため
- ・歯磨きは衛生管理上必要なことだと考え、十分に水を流し、周りに飛ばないように指導して継続した。
- ・水飲み場の利用を分け、時間も分散させ密にならないように注意したため。
- ・歯磨きを時間差にしたり手洗い場を広く使うなどしたり、生徒同士の距離を保つことができた為。また、近くの窓を開けながらの実施も可能だったため。
- ・人数も少なく密にならずに実施することができたため
- ・生徒数が少なく、十分な間隔を取り、感染予防に配慮して歯みがきをすることが出来るため。
- ・石巻市内の新型コロナウイルス感染者が非常に少なかったため。
- ・人数が少ないので密にならない。歯磨きの習慣を継続させるため。
- ・歯科校医と相談し、う歯や歯肉炎予防に重要だと意見が一致したため
- ・歯科医師会からは、感染予防のため口腔ケアが重要であると歯みがきを推奨しているため。感染症対策をしっかりとって歯みがきできる環境にあるため。歯科校医に相談し、ご助言いただき中止にできなかった。
- ・感染対策をしながら行なっている
- ・三密を避ける対策を行ったため。歯磨きが感染症予防に効果的なため。

高等学校（2）

- ・多くの生徒が歯磨きをしているわけではないこと。密にならないように等指導して実施。
- ・飛沫を飛ばさないような歯磨き方法を推奨した

(3) 給食・昼食後の歯みがきを中止しなかった理由についてお答えください。の続き

特別支援学校（18校）

- ・ 感染対策をしっかりと決めてできる範囲での実施としたため
- ・ ①コロナ感染症対策を行った上で、歯磨きや仕上げ磨きが可能か。
②歯磨きを中止することで、口腔衛生の悪化及び心疾患のリスクについてはどうか。
上記の①②を踏まえ、学校保健委員会や部会で話し合った結果、感染対策を徹底し実施することとなった。
- ・ 各教室毎に洗面台があり、各教室数名の在籍であるため
- ・ 感染対策をしっかりと行い実施した
- ・ 歯科校医に相談したころ、感染症対策をした上で歯みがきをするのであれば実施可能との指導を受けたため
- ・ 児童生徒の生活活動リズムを崩さないために、歯科校医と相談し、感染対策を行いながら口腔内衛生管理のために実施した。
- ・ 児童生徒数が少ないため、適切な距離が保つことができるので
- ・ 児童生徒数が少ないので、密にならずに実施できるため。
- ・ 児童の実態に合わせ、食後の歯磨き習慣を身につけるため
- ・ 歯みがきが苦手な児童生徒もおり、少しでも抵抗なく行えるようにするために、継続した歯みがき指導を行う必要性があったため、歯科校医に指導をもらいながら実施した。
- ・ 少人数クラスのため、感染予防対策をとりながら実施できる状況だったため。仕上げ磨きは中止とした。
- ・ 特別支援学校という特性上、生活習慣を乱すことによって心身の不調をきたす恐れがあったため。
- ・ 間隔を空け、人数制限をすることができたため、中止しなかった。
- ・ 感染予防をしながら実施可能と判断したため
- ・ 歯科校医に相談したところ、生徒の歯所有数、大規模校ではないこと、一斉に歯磨きをせずにタイミングを調整する等の対策をすれば可能であるとアドバイスをいただいたため。
- ・ 教員による仕上げ磨きは控えたが、児童生徒自身が行う歯磨きは密を避けるなどの対策を行いながら実施した。
- ・ 自立して安全に実施できる一部の生徒のみ実施し、高等部は口内環境課題ある生徒多いため可能な範囲で実施しています。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

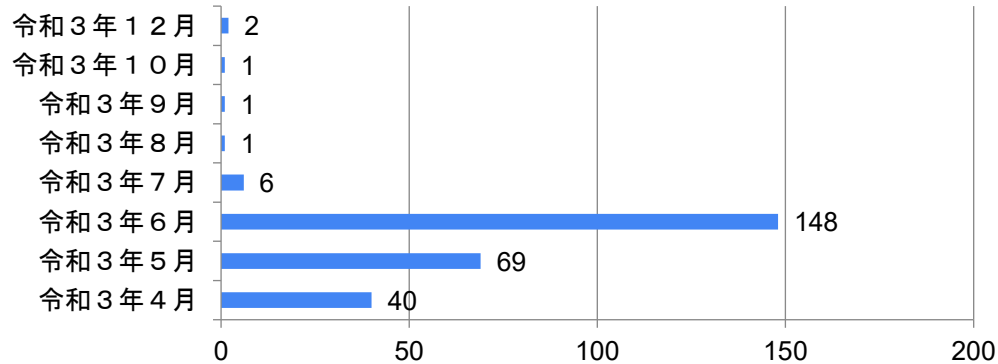
歯みがきの意味、長年かけて形成してきた習慣を中止することはできなかった、感染対策が十分にできる環境があった、口腔内の衛生管理を行うことで感染症対策にもつながると考えた、学校歯科医から感染症対策を行った上で実施してほしいと要望があった、タイムスケジュールを変更し、歯みがきによる洗面所の密を避けて実施可能と判断した、歯科校医と相談し歯みがきをするメリットの方が大きいので実施した、歯科校医より感染症対策を講じながら口腔の衛生を保つことは、感染症予防対策になるとご助言を頂いた、歯みがきが感染予防にもつながる観点から、実施する工夫をして継続したり、今まで培ってきた生活習慣を失わないように努めた事が伺える学校が多く認められました。

令和3年度 学校歯科検診に関するアンケート調査

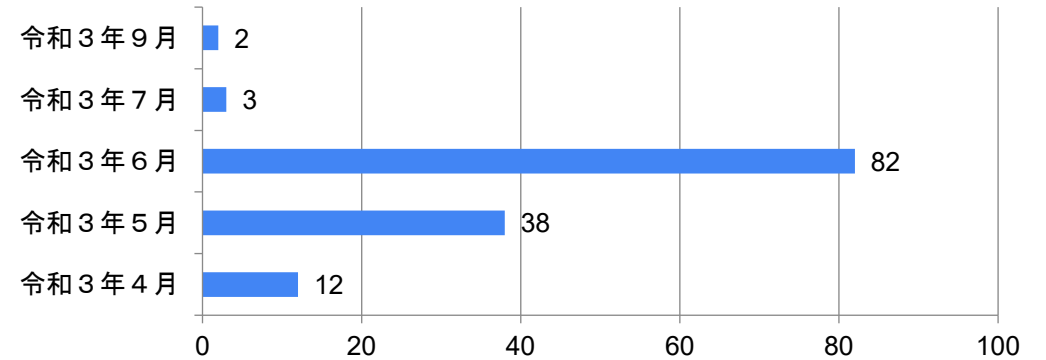
学校歯科検診について

(1)令和3年度の学校歯科健診はいつ終了しましたか

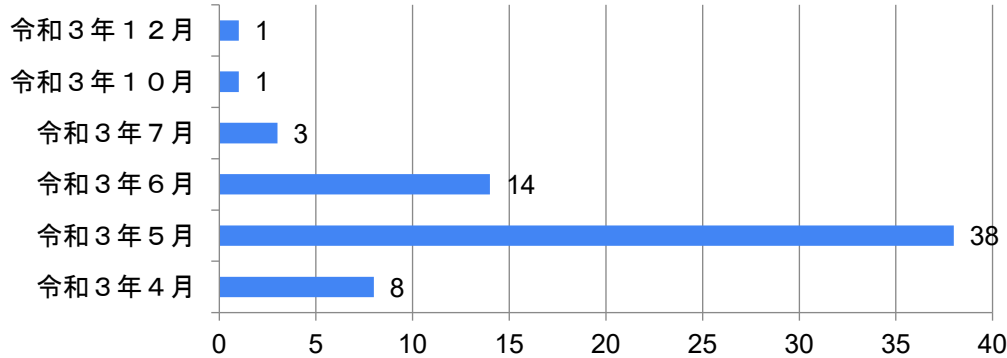
小学校



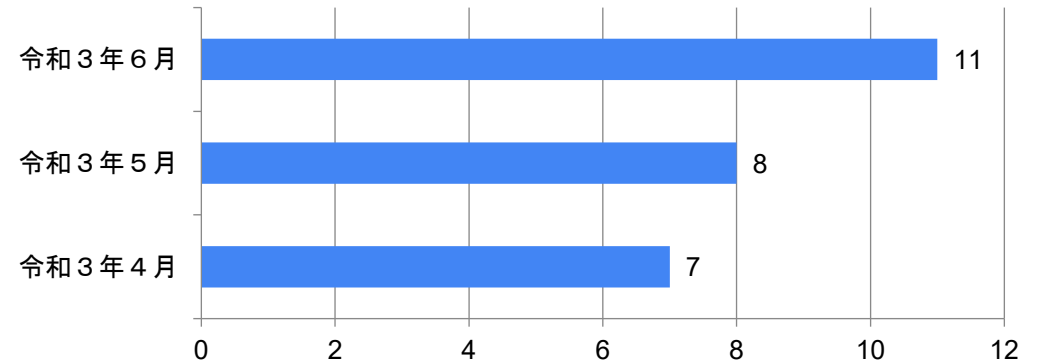
中学校



高等学校



特別支援学校



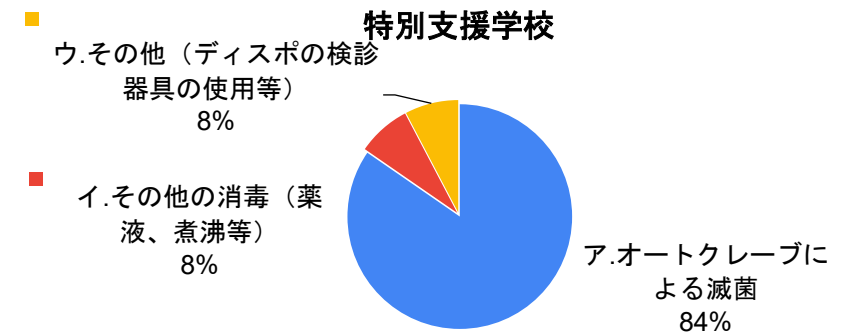
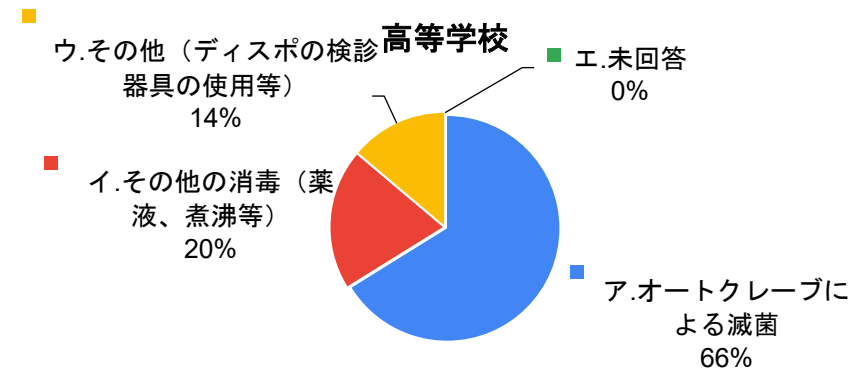
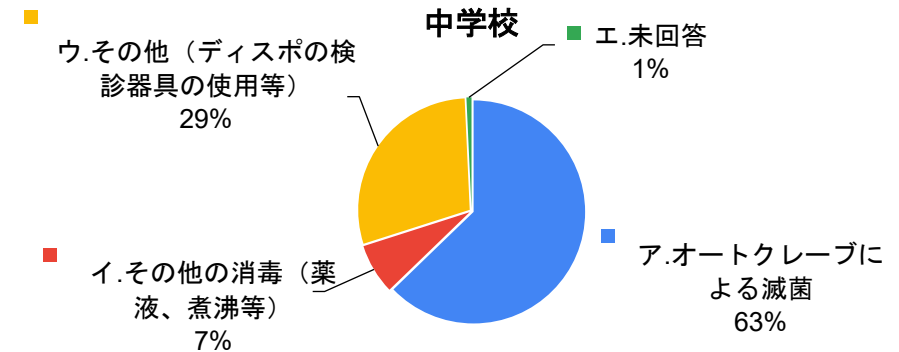
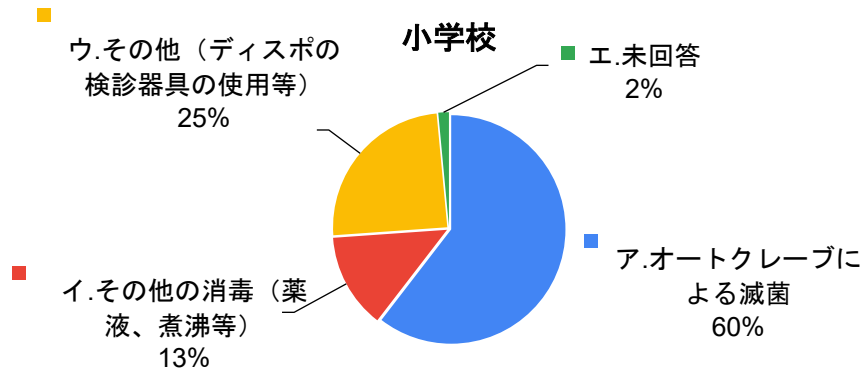
中等教育学校

令和3年6月終了(1校回答)

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

今年度は昨年度とは異なり、本来の期限である6月末までに検診を終了できた学校が大部分を占めました。コロナ感染への対応が、ある程度進んだと思われます。学校検診の中でも歯科検診は特に感染の危険性のある検診ですので、教育委員会や学校歯科医と相談の上、実施時期を決定して下さい。

(2) 検診機器の滅菌について



中等教育学校

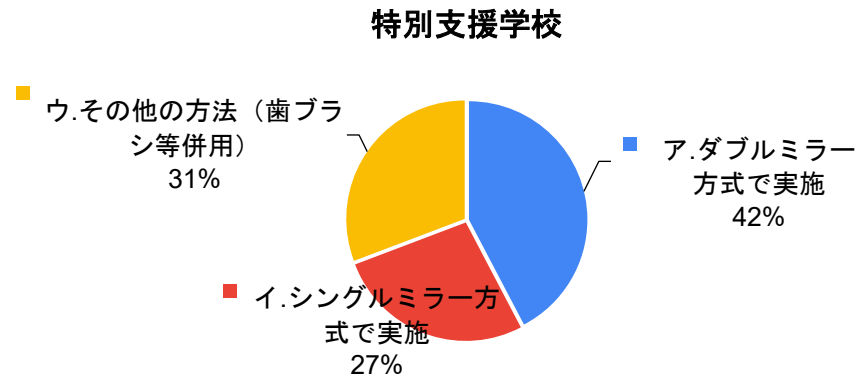
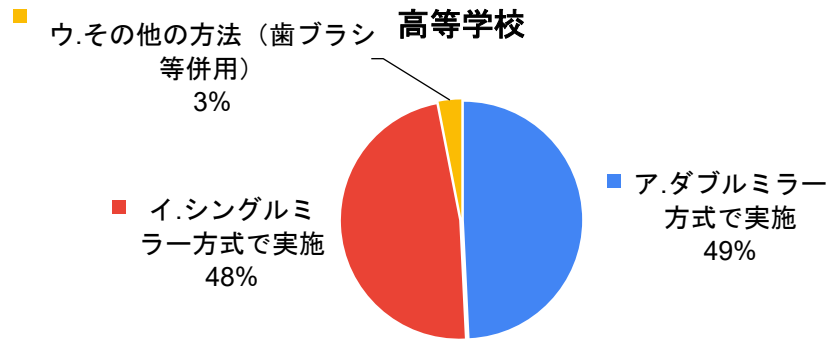
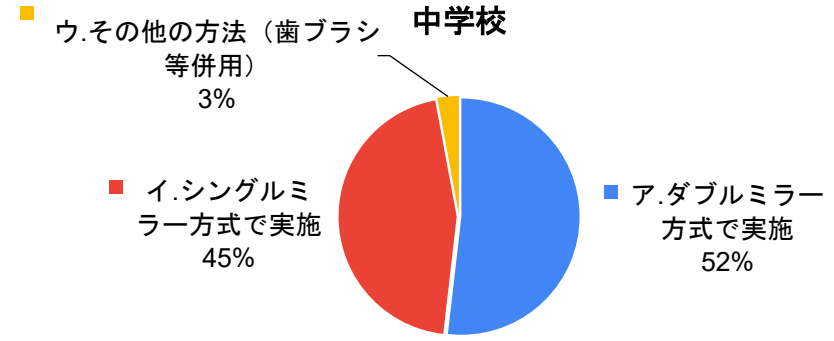
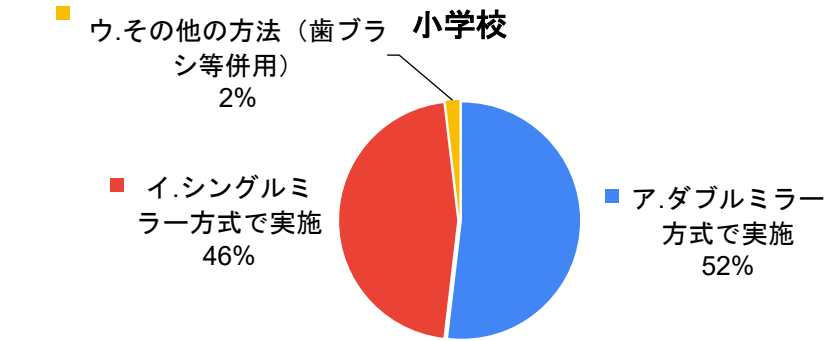
ア.オートクレーブによる滅菌(1校回答)

	ア.オートクレーブによる滅菌	割合	イ.その他の消毒(薬液、煮沸等)	割合	ウ.その他(ディスポの検診器具の使用等)	割合	未回答	割合	合計
小学校	162	60.4%	36	13.4%	66	24.6%	4	1.5%	268
中学校	86	62.8%	10	7.3%	40	29.2%	1	0.7%	137
高等学校	43	66.2%	13	20.0%	9	13.8%	0	0.0%	65
特別支援学校	22	84.6%	2	7.7%	2	7.7%	0	0.0%	26
中等教育学校	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

どの校種も6割以上がオートクレーブによる検診器具の滅菌を実施していました。また、ディスポーザブルの検診器具も多くの学校で用いられたようです。令和2年度に比べると滅菌済み・ディスポーザブルの検診器具使用が増えてきていますが未だに、その他の消毒を行なっている学校が残っています。すべての学校で、滅菌済み・ディスポーザブルの検診器具使用を要望します。

(3)ダブルミラー方式(デンタルミラーを2本使用)の実施について



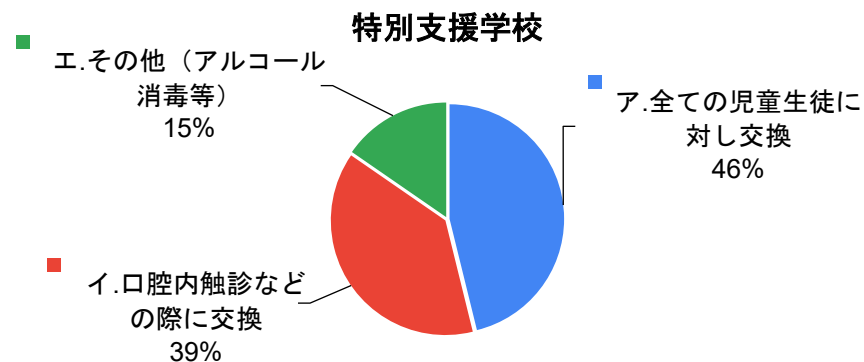
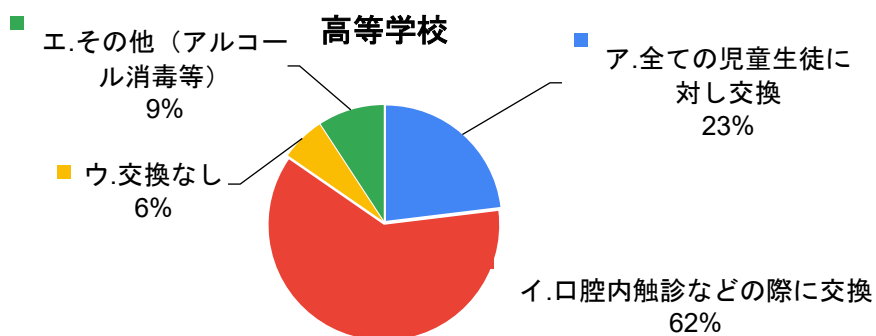
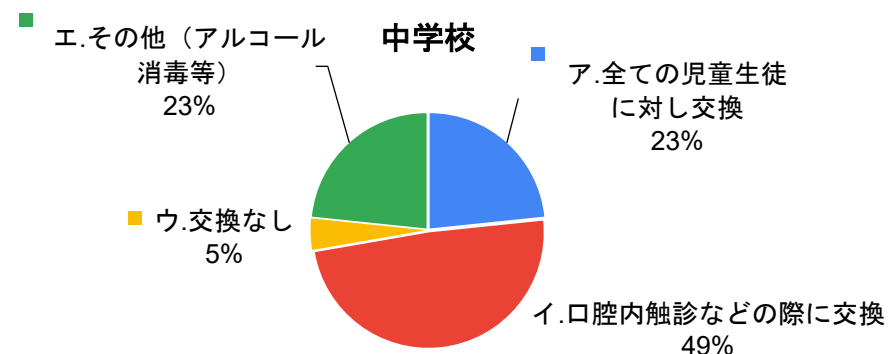
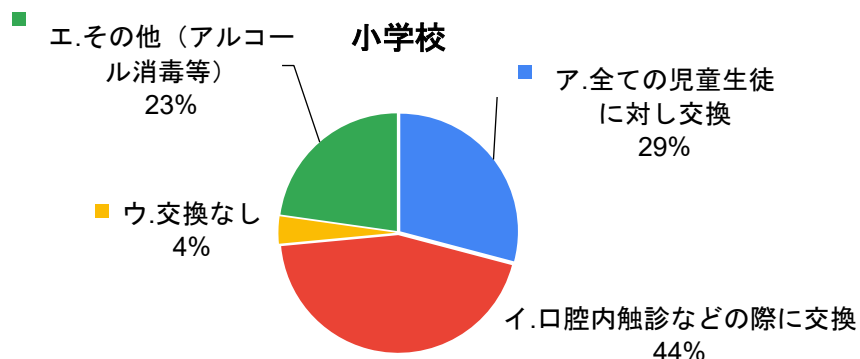
中等教育学校
イ.シングルミラー方式で実施(1校回答)

	ア.ダブルミラー方式で実施	割合	イ.シングルミラー方式で実施	割合	ウ.その他の方法(歯ブラシ等併用)	割合	合計
小学校	139	51.9%	124	46.3%	5	1.9%	268
中学校	71	51.8%	62	45.3%	4	2.9%	137
高等学校	32	49.2%	31	47.7%	2	3.1%	65
特別支援学校	11	42.3%	7	26.9%	8	30.8%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

宮城県では宮城方式として児童生徒が持参する歯ブラシとデンタルミラーを併用する方法を推奨してきましたが、現状においては、感染の要因にもなるため、ダブルミラーによる検診をお勧めします。歯ブラシ使用の有効性もあるので今後については検討を要します。

(4) 検診者のデンタルグローブの使用について



中等教育学校 イ.口腔内触診などの際に交換

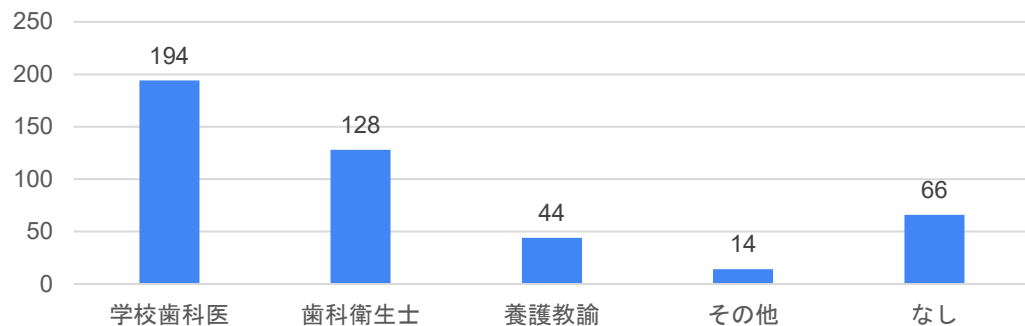
	ア.全ての児童生徒に対し交換	割合	イ.口腔内触診などの際に交換	割合	ウ.交換なし	割合	エ.その他(アルコール消毒等)	割合	合計
小学校	78	29.1%	119	44.4%	10	3.7%	61	22.8%	268
中学校	32	23.4%	67	48.9%	6	4.4%	32	23.4%	137
高等学校	15	23.1%	40	61.5%	4	6.2%	6	9.2%	65
特別支援学校	12	46.2%	10	38.5%	0	0.0%	4	15.4%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

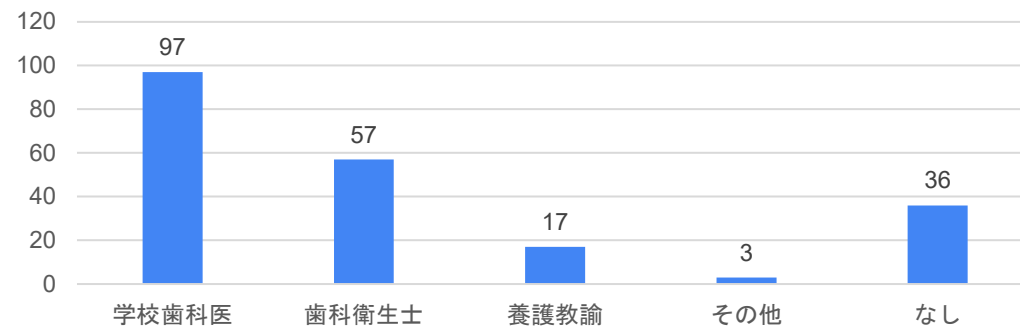
マニュアルでは、「触診で病的な皮膚に触れた場合はグローブを交換する」との記載がありますが、唾液に触れた場合や、児童生徒の持参する歯ブラシを使用した場合なども交換の必要があると思われます。全員交換が理想ですが、大規模校などでは時間がかかり難しい状況も想定され、2重にグローブを装着し、外側のグローブを交換する方法等もありますので学校歯科医とよく相談ください。

(5) フェースシールドの着用者について(人数)

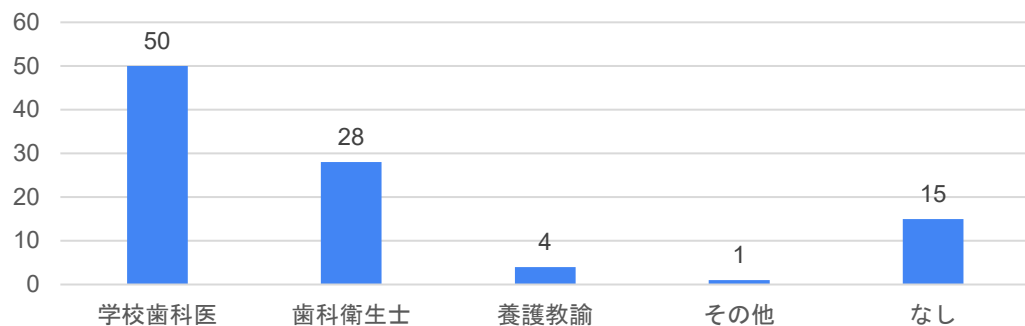
小学校



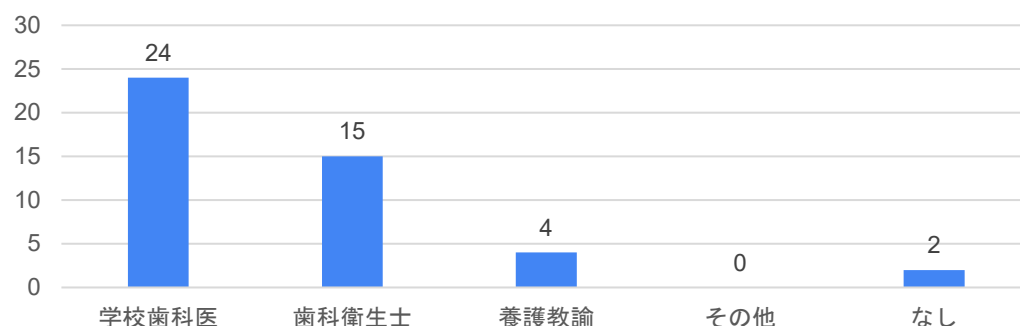
中学校



高等学校



特別支援学校



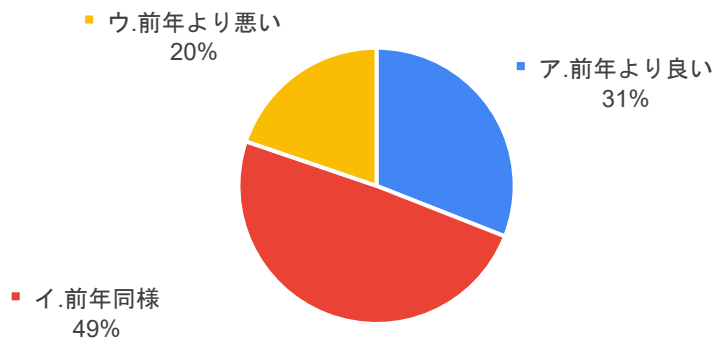
中等教育学校
学校歯科医

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

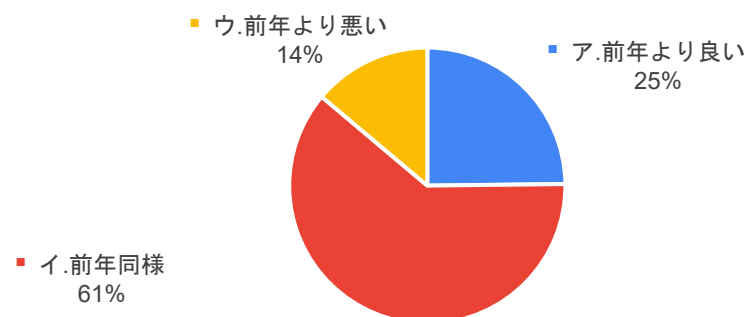
よく見えない、声が通らない等の不都合もあるようです。使い慣れているフェースシールドやゴーグル等を持参して頂くとよいと思います。

(6)前年度の検診結果と比較して変化がありましたか
1)「C,CO」の状態

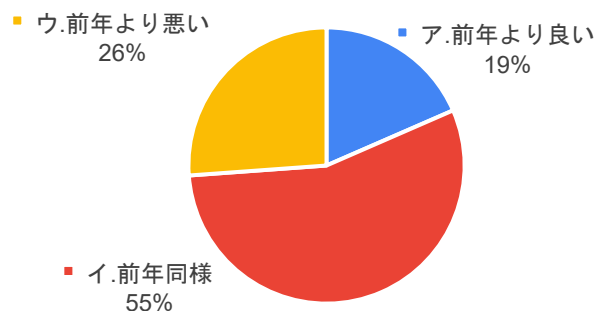
小学校



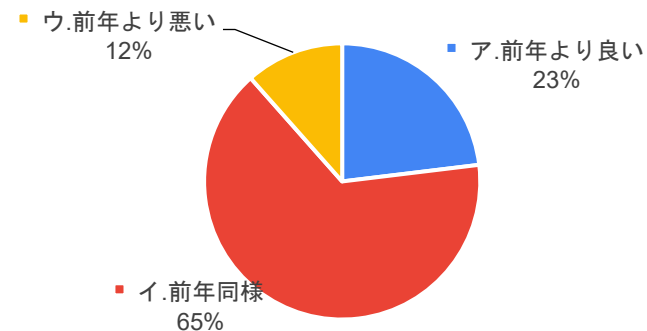
中学校



高等学校



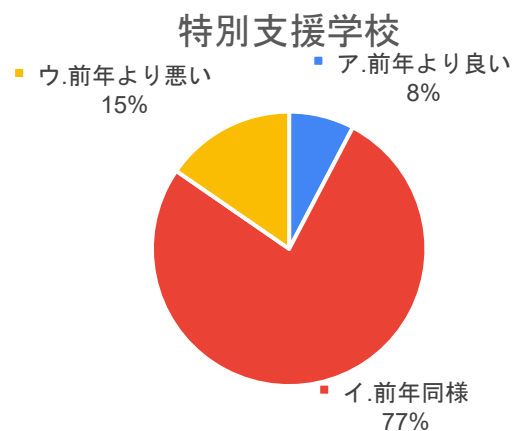
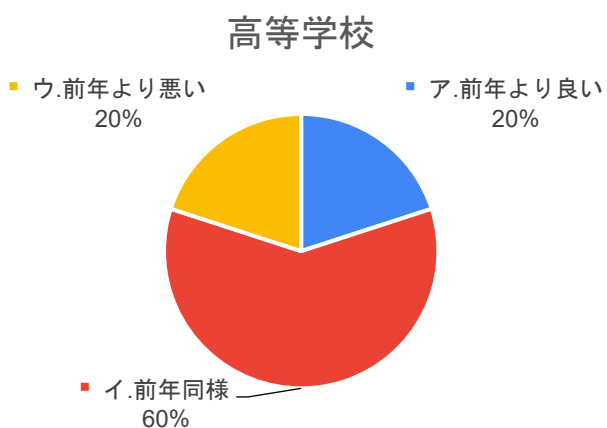
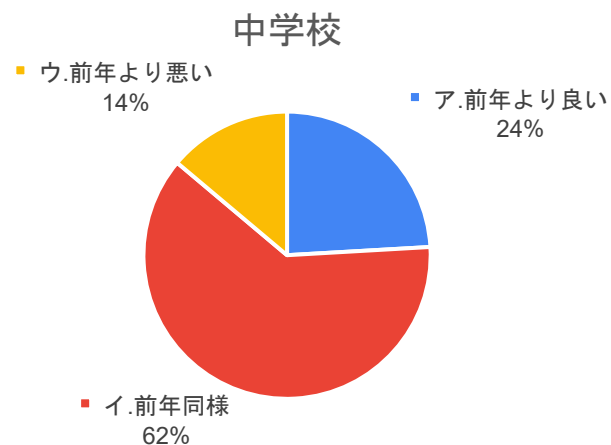
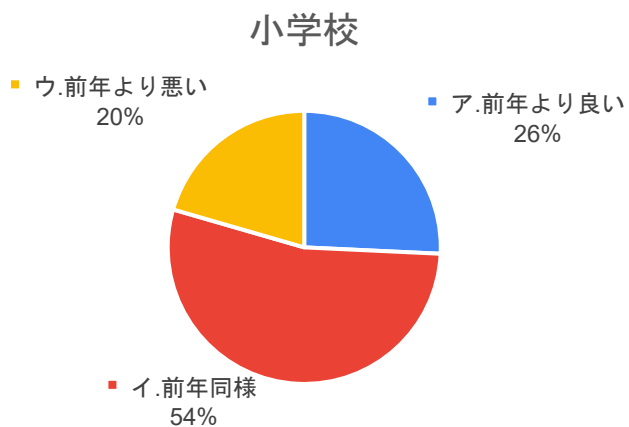
特別支援学校



中等教育学校
イ.前年同様(1校回答)

	ア.前年より良い	割合	イ.前年同様	割合	ウ.前年より悪い	割合	合計
小学校	83	31.0%	132	49.3%	53	19.8%	268
中学校	34	24.8%	84	61.3%	19	13.9%	137
高等学校	12	18.5%	36	55.4%	17	26.2%	65
特別支援学校	6	23.1%	17	65.4%	3	11.5%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1

2)「G、GO」の状態



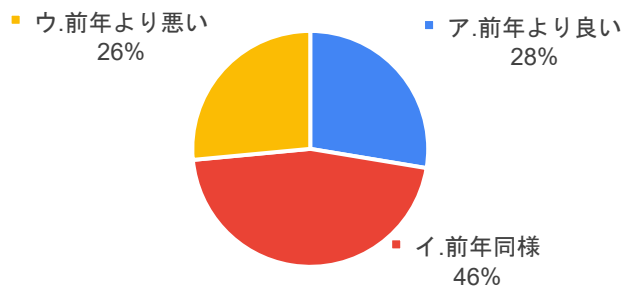
中等教育学校

イ.前年同様(1校回答)

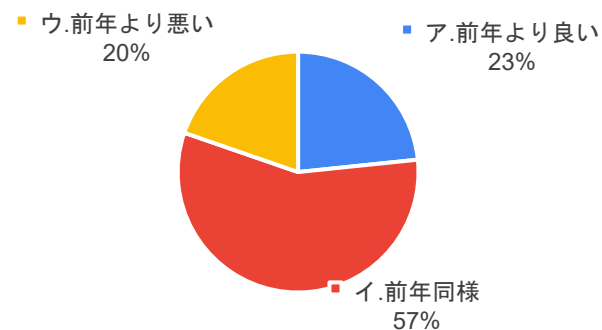
	ア.前年より良い	割合	イ.前年同様	割合	ウ.前年より悪い	割合	合計
小学校	69	25.7%	144	53.7%	55	20.5%	268
中学校	33	24.1%	85	62.0%	19	13.9%	137
高等学校	13	20.0%	39	60.0%	13	20.0%	65
特別支援学校	2	7.7%	20	76.9%	4	15.4%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1

3) 歯垢の状態

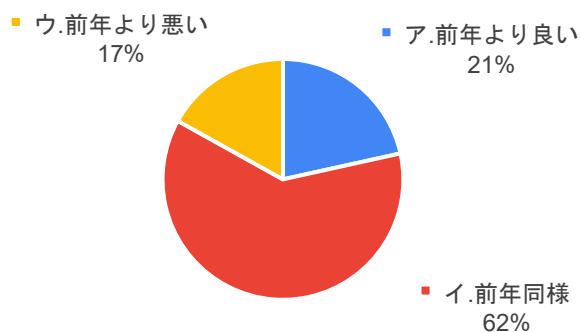
小学校



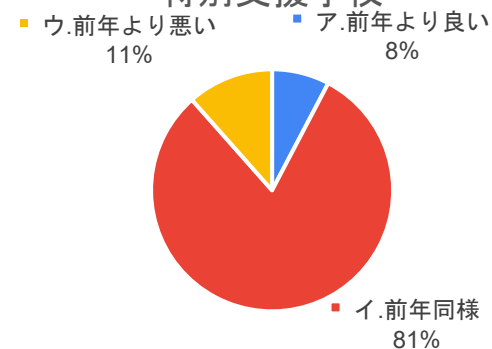
中学校



高等学校



特別支援学校



中等教育学校

ア.前年同様(1校回答)

	ア.前年より良い	割合	イ.前年同様	割合	ウ.前年より悪い	割合	合計
小学校	74	27.6%	123	45.9%	71	26.5%	268
中学校	32	23.4%	78	56.9%	27	19.7%	137
高等学校	14	21.5%	40	61.5%	11	16.9%	65
特別支援学校	2	7.7%	21	80.8%	3	11.5%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1

4)その他の変化

小学校

- ・高学年の歯の状態が良かった。
- ・臨時休校期間中、歯磨き等をメールなどで呼びかけていたところ、休みを利用して受診した家庭が多かった。臨時休校明け、8月に行った歯科検診では良い結果となった。
- ・歯科検診後の受診率が上昇した。
- ・統合校なので比較できません。
- ・マスク着用のため、口腔内を観察する機会が激減した。歯磨き指導も行えなくなった。
- ・口腔内の汚れがひどくなった。
- ・歯石が増えた
- ・乳歯のむし歯が増加した。
- ・令和2年度より、未処置歯保有児童の受診が多かった。
- ・軽度の歯垢、歯肉炎の児童が増えてきているように感じる。
- ・理由は不明だが罹患状況が良くなった。
- ・マスクやフェイスシールド着用での検診は、メガネが曇りやすく、大変そうであった
- ・身処置歯所有者数が減少した。
- ・歯科受診率があまり増加しない。
- ・歯科受診率が若干下がった(58.4%→52.4%)
- ・歯列咬合、顎関節共に前年度より増加している
- ・虫歯治療率が上がった
- ・う歯治療完了児童の割合が下がっていた。
- ・一人あたりのう歯保有数が多い。
- ・軽度の歯肉炎の児童が増えた。また、歯並びが1や2の児童が増えた。
- ・歯肉の状態は前年より良い

- ・歯石を指摘されていた
- ・R2年度当初と比べ徐々に受診率が上がったため、未処置者の割合が減ったと思われる。
- ・口を大きく開くことができない児童が目立つ
- ・歯科受診率も前年より良い。
- ・臨時休業が3ヶ月あった時におやつのだらだら食べの習慣のため、むし歯が15本できた児童がいた。
- ・歯の診察(チェック)をする人数がふえた。う歯がない。
- ・学年による差がある。
- ・歯列の状況で所見ありの児童が増えた
- ・R2の検診結果が歯垢・歯肉全校的に悪化していたが、R3はR1並にもどった。でも永久歯のむし歯本数が増加してしまった。
- ・口が開きにくくなっていると歯科校医から言われた。
- ・歯列咬合の要経過観察の割合が増えた
- ・良い児童がいる半面、改善されない児童もいる

中学校

- ・令和3年度から、石巻市では、健診器具の消毒が業者委託になりました。
- ・大きな変化はない
- ・①C,COについて
CはR2は13.6%、R3は27%で数値では悪化しているが、一人で10本以上保有する生徒がおり、全体の数値に影響を及ぼしている。COではR2は12.8%、R3は8%で改善傾向である。
- ・②G,GOについて
GはR2は4%でR3は1.5%で改善傾向である。
- ・③歯垢について
R2は21.6%でR3は29%であった。しかし、そのほとんどは歯垢1の状態であり、歯垢2の割合は、R2は5.6%でR3は2.3%で改善傾向にある。
- ・未処置歯のある者の割合が初めて県平均を下回った。
- ・受診率が低下した
- ・虫歯や歯肉炎に対して前より保健指導に対する反応がよい。しかし、もっと治療勧告に対する受診率が上昇してもよいと思う。今後も指導していく。
- ・コロナ禍以前は検診日が2日間だったが、学年ごとにしたため3日間に増えた。

- ・歯科受診率の向上
- ・上記1)～3)について、新設校のため、比較できませんでした。
- ・磨き残しが増えたこと以外は大きな変化は無い。
- ・むし歯の治療率が上がらない。校医からは受診を控えているのではないかと指摘があった。
- ・Cは前年より悪く、coは前年より良い
- ・歯石の付着が認められる生徒の増加
- ・歯科の受診者が減った
- ・受診率は向上していた。

高等学校

- ・1学年については、過去う歯がなかった者が半数以上を占めた。
- ・DMF歯数が過去10年間で一番少ない結果となった
- ・昨年度よりは、受診控えは少ない
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症により受診勧告後の受診率が落ち込んだが、令和3年度は上昇した。
- ・受診率の低下
- ・多数の虫歯保有者は受診指導を本人保護者に行ったが、中々受診に結びつかない現状がある。意識の低さや家庭の問題
- ・前年度までう歯がなかったが、今年度の検診で多数のう歯がある生徒が数名いた。
- ・コロナ禍ということもあり、受診報告が例年より少ない感じがする。
- ・1年生(入学生)の未処置歯保有率が、例年と比較して高かった。

特別支援学校

- ・高等部のみ歯肉炎の割合が増えた
- ・前年に比べ入念に検査できた

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

C・COについては高等学校において「前年度より悪い」が「前年度より良い」より多くなっていますが他の校種では「前年度より良い」が「前年度より悪い」より多くなっています。G・GO、歯垢の状態についてはどちらも前年度と比較において、「前年度より良い」と「前年度より悪い」が同じような割合の結果となっています。ただし、4)「その他の変化」の記載内容を見ると口腔内状況の悪化傾向の記載内容が多いようです。

(7)コロナ禍での歯科健診を行い、気づかれた問題点や課題などもご記入ください。

小学校

- ・感染対策をしながらの検診なので、時間を要する。
- ・親の手が離れがちな高学年の結果が悪くなっていた。学校で、歯磨きは続けていたが、歯ブラシやコップをまとめて管理することをやめ、個人で管理するようにしたことや、時間差で歯磨きをするようになり、ハブラシを持ってきていない児童や磨いていない児童を把握しにくくなり、二極化が生じた。
- ・以前より時間がかかりました。
- ・検診後治療勧告を出された多くの児童は受診していたが、感染が広がっている時期の受診は少ないようだ。
- ・コロナという状況よりも各家庭によるところが大きい。
- ・全児童に対してディスポグローブの交換をするので、時間がかかっ。
- ・歯垢と歯肉の状態が悪くなった
- ・歯科検診で歯ブラシのチェックや歯磨きの仕方を教えてもらっていましたが、中止にしています。歯科医からお話してもらったので残念です。
- ・歯科校医に、児童毎に手袋の交換をお願いしたが、承諾を得られず感染症対策をが不十分であった。医師自身が感染症の対策に協力的であってほしい。
- ・休校や学校での歯磨きが中止が長期になると、家庭でのブラッシングがおろそかになる心配
- ・現時点では、特になし。令和4年度も歯科校医と連携しながら、対応していく。
- ・歯科校医の負担が増えている。健診にかける一人当たりの時間が増加したため、健診日数を増やしてもらっているため。
- ・むし歯がある児童とない児童の二極化
- ・令和2年度は歯科検診が10月実施になったため、夏休みを利用した受診ができず、受診率が低くなりました。

- ・昨年度休みが多かったせいか口腔内の状態が良くなったが、今年度はまた、一昨年並みに悪くなった。
- ・歯科校医の先生により、実施に際してのお考えがまちまちなので、どの学校も計画準備・実施に際して苦労があったと思います。
- ・家庭での歯磨きの大切さ。
- ・市教委より、ディスプレイの検診器具や手袋等をいただけるので助かっています。
- ・コロナ前は歯科検診の際に歯科衛生士によるブラッシング指導を行っていたが、今は実施できていない状況である。
- ・検診を受ける児童の健康観察と感染対策を強化すべきと思った。例年より検診時間が長くなったので、授業等との調整が必要である。
- ・検診を受ける児童の健康観察や感染対策の強化が重要なこと、検診時間が例年より長かかったので授業等との調整が必要。
- ・歯科検診の結果を受け取ってから治療に行く家庭が多いため、定期検診はとても大切だと思います。虫歯の多い児童ほど治療にいかないことが多いと思います。治療後再度虫歯にならないようにすることが課題です。
- ・使い捨ての器具はとても良い
- ・歯科医と相談し、次年度以降はダブルミラー方式で行うこととした。
- ・歯科校医の講話や歯科衛生士によるブラッシング指導、給食後の歯みがきを見合わせた影響が結果にでていると思う。
- ・歯科検診の前に歯磨きをさせたいがうがい程度しかできない。
- ・常時マスクをしていることと、学校での歯磨きを中止していることで、口腔内の健康については、以前と比べると実感のない保健指導になってしまっている
- ・オートクレーブの必要性
- ・マスクで口の中が見えにくいいため、歯科検診は口腔の健康課題の早期発見のためにとても貴重な機会。
- ・本校は、以前は自由磨きだったが、コロナ禍になって、時間を決めて教師が様子を確認しながら磨く体制となったため、磨く時間を確保できるようになった。ただ、どんなに距離をとっているとはいえ、飛沫の影響がないか気になる。
- ・密を避けながらの検診や換気等、感染症対策を行いながらの実施が難しかった。
- ・検診後の機械消毒の際、口腔に入れた物なので気をつけて扱うようにはしたが、感染のリスクが高いと感じた。

- ・外出の自粛や人と会うことを控えたりする意識の影響もあるかも知れないが再三に渡り治療勧告しても治療を受けていない児童がいる。また、そのような家庭は歯磨き習慣がないことも多い傾向が見られる。
- ・学校での歯磨きができていないので、家庭への働きかけを積極的に行い歯磨き習慣の定着を図ることや、保護者の啓発にこれまでより重点的に取り組む必要があると感じました。
- ・常にマスクをつけた生活をしており、口呼吸をしていたり、十分な歯磨きができていないのではないかと心配がある。
- ・感染防止のため歯科受診を控える保護者が増えたためか、令和2年度の処置完了者が減少した。令和3年度は改善されてきている。
- ・口腔状態に個人差が大きい。
- ・検診時、健診を受ける児童がのけぞってしまいがち。以前は次の順番の児童に頭を押さえさせていたが、コロナ感染予防のため、低学年のみ教員に予防衣とフェイスシールド着用の上実施した。頭の支えがないと検診しづらそうであった。
- ・検診会場に入れる人数の制限や換気に気をつけた
- ・歯科検診後の治療が、あまり進まなかったと思う。
- ・コロナ禍になり、口腔の状態が悪化していたり、受診を控えてるのではないかとと思われるため、感染対策に気をつけながら口腔状況を改善していくことが今後の課題である。
- ・歯科校医さんの希望では午後実施だが、給食後の歯磨きを実施するのが難しいため午前実施で依頼している。(感染予防の観点で歯磨きをさせるのが難しい)
- ・グローブの交換を児童ごとにしたかったが、時間の関係で実施できなかった
- ・検診の時期に感染者数は少なかったが、感染者が増えている中では実施判断に悩む
- ・今年度は検診時に地域で流行していなかったため、対策を取りながら安全に安心して実施することができたが、次年度実施予定の時期に流行レベルが高かった場合は、検診が延期になることが予想される。その場合は、未処置歯保有者が治療せず放置してしまう可能性が高くなると考えられる。
- ・「学校歯科健康診断時の感染症対策」をもとにスムーズに実施することができた。前年度と比較し、受診率の低下が課題である。
- ・コロナ禍となった昨年度、歯科校医さんはお2人ともディスポグローブを一人一人交換することを当初試みましたが、学校検診という時間制約の中での実施は非常に難しく、学級の男女毎や口腔内触診の後などの交換となった。
- ・検診場所が狭い。
- ・グローブを1人ずつ交換して実施するため、検診にかかる時間が増えた。
- ・令和2年度は冷房設備のない広い部屋で検診を実施し、歯科校医も歯科衛生士も大変暑そうであった。(特に校医は、ガウン・マスク・手袋・フェイスシールドを着用していたため。)そのため、令和3年度は狭くても冷房設備がある部屋で実施し、児童は2～3人ずつ入室させた。
- ・グローブの交換や消毒を行うことで時間がかかる。

- ・児童間の距離を取る必要があるため待機場所に苦慮する
- ・歯科についての数値は悪くなっている。
- ・①家庭の意識の違いが反映されており、むし歯や歯の汚れが減っている児童と、逆に悪化した児童がいる。平均化してしまうと、少数派の悪化している児童の存在が目立たなくなってしまう。歯科校医の検診後の助言からも同様のことが話された。②歯肉炎が全体的に増えている。
- ・歯肉炎や歯数が増加した。マスク着用による口呼吸も気になる。
- ・歯肉・歯垢の状態が悪くなった児童が多く、学校で行っていた給食後の歯磨きが、いかに重要な機会であったかを知る事となった。
- ・過小規模校であるため、コロナ禍においても対策を講じながら、例年通り検診を行うことが可能である。問題点や課題は特には無い。
- ・定期健診を控えたご家庭がみられました
- ・小規模校なので特になし
- ・学校での歯みがきを中止している中で、家庭の協力の基で、児童の歯科衛生の保持と増進を図ること。
- ・歯科校医が手袋を交換しない。こちらからはしつこく言いにくいので、通知を出したりしていただきたい。
- ・検診用ミラーを業者に滅菌消毒してもらうことで、安心して検診ができた。
学級での歯科保健指導が十分でなかったため、検診結果が昨年度と比較して悪かった。
- ・事前に複数回、学校歯科医と実施方法について相談、検討できたのがよかった。
- ・上記質問4について：全体を通してはアルコール消毒で対応しながら、学校歯科医の判断で適宜グローブを交換した。
- ・検査器具が滅菌処理されるようになった事は望ましい。
- ・入室制限をしながら実施するため、時間の延長はやむを得ないと感じています。
- ・歯みがきの集団指導ができなくなり、児童と校医・歯科衛生士の接点が薄くなった。
- ・医師と児童、児童と児童の距離
- ・感染予防対策を行いながらの実施なので、ゆとりを持たせた日程・時間設定が必要。
- ・デンタルグローブをすべての児童に対し交換しているため、時間がかかる。

・ミラーの消毒を煮沸消毒を行っているがディスポのデンタルミラーが使える(予算化)されると良いと思う。使用後の後片付けがとても不安。

・以前のように児童の口腔に近づいて検診することができないため、より健診が難しくなっている。
白石市は健診器具を業者委託し、オートクレーブによる滅菌をいただいているので安心である。しかし、市町村によっては学校での煮沸消毒のところもあるので、今後はどの学校も専門機関による滅菌処理を行うことを望む。また、感染予防のための物品準備をしっかりできれば良いと思う。

・コロナ禍前と比べて口腔状況が悪化した。

・歯科校医の先生の希望でニトリルの使い捨て手袋を全児童分準備したが、手に入りにくい時期があったり、他の素材の手袋より高価であるため、感染症対策のための予算が付かなくなった場合、今後同様に準備できるか不安である。歯科校医の先生は、今後も全員手袋を交換して実施できると安心だとお話されていたが、その通りであると感じる。

・使用後の器具の扱いを慎重に行った。

・当日保護者が記入した調査用紙がないと受けられない。未検者が多かった。

・歯科の分野では、コロナ禍以前から感染症対策はしっかり行っており、歯科校医との相談の上、コロナ禍だから特別な対応はしなかった。

・歯科受診率の低下

・感染リスクの高い口腔内の検診であるため、アルコール消毒の呼びかけや児童ごとの手袋の交換など感染対策を意識して歯科検診を実施しました。

・感染予防のため、学校歯科医による歯みがき指導は休止しています。今後、感染の状況をみながら再開できればと考えています。

・使用後の歯鏡の感染リスクが取り扱い方に配慮したが、今後どのようにしたらよいか。

・コロナをきっかけに器具の滅菌が業者委託となったが、終息後も市は業者委託を続けてほしい。

・歯科校医の指導により、現在個別のブラッシング指導は見合わせている。

・三密回避を意識したことで、いつもより時間がかかった。

・当初受診を控えた児童が多かった。歯列咬合の児童医が増加した。

・歯科校医により手袋やペンライトを使い回す場合があり、心配だった。

・フェイスシールドを使用すると歯の状態が見えにくいとのこと

・健診の日程を決めていても、感染状況などにより変更せざるを得ない事がある。

- ・1人ひとり手袋を交換するため時間がかかりかかる
- ・事前に問診票で健康チェックをしたり、感染予防に努めているが、心配である。
- ・医師使用のフェイスシールドやグローブの準備、児童の検診体制、環境整備など留意する事項が増えたことに加え、職員や児童への周知の徹底を図らねばならない。
- ・今年度はシングルミラーの検診でしたが、来年度はダブルミラーの要望がありました。教育委員会へ伝えたところ、ダブルミラーで行える予定です。
- ・飛沫感染の危険と感染防止の配慮が大変
- ・R2年度は休校期間が長く、6月からの開始だったため生活リズムが整うのに時間がかかった。R3年度は、ほぼリズムが整いつつあるが、関心のない家庭にどう働きかけるのが課題。学校では、知識と動機付けを今後も継続して行っていく。
- ・健診に時間がかかる。経過観察児童などに個別の歯みがき指導ができないこと。
- ・学校で接触、感染を予防することは資材、場所の都合上難しい。
- ・給食後の歯磨きを中止したことにより、むし歯予防に力を入れている家庭と、そうでない家庭との二極化が目立った。
- ・検診前の問診票のチェックに時間がかかった。(保護者署名など)
- ・可能な限りの感染対策はしているが、限られた施設設備のなかで数百人の児童の口腔内を診てくださる学校歯科医、衛生士の安全確保や子どもたちの安全確保に難しさを感じる。
- ・検診場所の設置(児童の導線、検診人数、感染対策など)
- ・令和4年度からはダブルミラーで実施する予定。密をさけるために広い会場で実施したが、以前よりスムーズに行うことができた。
- ・消毒作業や人数を制限したため、時間が長かった。
- ・毎回、グローブ交換と消毒をするため、時間がかかった
- ・声を出さないようにはしていましたが、マスクを外す時間が、他の健診に比べて長く、感染のリスクが高まると思いました。
- ・日常的にマスクをしているため、歯及び口腔内の環境が悪くなっている。
- ・消毒や手袋の付け替え、マスクをはずすなどの作業により例年以上に検診時間がかかった。
- ・令和2年度の結果は良くなかったが、令和3年度は少し改善が図られた。しかしながら、コロナ前より口腔内の状況は良くない。歯磨き指導等を行うのも難しい状況である。
- ・以前は歯科検診後に歯科校医による歯磨き指導があったが、令和2年度から無くなった。
- ・歯磨き指導が感染予防のためできない。

中学校

・歯肉の状態がよくなかった。課題です。

・学校では検診の設備がないので、ライトのみの使用で診てもらっているが、正確に診ることは難しい。ダブルミラーにすることで、生徒の口を触らなくても見やすくなった、との声を頂いている。例年は歯科指導を歯科校医と連携して行っていたが、ここ数年実施できていない。来年度も難しいため、非常に残念。

・問診票でコロナ関係の該当があった生徒はその日検診をうけられないこと。後日医療機関を受診してくださいとつたえても、行っていないケースがある

・歯垢・歯肉の状態が前年度より少し悪くなっていた。歯磨きの徹底を呼びかけているが、個別に歯磨き指導ができずにいる。コロナが落ち着いたら実施していきたい。

・歯科校医は素手で行う アルコール消毒はたまにやるだけでした 口腔に触っていました

・器具の消毒について、より注意を払いました。

・ミラーの滅菌作業が毎年大変。仙台市や他の市町村のように業者委託をずっと希望していたが、来年度オートクレーブが配付されることになった。煮沸消毒よりはいいが、滅菌作業は養護教諭の負担が大きい。

・感染対策の徹底を充実させる事が大事だし、家庭での歯磨きをしっかり行えるようにしたい。

・①歯みがき指導について

本校では、歯みがきをしたい生徒の気持ちを尊重して、安全・安心な歯みがきの仕方として「無言歯みがき」を指導して実施しています。しかし、歯みがきに不安を感じる生徒もいると思われます。ですから、歯みがきは一斉指導ではなく、安心できる歯みがきの環境を整えたうえで、個人の気持ちを尊重しながらするものと捉えています。

②歯科受診について

コロナ禍で、歯科受診に不安を感じる家庭もあるようです。強く歯科受診を勧めることができない現状をご理解ください。

・検診者のグローブ交換が全ての生徒に対してではなかったため、不安に思う生徒もいたようでした。また、例年シングルミラー方式で実施していましたが、ダブルミラー方式の方が良いという意見もありました。

・受診の時期が遅いように感じる

・検診器具はここ2年、ディスポのものを使用している。予算がなくなると、既存のデンタルミラーを使用することになり、洗浄、滅菌の作業の時間が増えるし、感染の不安が残る。

- ・一人ひとり手袋を取り替えるので、手袋の着脱に時間がかかってしまった。
- ・マスクをしているため、口呼吸をしている生徒が多い
- ・グローブの交換頻度など、コロナ前はあまり衛生上状況への配慮が足りていなかったことに気づかされました。
- ・受診が必要な生徒の受診状況が二極化しており、COや歯肉の軽い炎症でもしっかり受診する生徒と、永久歯の齲蝕があっても受診しない生徒がいることが課題である。
- ・検診時間について、若干、要する時間が増えた。
- ・未処置歯保有生徒の保護者が新型コロナウイルス感染症の感染リスクを懸念しており、受診につながらない(3回勧告をしたが受診していない)
- ・本校は、毎年、むし歯保有者が少ない。今年度も、少なかった。
- ・軽度の体調不良で登校している生徒の健康観察について。(後日、新型コロナウイルス感染が判明した)
- ・歯科校医がデンタルグローブを装着した状態でアルコール消毒後、口腔内の検診をした際、生徒から「口の中がアルコールでビシャビシャになる」と苦情が出た。
- ・受診控え。(あまり病院を受診しないように考える保護者の増加。)
- ・歯科検診を辞退した生徒がいた。検診後の受診率が悪い。
- ・検診時のコロナ対策に生徒が敏感になった。昨年度は歯科校医の口腔内触診の際にグローブを交換したり手指消毒をしていたが、不安を感じている生徒がおり、今年度はダブルミラーに切り替えた。
- ・未処置歯のある生徒の受診勧告後の受診率が低い。コロナ禍により受診控えの傾向にあるのではないかと考える。
- ・ダブルミラーで検診を行い、口腔内に触れないように配慮していただいたので、生徒も安心して受診できたと思います。
- ・R2年度に比べR3年度は「歯垢の状態2」の生徒が増え、口腔の状態が大変悪い結果となった。
- ・密を避けると時間がかかってしまうことが課題と感じる。
- ・少数ではあるが、コロナの流行により医療機関の受診控えがあった
- ・歯科検診は、感染対策のため一度延期させていただいた。受診指導も、夏休み中など、リスクを避けながら行った。
- ・時間がかかる。歯科医がフェースシールドをしており、暑くて大変そうであった。
- ・歯科検診後の受診率が悪くなったこと。

・毎回グローブを交換しながらの検診は歯科校医、介助者の負担は大きいし時間もかかった。今回器具の消毒滅菌を業者委託してもらえたため、自分で消毒する際の感染リスクを心配しなくて済んでありがたかった。

・2極化が進んでいる

・コロナ以前とあまり変わらず実施している

・定期検診を受ける生徒が減少した

・じゅしんをひかえようとする

・3密に配慮しつつ、スムーズに実施することができました。

・ダブルミラーで検診できるように準備しましたが、校医の先生はほとんど使用されず、

・コロナ以後、昼の歯みがきを中止しているため、午後の検診だと歯垢を指摘される生徒が増える傾向にある。感染症予防と歯みがきの実施をどのように両立させるかが課題。

・感染症対策のため、個別の歯みがき指導ができず受診率向上に繋げにくいと思いました。

・直接口腔内を見るため、口腔内に触れる可能性があるため、手袋を1人ずつ新しくするなど、他の検診よりも一層注意して検診を行う必要があると感じました。

・歯科の定期受診者が減っている可能性があり、今後、口腔内の状況が悪化する懸念がある。また、校内での歯科指導も行いにくい。

・直接、口腔内を診るので、Drが使用しているグローブは、生徒一人に1枚使用できれば良いと思います。

・会場整備 予防衣着用のため室内の温度管理に配慮が必要だった

・蜜を避けるため、検診会場を以前より多く確保したが、場所が離れたため、何かあった時にすぐに対応できない事もある。

・ありません。実施していただいたことに感謝しています。

・コロナ禍なので、健診にかかる時間を短くしたい。健診中、歯科校医から指導を受けるとどうしても時間がかかる。

・コロナ対応のため、検診器具の消毒が市全体で業者委託になりました。使用済みのものは感染源になりうると再認識し、取り扱いに注意が必要と改めて思いました。

・ミラーの消毒について

高等学校

- ・マスクをしている影響なのか生徒自身口腔に関しての関心が薄く、歯科受診の優先順位が低く感じられる。
- ・コロナ禍のためか、事後の受診率が低い。また、学年があがるにつれ、未処置者、要観察歯保有者、歯垢、歯肉の要診察者が増加傾向にあり、生活習慣も深く関わっている。
校医によって、検診結果が変わり、う歯をカウントしないケースもある。
- ・歯科検診の間診票を工夫したり、検診会場の換気を工夫したり注意を払い実施している。
- ・感染対策の予算がついた事で、オートクレーブを購入する事が出来た。コロナがなければ購入することは出来なかったと思う。
- ・定時制の生徒は人数が少ないので、歯科検診はダブルミラーでの対応も問題ないが、大規模校では洗浄も消毒も大変かと思うので、外部委託が望ましいと考える。
- ・学校歯科医の先生には、地域の感染状況により検診日程を延期するなど柔軟な対応をしていただきました。
- ・去年はディスポを使用したため助かった。今年度予算でオートクレーブを購入したが、本校は生徒数が多いため滅菌作業に数日を要しとても大変だった。歯鏡は生徒数そろっているため、仙台市のように業者委託にしていきたい。
- ・密にならないように、検診に係る日程や時間に余裕を持たせるため、検診日を増やす(1日のみ)ことができたが、令和4年度は無理と言われた。本校は2名配置されているため、なかなか共通理解を得ることが難しい。
- ・換気や入室人数に気を遣った。校医の先生と生徒の会話量を減らすため、質問は事前に調査用紙に書いて準備した。
- ・本校はオートクレーブがあったので苦労しなかったが、他校は大変だったと聞いてます。
検診が延期になり、歯科医師や衛生士の調整に手間取りました。
- ・検診時、学校歯科医の先生がご持参された器具の消毒を手洗いのヒビテン消毒で簡単に洗ったり、使い回しがあったりして、不安を感じました。
- ・マスク生活が影響してか、口腔内の状況が悪い生徒が多くなった。
- ・コロナ窩で治療離れが見られた。自宅で過ごす時間が多くう歯はっせや歯肉炎の悪化が見られたら
- ・デンタルミラー消毒作業の負担が増していること
- ・受診勧告後の受診率の低下が見られる。

- ・検診後、必要な生徒に受診勧告をしているが、受診率が低い。コロナ前には未受診者に積極的に受診を勧めていたが、コロナ不安や経済的な状況等もからみ、以前のような指導が出来なくなっている。
- ・検診器具の滅菌については、業者に委託できると、より安全だと思います。
- ・例年、補助看護師によるブラッシング指導を同時に行っていたが、コロナ禍でできなくなってしまい、歯科指導の機会が減ってしまった。
- ・常時マスクを装着しているからか、口腔内の環境が人目に触れにくく、感心がある生徒とない生徒の違いが検診結果に現れたように思う。
- ・2年のコロナ禍で他の内科や眼科に比べて歯科受診率の低下が見られる。痛くなければ受診を控える傾向があるのでは。
- ・感染に対する不安から健診を辞退する生徒がいた。
- ・常時マスクをしているため、本人も周囲も口腔内の状態に気がつきにくい。以前から家庭環境が良くないが、コロナで受診を促しても経済的理由で行かない家庭が増えた。
- ・受信率が悪くなった
- ・限られた時間の中でグローブの交換など感染対策を行いながらの検診をしていただき、感謝しております。
- ・コロナ禍となってから、歯鏡・探針はディスポを使用している(コロナ予算で購入)。「滅菌」であることが確認されているものを使用できるため、安心感がある。
- ・器具の消毒をオートクレープで行うことには現実的に難しく、煮沸による消毒とした。オートクレープは予算があっても物品がなく購入できない状況があった。
- ・歯科検診は、校医の協力でスムーズに進行できた。昨年度に比べ、歯科受診率がコロナ前と同水準に戻った。
- ・学校歯科校医が生徒一人一人にグローブ交換などコロナ禍に配慮したことで、時間がかかった。負担も大きいと思う。
- ・口腔の状態が1年で急に悪化、虫歯が全体に見られ、メンタル不調のサインと考えられるケースがあった。口腔の状態で早期に発見できるケースとして、歯科健診の重要性を改めて考える事ができた。
- ・学校歯科医と歯科衛生士が感染予防に留意し、検診を例年通り実施していただいた。生徒一人一人に対してデンタルグローブを交換しているので、検診時間がコロナ禍以前より長くなっているが、感染予防対策としてコロナ禍に関係なく、今後も必要と考える。

特別支援学校

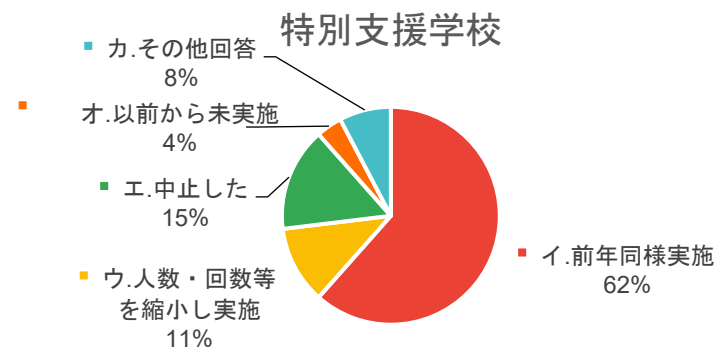
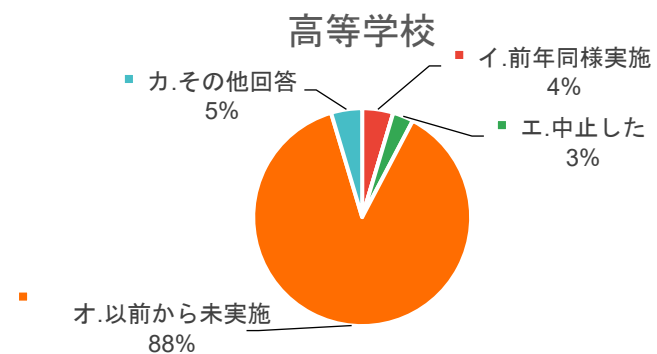
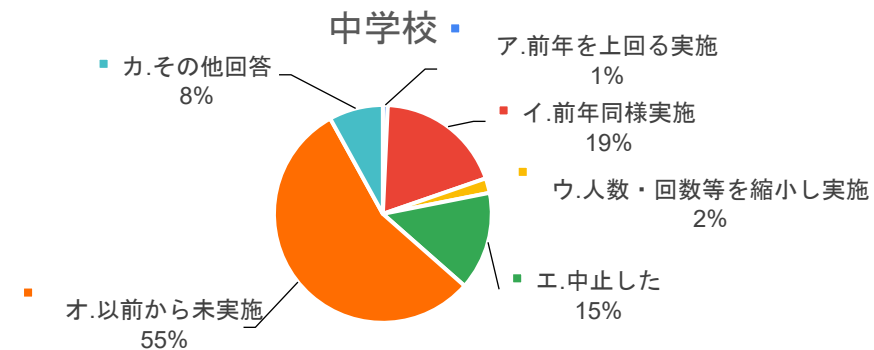
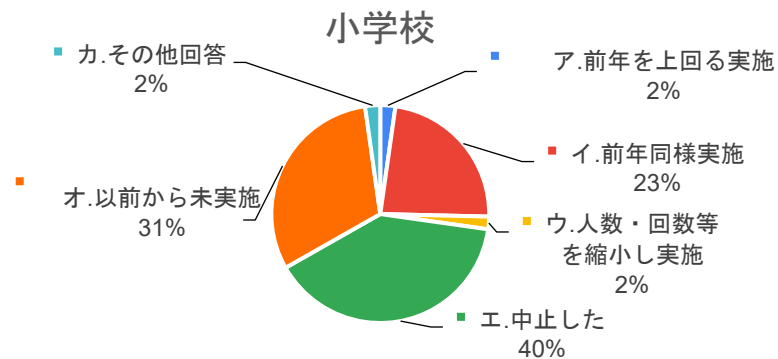
- ・学校にオートクレーブがないため検診器具をレンタルした。感染防止の観点から今後もレンタル器具で検診予定のため、レンタル代を予算化して欲しい。
- ・一昨年は歯ブラシなしで検診を行ったが、支援学校では歯ブラシ使用ができないと検診が難しい児童生徒もおり、今年度は使用した。歯ブラシは支援学校では重要だと思った。
- ・ミラーについて、コロナ禍により、ディスポを使用していますが、学校の特性上、処分方法も簡単ではないことが問題点です。ミラー滅菌を業者委託が出来ると思えば良いと思いますが、予算等の様々な理由で煮沸に切り替えていくことも検討しています。
- ・コロナ禍で受診を控える家庭も多いのか、治療勧告生徒の受診率は低い結果となった。
- ・一人一人に感染症対策を行うため、時間がかかる
- ・感染対策をどのように行うかを、事前に校医とよく打ち合わせを行うことが大切だと感じた。また、支援学校は児童生徒の突発的な動きもあるため、児童生徒に安心感をもたせながら、感染対策も合わせて行えるように、事前学習の必要性もある。
- ・今年度に購入したオートクレーブで消毒した検診器具で実施したが、その他の物(例えば 器具を入れるバットや鉗子立て 等)の消毒についてどのようにしたら良いのか、分からない
- ・受診のお知らせを出しても、実際に報告が出てこない。治療が進まない。
- ・学校の規模が小さいためか、例年とほとんど変わりなく実施できた。
- ・コロナ禍で以前より検診時間を要しましたが、反対に余裕を持って落ち着いて検診を受けることができました。校医先生に多大なご協力とご理解頂き、感謝しております。
- ・検診時に介助が必要な児童生徒がおり、距離をとることが難しい場面もあった
- ・デンタルグローブを一人一人交換する時間がかかるため、コロナ前より健診にかかる時間が増えた。
- ・自分で口を開けられないなど検査が困難な場合もあり、密を避けるなどの感染症対策を優先させたため、できる範囲での検査だった
- ・再受診の促しが感染症の流行に伴い困難である。また、障害者の歯科受診受け入れの医院が少ないことで再受診につながらないことがある。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

一番多く寄せられたのは、感染対策を行いながらの検診で、より多くの時間を要するようになった事でした。また、行なっていた歯みがき指導等の不実施、検診時の感染対策の不備についても記載がありました。検診器具の準備のご苦労、検診時間、実施しての感想、検診結果、事後措置に関する内容を多数ご記載いただきました。ご参考下さい。

学校歯科保健活動について

(1)給食後の歯みがきの実施について



中等教育学校

オ.以前から未実施(1校回答)

	ア.前年を上回る実施	割合	イ.前年同様実施	割合	ウ.人数・回数等を縮小し実施	割合	エ.中止した	割合	オ.以前から未実施	割合	カ.その他回答	割合	合計
小学校	6	2.2%	62	23.1%	5	1.9%	106	39.6%	83	31.0%	6	2.2%	268
中学校	1	0.7%	26	19.0%	3	2.2%	20	14.6%	76	55.5%	11	8.0%	137
高等学校	0	0.0%	3	4.6%	0	0.0%	2	3.1%	57	87.7%	3	4.6%	65
特別支援学校	0	0.0%	16	61.5%	3	11.5%	4	15.4%	1	3.8%	2	7.7%	26
中等教育学校	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1

(1)給食後の歯みがきの実施について(その他の記入)

小学校

- ・2月から3月にかけて中止。それまでは実施してきた。
- ・給食後の歯みがき実施は強制ではなく、家庭での判断に任せている。情報提供として、歯科医会での見解と、感染リスクを減らす歯みがきの仕方をほけんだよりで周知している。
- ・歯磨きに限らず、学校生活を送るためには、水洗い場の増設が必要です。
- ・罹患発生による学級閉鎖があった時期は中止した
- ・令和2年度に開校した学校で、未実施
- ・2学期まで中止し、3学期から再開

中学校

- ・2022/2より中止
- ・感染拡大前は実施
- ・一時期中止し、再開した。
- ・推奨はしなかった。
- ・保健委員会からの呼びかけを行わないようにした
- ・禁止にはしていないが、実施しない生徒が多くなったと思います。
- ・中止するまでは、なるべく密を避け体を低くしてのうがいを呼び掛けて、前年度と同様に行っていた。
- ・新設校のため、設定なし。次年度検討予定。
- ・前年度は中止し、今年度再開して歯みがきの実施について呼びかけたが、取り組む生徒が少なかった。
- ・特別教室を開放するなどして、歯磨きができる場所を増やした。
- ・特別支援学級のみ行っていたが、現在中止となっている。

高等学校

- ・個人に任せている。
- ・給食はない。昼食後の歯みがきはコロナ前から実施していない。
- ・実施していない。

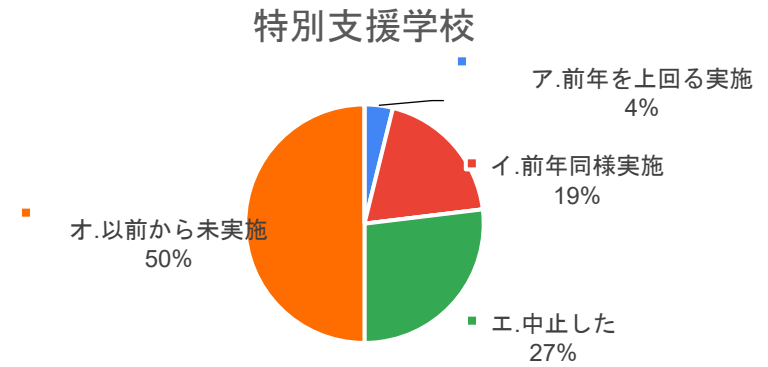
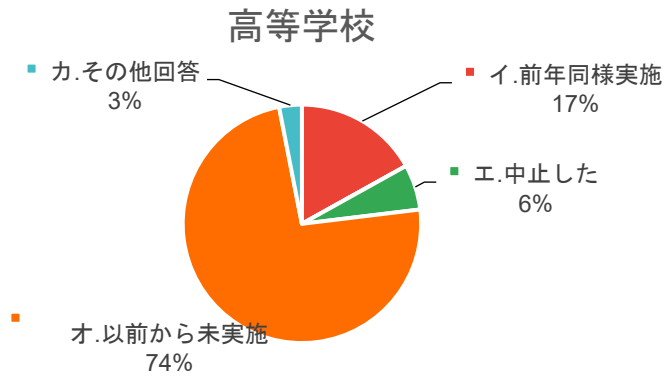
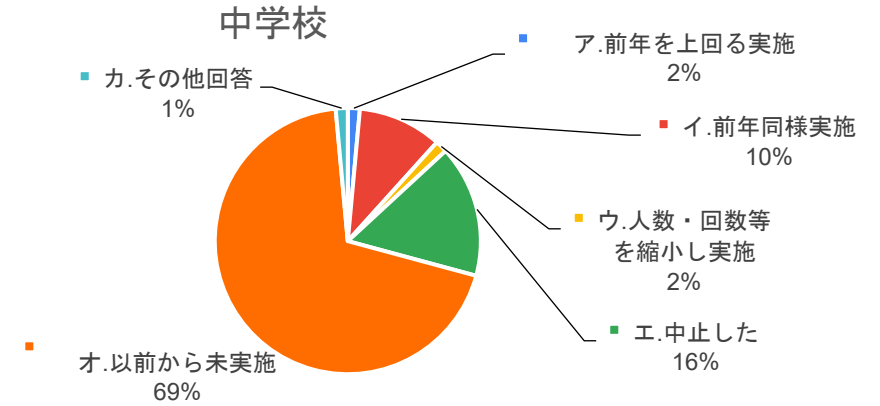
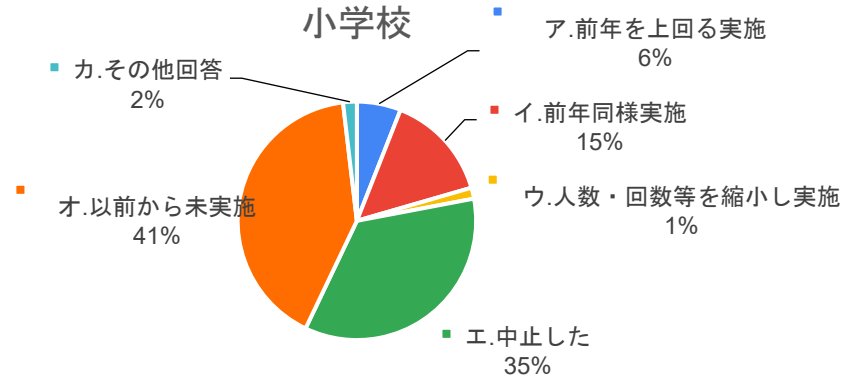
特別支援学校

- ・緊急事態宣言対象区域のときは、歯みがきを実施しなかった。
- ・病院併設の為、食事および歯みがき指導は行っていません。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

学校歯科医等による歯科講話等に関しては「中止した」学校の割合は「前年同様実施した」・「内容を縮小して実施」よりはるかに多かったようです。致し方ない結果と思われませんが、「以前から未実施」も多く、やり方を含め検討課題と思われれます。

(2)学校歯科医、歯科衛生士による講話や歯みがき指導の実施について



中等教育学校
イ.前年同様実施(1校回答)

	ア.前年を上回る実施	割合	イ.前年同様実施	割合	ウ.人数・回数等を縮小し実施	割合	エ.中止した	割合	オ.以前から未実施	割合	カ.その他回答	割合	合計
小学校	16	6.0%	39	14.6%	4	1.5%	94	35.1%	110	41.0%	5	1.9%	268
中学校	2	1.5%	14	10.2%	2	1.5%	22	16.1%	95	69.3%	2	1.5%	137
高等学校	0	0.0%	11	16.9%	0	0.0%	4	6.2%	48	73.8%	2	3.1%	65
特別支援学校	1	3.8%	5	19.2%	0	0.0%	7	26.9%	13	50.0%	0	0.0%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1

(2)学校歯科医、歯科衛生士による講話や歯みがき指導の実施についてその他の記入

小学校

- ・計画されていない
- ・計画はしたが、延期になっている。
- ・はみがき実習を行わず講話のみ実施
- ・令和2年度に開校した学校で、未実施
- ・歯みがき指導は中止したが、講話は行った。

中学校

- ・新設校のため、設定なし。次年度検討予定。
- ・数年前は実施していたが今は実施していない

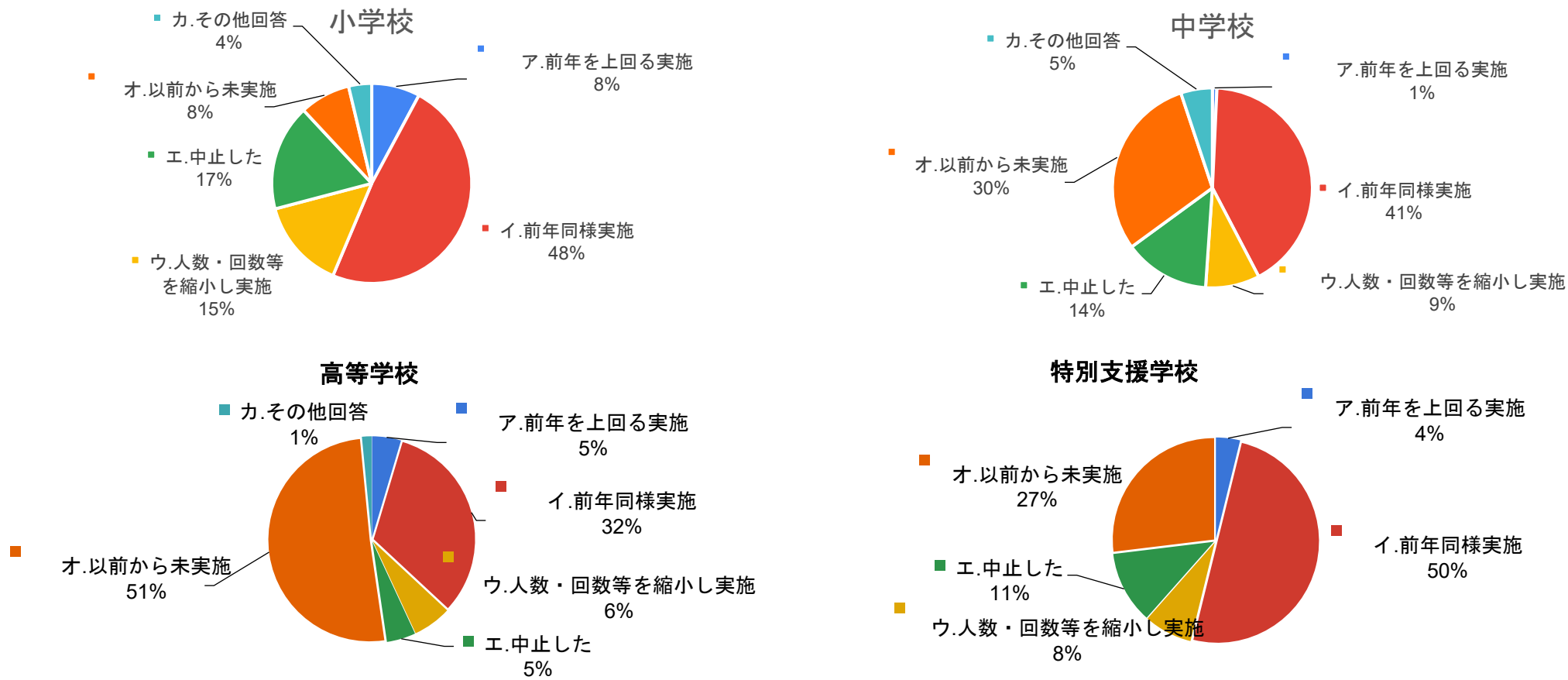
高等学校

- ・学年毎等の集団での指導は以前から行なっていませんが、検診時に個人に指導頂いています。は個人に丁寧に指導して
- ・今年度より再開

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

養護教諭、児童生徒委員会活動等による歯科保健啓発活動について、令和2年度より「中止した」が少なくなり「前年を上回る実施」「前年同様実施」が増えていました、頑張っている状況が見てとれます。

(3)養護教諭、児童生徒委員会活動等による歯科保健啓発活動の実施について



中等教育学校

イ. 前年同様実施(1校回答)

	ア.前年を上回る実施	割合	イ.前年同様実施	割合	ウ.人数・回数等を縮小し実施	割合	エ.中止した	割合	オ.以前から未実施	割合	カ.その他回答	割合	合計
小学校	21	7.8%	130	48.5%	39	14.6%	46	17.2%	22	8.2%	10	3.7%	268
中学校	1	0.7%	57	41.6%	12	8.8%	19	13.9%	41	29.9%	7	5.1%	137
高等学校	3	4.6%	21	32.3%	4	6.2%	3	4.6%	33	50.8%	1	1.5%	65
特別支援学校	1	3.8%	13	50.0%	2	7.7%	3	11.5%	7	26.9%	0	0.0%	26
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

養護教諭、児童生徒委員会活動等による歯科保健啓発活動について、令和2年度より「中止した」が少なくなり「前年を上回る実施」「前年同様実施」が増えています、頑張っている状況が見てとれます。

(3) 養護教諭、児童生徒委員会活動等による歯科保健啓発活動の実施についてその他の記入

小学校

- ・掲示物やお便りで啓発した。
- ・実施していない
- ・指導を動画で撮って全校放送で流すなどやり方を変更して実施した
- ・校内TV放送で短時間のみ実施
- ・動画や放送、おたよりで実施。
- ・むし歯予防についての動画を撮り、各学級ごとに視聴した。
- ・学校での歯磨きを実施していなかったため、夏休み一人ひとりに染め出し綿棒を渡し、各家庭で実施してもらった。
- ・長期休暇中のはみがきカレンダーの工夫
- ・実技なしで実施
- ・家庭への啓発を中心に行った(歯磨きカードの配付など)

中学校

- ・声かけ程度(養護教諭、保健委員会ともに)
- ・以前は栄養士と連携して各学級で指導を行ったが、コロナ禍のため、掲示物の作成を共同で行いました。
- ・新設校のため、設定なし。次年度検討予定。(今年度は2学期に再受診勧告を実施。)
- ・保健便りを活用した啓発
- ・前年度中止した活動(給食後の歯みがきの呼びかけ)を再開した。
- ・保健だよりでの啓発
- ・保健だよりや掲示物での啓発は行えた

高等学校

- ・保健だよりによる啓蒙

(4)「CO」、「GO」等の個別指導、歯科保健相談についてその他の記入

小学校

- ・各家庭にて実施。
- ・個別に声掛けをおこなった。
- ・令和2年度に開校した学校で、未実施
- ・プリント配布のみ
- ・個別にプリントを配付した
- ・特別支援学級のみ
- ・TV放送にて全校指導の実施
- ・今年度から実施

中学校

- ・書面開催
- ・新設校のため、設定なし。次年度検討予定。(今年度は検診時に結果を伝えるブースを設定。治療の必要の有無も含めて個別指導。)
- ・歯科医院でのブラッシング指導を勧めている
- ・希望者のみ実施
- ・学校ではなく、歯科受診を勧めて医療機関で指導を受けるようにさせている。(特にCO)

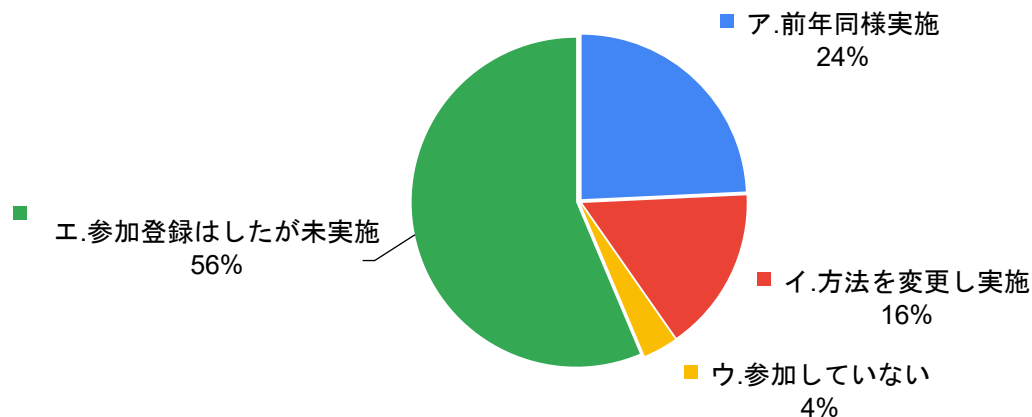
中学校

- ・結果・指導資料の配付のみ
- ・検診結果を全員に通知し意識づけ。保健だよりを通して働きかけ。

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

いずれの校種においても、中止が減少し前年度同様に実施する割合が増えてきていました。対応が進んでいるようです。

(5)小学校にお聞きします。「全国小学生歯みがき大会」への参加について



	ア.前年同様実施	割合	イ.方法を変更し実施	割合	ウ.参加していない	割合	エ.参加登録はしたが未実施	割合	合計
小学校	65	24.3%	43	16.0%	9	3.4%	151	56.3%	268

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

前年同様実施と方法を変更し実施を合わせると40%の学校が実施しており令和2年度よりもその割合は増加してきています。参加していない学校は少なくなりましたが、参加登録はしたが未実施が56%でした。せっかくの機会ですのでご活用頂ければと思います。座学の部分は学校で、実践は家庭で行った学校もあるようです。コロナ禍においては家庭における啓発も重要ですので、工夫をして活用しましょう。

(6)コロナ禍における歯科保健活動についてのご意見や県教委、歯科医師会への要望

小学校

・コロナ禍であっても、学校における歯科保健活動は大事であり、家庭教育も含めて啓発を続けていく必要を感じています。感染予防に十分配慮しながら、できる対策、できる指導を模索していくためのアドバイスをいただければありがたいです。

・学校で感染対策をしながら歯磨きをさせるのは大変です。感染状況を見ながら再開していきたいです。

・歯磨きによる感染可能性の報道による影響は大きい。児童が感染不安で出席停止もしている今、歯磨きは何となく不安という影響は大きい。

・学校での歯磨き指導の機会が減り家庭での取組みが重要になる。保護者への啓発を進めて欲しい。コロナ禍での歯科指導のあり方を示していただきたい。

・低・中学年向け指導のための動画配信を希望します(学級で担任でも指導可能な30分程度のもの)。大規模校では養護教諭が保健室を不在にすることが不可能です。

・家庭に向けて、治療の協力と寝前の歯磨きを呼びかけて4年、効果が上っていて、コロナ禍でも口腔の状態は悪くならず、歯科校医の先生と喜んでいきます。むし歯の多い児童はいますが、治療は何とか続けてくれています。今年は、タブレットを家庭に持ち帰り、歯磨き動画を家の人と一緒に見てもらうようにしました。給食後の歯磨きよりも効果があるのではと感じています。保護者と見れる短く楽しい動画をもっと増やしていただけると嬉しいです。今回は冬休みの宿題にしました。長期休みにまた実施したいです。

・歯科医師会の中で、検診時の感染症対策についての周知を強化してほしい。

・特になし。コロナ渦における歯科保健について情報があれば、提供していただきたい。

・「歯みがきはむし歯だけでなく感染症予防にもつながる」という情報や、感染リスクを減らす歯みがきの仕方について、専門家から公式に発表があることで、学校としても保護者に情報提供しやすく、大変ありがたく感じました(公的ではないネットニュース等の情報は使用しないこととしています)。

・歯磨きをさせたいですが、感染リスクを考えると躊躇してしまいます。水道の数が増えるなど、歯磨きがしやすい環境になるとありがたいと思います。

・歯科医師会から学校での歯磨きの見解ややり方などが通知されたので、給食後の歯磨きを再開しやすかった。

・学校での歯磨きについて歯科医師会から見解や通知が出されたので歯磨きの再開がしやすかった。

・歯科校医による歯磨き指導を計画したことがないので、計画を考えてみます。

・昼食後の歯みがきは、どうなったら再開させても大丈夫か。

・歯科校医の先生には、いつもご指導ご支援をいただき、感謝しております。今後とも、どうぞ、よろしく願いいたします。

・ブラッシング指導を行わないのでできる歯科保健指導の資料や教材について教えて欲しい

・現在、マスクを外す活動(体育・音楽・給食等)は、特に細心の注意を払い、それでも中止せざるを得ない活動もあり、歯科保健活動もかなりの制限の中でやっています。家庭と協力しながら工夫をして、取り組む必要があると思っています。

・ICTを活用した歯科校医の講話やクラス人数分の歯の模型を使用したブラッシング指導をお願いしたいです。

・歯科校医の先生には、コロナ禍においても歯科検診を行っていただき、また学校保健委員会にも御出席していただいてコロナ対応の御助言をいただき、大変感謝しています。

・コロナが落ち着き、歯みがきの指導が可能になったら、学校歯科医や保健センターからの講師を招いての活動を実施する計画です。

・検診器具の滅菌や帯同看護師の協力について要望します。

・学校は集団生活のため、かなりブラッシング指導にリスクがあると感じています。家庭で取り組めるような動画やパンフレットがあるとお勧めしやすいと思います。

・実技・染め出しはできないので、動画などの指導資料があると助かる。

・コロナ禍でも有効な指導のあり方や取り組みについてアイデアをいただきたい。

・様々な情報が錯綜する中で、歯磨きでの飛沫が感染源の様な報道もあり疑問に思っていたところ、歯科医師会から歯磨きの感染防止への効果と継続の重要性の見解を示していただき、さらに感染防止に留意した歯磨き方法の動画もアップしていただき有効活用させていただいた。コロナ禍での学校歯科保健活動の

・歯科の保健指導に気軽に使用できる動画やパワーポイントの紹介

・歯医者への受診控えがみられた。昨年11月末ごろから年末までは、感染者が少なかったため、ほけんだよりなどで今が受診のチャンスと呼びかけた。学校では、水道の数や給食の時間が限られているため、歯磨き後の口をすすぐため、マスクなしで手洗い場に行列ができる。感染のリスクが心配である。

・蛇口数の関係から元々学校では歯磨きはさせていませんでしたが、家庭で歯磨き指導できるようなサイトがあればおすすめしてみたいと思います。

・今年度は歯科校医による「コロナ禍における歯磨き」という内容での歯磨き指導が予定されていたが、流行の心配な時期に重なり、中止になり残念だった。

・感染予防に配慮した学校での歯みがきの実施や歯科保健指導についてのアドバイスをいただければと思います。

・学校の水道の数、そもそも手洗い場の数が在校数に比べて少ないため、学校で歯磨きをすることが困難。特に今は密や飛沫を避けなければならないため、実施しにくい状況。歯の磨き方は、スライドで啓発しただけでは磨き方の定着につながらないと感じている。

・町の歯科衛生士による歯科保健指導を実施している。座席配置や仕切りを活用するなどの工夫をして行っている。給食後の歯磨きを中止しているが、児童のむし歯の本数が増えずに済んでいることは、年に一度のこの時間があるからだと感じている。児童も保護者も乳幼児期から関わりのある歯科衛生士に信頼があり、年に一度の大切な時間となっている。

学校では、フッ化物に頼り歯磨きを疎かにすることなく、ブラッシングによるプラークコントロールの大切さを教えるべきである。

・歯科に関する家庭用啓発冊子などがあるとよい

・う歯を予防するためにも、養護教諭等による歯科指導は重要だと考えます。現在、歯科指導を行うにあたり、飛沫を飛ばさないように内容を工夫して行なっているところですが、コロナ禍でも有効な指導方法があれば是非教えていただきたいです。

・歯ブラシ専用殺菌灯保管庫やうがい用紙コップの予算配当があると助かります。(各校に配当されている感染症対策費が増額され、歯科保健活動に流用できるようになると良いと思います。)

・歯科校医先生には、大変丁寧に検診を行っていただき感謝申し上げます。

・学校における歯磨きで、マイクロ飛沫、エアロゾルの課題解決に向けて有効な手立て、ヒントを今後もいただきたいです。

- ・現在のところ昼食後の歯みがきの再開を難しく感じています。
- ・給食後の歯みがき指導を実施できるように設備の改善をお願いします
- ・今後も御指導をよろしくお願いいたします。
- ・感染状況を見ながら、例年と変わらずに対応していただいているので感謝しています。
- ・日頃より百合江先生、繁久先生には大変お世話になっております。検診日程や実施方法についても学校の希望に添って実施していただいております。お忙しい中先生方、歯科衛生士さんにはいつも良くしていただいております。また、学校でのけがについても御相談に乗っていただいたり、診ていただいたり、本当に感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。
- ・歯みがき指導が実際にできないので、クラスの児童分の歯の模型があると良いと思います。貸してもらえれば良いと思います。
- ・歯科校医さんの手指消毒の徹底。
短時間で数百名を検診するので時間との勝負なので難しいとは思いますが、今後も1名ごとしっかり消毒をお願いします。
- ・コロナ禍でも給食後の歯みがきを実施した方がよいと歯科校医から助言がありじっししている学校もあれば、当分しない方がよいと助言される学校もある。各歯科校医のお考えで学校の歯科活動状況に違いが出ている。仕方がないことであると思いつつ、統一した見解があるとありがたいです。
- ・学校歯科校医による講話、歯磨き指導が中止になっていたが、リモート等での実施を相談していきたい。
- ・学校では「安全」が求められます。口腔衛生保持の取り組みを行う上での安全な方法や、環境の整備等、これまで以上にご協力やご助言をいただきたいと思えます。
- ・学校で積極的な歯みがき指導ができないため、各家庭で取り組めるような歯みがき指導のパンフレット等があると助かります。
- ・家庭での歯みがき習慣定着のため、保護者や子どもへの啓発資料等があると助かります。また、学校でフッ化物洗口を行うのではなく、歯科医院へ受診するよう啓発資料等があると助かります。
- ・来年度の流行状況をみながら、安全な検診の進め方について学校歯科医と相談して決めていきたいと思えます。
- ・同じ地区でも、歯科校医が違うと見解が変わるのを、統一してほしいです
- ・実践例を紹介してほしい。
- ・マスク生活で児童の歯や歯肉を見る機会がないため、衛生状態についての声掛けや早期の段階での疾病の発見ができないことが、悪影響を及ぼしていると思う。
- ・学校歯科医の徹底した感染予防対策の下に、歯科検診を実施してもらえることは大変ありがたい。また、このコロナ禍により、市教育委員会が全小中学校のオートクレーブ滅菌を導入してくれたことは良かった。
- ・手袋を全員交換することやペンライトを口の中に入れられないなど、歯科医師会から歯科校医へ伝えていただけると助かります。
- ・健診も時間をかけて、丁寧に診ていただきグローブも交換しているので要望はありません。

- ・歯科に関する意識が下がるとむし歯や歯肉炎への影響が大きいので、講話など可能な形で継続したい。
- ・本校は児童数が多く、検診に時間を要するので、歯科校医以外の歯科医の複数派遣をしていただけると助かります。
- ・学校がクラスター感染の場にならないよう今後共お力添えを賜りますようお願いいたします。
- ・歯科医師会から染め出しの錠剤を配布していただきたい。学校では現在の感染状況では歯みがき指導ができないため、家庭で行えるように働きかけていきたい。また、子どもたちが楽しく歯みがきをすることができるよう、歯みがきカレンダー等を活用した県全体での取組があると嬉しいです。
- ・歯・口の健康づくり教育教材や歯みがき指導のDVD等を保健指導で活用させていただき、大変助かっています。今年度、歯科校医からマスクの着用で表情筋等が衰えている様子が見られると言われました。表情筋を鍛えられるような児童向けのDVDやパワーポイント教材を作成していただくと指導しやすくなります。よろしく願いいたします。
- ・コロナ禍において、歯科医院とは異なる(対策しても万全とは言えない)学校という場で、子どもたちの口腔衛生のために例年どおり検診を行なってくださった歯科関係者の方々に感謝申し上げます。
- ・定期的に歯科受診をして、口腔内の衛生管理をしている家庭が多く、フッ化物洗口は学校現場で行うのではなく、保護者意志でかかりつけ歯科と相談した上で実施していくことが適切ではないかと考えます。この2年では歯垢・歯肉の状態に大きな変化はみられていませんが、コロナ禍においてはマスクを着用しての生活が長くなっているため、今後口腔内の衛生状態や顎の発育について注視していくことが大切ではないかと思っています。
- ・日本学校歯科医会で出されている、『給食後の歯みがき実施のためのチェックリスト』や『給食後の歯みがきスタイル ポスター』、『手を用いた(歯みがき)指導方法』等、コロナ禍でも工夫した歯科保健指導が行えるよう、様々な教材があり、参考になっています。
- ・ブラッシング指導が難しい状況ではありますが、工夫できることなど具体的に教えていただければと思います。
- ・はみがきが定着していた学校も中止している所が多く残念です。工夫点等について再度働きかけていただけるとありがたいです。

中学校

- ・小学校勤務のときに全国小学生歯みがき大会に参加していた。中学校バージョンがあれば利用したい。現在、歯科校医との連携ができないため。
- ・問診票に該当して当日歯科検診を受診できなかった生徒は、無料で検査を受けられるようお願いしたいです。
- ・コロナ禍でもできる歯磨き指導の仕方があれば、教えていただきたい。個別指導で気をつけたほうが良い点を教えて欲しいです。
- ・歯科校医さんが素手で次々検診をしている現状が現場でおこっています
このアンケートが感染対策や緊急事態宣言での歯磨きについてなので答えにくかったです
本校の昼歯磨きは、コロナが出始めた最初の時期に中止、その後早々に再開し継続していました、今回オミクロンで保健所から町への指導があり中止しています

- ・口腔はウイルスがいる可能性の高い場所なので細心の感染対策が大切だと感じます。
- ・石巻市での「お口の健康教室」に取り組んでみたいと思うが時数確保が難しい状況がある
- ・学校内の流し場は、数に限りがあり、昼の歯磨きを実施させた場合、絶対に密な状態になる。感染リスクへの不安の声が生徒、職員から多いため実施を中止しているのが現状である。再開するためには、その不安を払拭するような通知文やポスター等を各学校や家庭に配布していただく等の措置がないとなかなか積極的な歯科保健活動への参画が難しい。
- ・歯科保健活動についても給食後の歯みがき指導についても中止せず対策を講じて継続していくことが大切だと感じています。
- ・短時間で視聴できる中学生向けのDVDなどがあれば活用したい
- ・コロナ禍以前は検診器具が煮沸消毒でしたが、医師会の方で提言していただき、使い捨ての検診器具を教育委員会が準備してくれるようになったので、本当に良かったと思います
- ・学校におけるフッ素の集団洗口は絶対に導入しないでほしい
- ・①前任校では、給食後の歯磨きを実施していたが、コロナ禍に転任して、現在校では、行いたい、行っていない。コロナ禍のため、いつ頃(いつになったら)歯磨きををさせていいのか教えてほしい。(手立てなども含めて)
- ・リスクを避けながら実施できる方法を、コロナウイルスの流行や変異の状況に合わせて考えていきたいと思っています。
- ・マスク生活になり、生徒の口腔状態を把握しにくくなったように感じています。
- ・コロナ禍でできる歯科保健の事例を知りたい
- ・実際にどのような影響が出ているのか気になります
- ・コロナの感染拡大防止のため、歯みがきを中止している学校も多い中、集団フッ化物洗口を行っている学校もあると聞き不安に思っています。歯科保健活動による感染拡大が起こらないよう、歯科医師会からも中止の指示を出していただきたいと思っています。
- ・コロナ禍前は生徒にすごく接近しながら検診しており、その状況で何とか判定をしていた状況です。コロナ禍になり、生徒に近づくと困難となり、歯科校医の先生の年齢による体力の面と検診の結果が心配です。
- ・参考資料などがありましたら、今後もホームページ等でご紹介いただければと思います。
- ・ブラッシング指導など感染リスクのある個別の保健指導を実施すべきか迷うところがあった。感染リスクを抑えつつ個別指導を行う際のポイント等があれば教えていただきたい。
- ・口腔内を清潔に保つことは、感染症予防にもつながると思います。より安全で効果的な歯磨き方法を教えていただければと思います。
- ・コロナ禍であっても、できる方法で歯磨きが継続していけるよう、学校の施設面(水道の数など)でも補助が必要だと感じています。
- ・一日に1回丁寧な歯磨きをすれば良い、という歯科医もおり、学校での歯磨き指導について迷うところです。特に新型コロナの流行に伴い、うがいによる感染の可能性を考えると歯磨きはもとより、フッ素洗口も心配です。

高等学校

- ・コロナ禍の中大変な時期なのにもかかわらず、生徒の為に熱心に歯科保健に取り組んでいただき感謝申し上げます。
- ・コロナ禍で不安の残る中、先生方には検診や健康相談等の活動に積極的に取り組んでいただき、大変助かりました。
- ・普段から定時制は時間に限りがあり、保健活動の時間も個別に確保して対応しているが、コロナが落ち着いたら、歯磨き指導等で専門家に夜間だが来校指導していただけるとありがたい。
- ・県立高校は生徒数も多いため、仙台市のように滅菌業者と県が委託契約をし、スムーズな器具の滅菌が行われることを望んでいます。また、感染症予防との兼ね合いで、歯科保健指導の実施に難しさを感じる場面もありました。
- ・歯鏡の業者委託が難しい場合は、歯科校医に滅菌していただきたい。以前勤めていた学校では校医の先生から「生徒数多くて大変だろうから」と校医のご厚意で滅菌消毒していただいていた。こちらからお願いするのは心苦しいため、是非歯科医師会から各歯科校医へご協力依頼をしていただけると幸いです。
- ・講話等は難しいため、それに代わる資料やオンライン対応の工夫(動画)を希望します。
- ・高校生対象の歯科受診券など、アピールと実益が伴う制度があると良いです。
- ・学校歯科医の先生方には感染対策について事前の打合せで依頼しておりますが、検診時間に生徒の前で消毒について学校医の先生に進言することは難しいです。歯科医師会様からも感染対策が徹底されるよう、学校医の先生方をお願いしていただきたいです。
- ・コロナ禍における生活習慣の変化等により今後益々口腔衛生の悪化が懸念される。
- ・「衛生管理・感染予防」を最優先事項と考えています。器具は「煮沸消毒」でも大丈夫なのでしょうか？県教育委員会ではオートクレーブの購入を促していますが、小さいオートクレーブでは煩雑です。多くの学校現場としては、器具のリースと滅菌作業の「業者委託」を希望しています(市町村の教育委員会では業者委託と変更したところ有)。大人数の学校であるほど、管理や感染予防策は困難を極めます。100人程度の学校、1,000人近い学校等様々あるなかで、どの学校でも安心・安全に歯科検診が実施出来るような環境を希望します。
- ・本校の歯科検診は歯科校医が衛生士さんを複数同行されての検診で非常に助かっています。また、一人一人丁寧に時間をかけて診ていただけることで生徒の歯科衛生に対する意識も違っていると感じます。
- ・歯科校医にご協力をいただきおり、感謝しています。高校では、細やかな歯科保健活動はなかなか難しい現状があります。

特別支援学校

- ・支援学校の児童生徒にも使用できる教材を増やしてほしいと思います。
- ・コロナ禍で安全に歯みがきを実施するポイント、物品等について 教室掲示できる資料があるとありがたい

宮城県歯科医師会学校歯科部会の考察

大変多くの多岐にわたるご記入を頂きました。ありがとうございます。今後とも課題を共有しながら少しでもお役に立てればと思います。

さて、基本に戻ってもう一度学校歯科保健活動の必要性を考えてみましょう。現在は少子・超高齢化の時代です。人生100年の時代ともいわれています。教育現場の学校において、生きるための根源ともいわれるお口の健康について、子供たちに理解を深めさせ、社会に送り出すことは大変意義のあることです。

「三つ子の魂百までも」との諺がありますが、さらに学校での発育段階に応じた知識や実践の体得は、生涯にわたるお口や全身の健康観を確かなものとしませう。また、家庭間の差異の解消も期待できるところです。

しかし、このようなコロナ禍においてもどのように対処したらよいのでしょうか。学校自体の運営も以前のように戻るのでしょうか？我々も正直迷っています。今は曲がり角に立っているのでしょうか。今までと同じやり方では成しえないこともあると思われます。それでも、先生方には、お口の健康の重要性を鑑み、その支援の在り方をそれぞれのお立場で前向きに考えて下さい。関係者みんなで知恵を絞って情報を共有しながらこの難局を乗り越えていきましょう。

学校でできないことは、家庭での協力も得なければなりません。また「保健だより」等で家庭への情報提供や啓発も今以上に必要となるでしょう。

- ・「生きる力をはぐくむ」歯・口の健康づくり教育教材
- ・「生きる力をはぐくむ」歯・口の健康づくり食育教材
- ・「全国小学生歯みがき大会」DVD
- ・日本学校歯科医会ホームページの教材・資料などの教育ツール

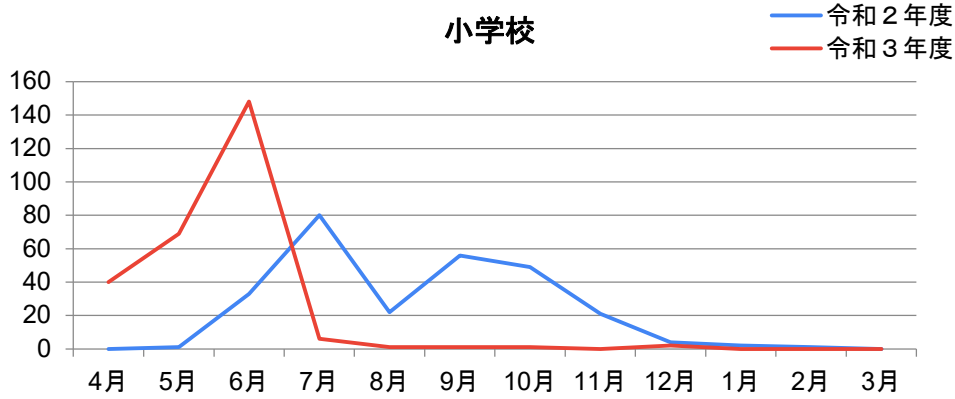
などの活用も改めてお勧めいたします。

令和2.3年度 学校歯科検診に関するアンケート調査の比較

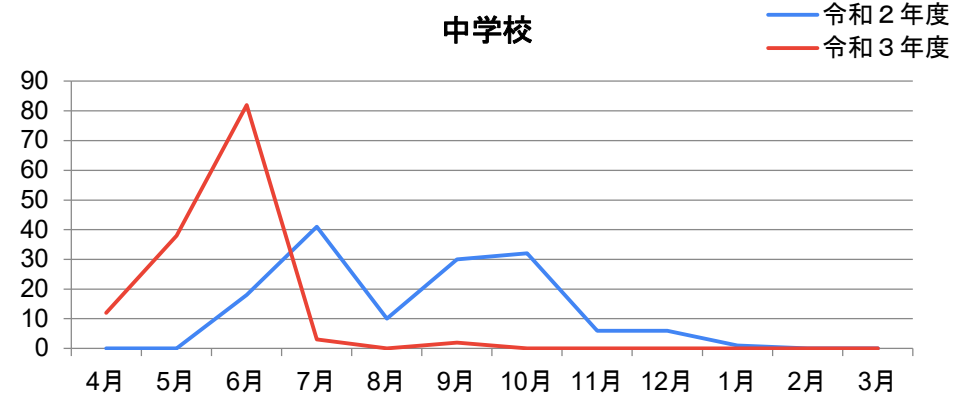
学校歯科検診について

(1)学校歯科健診はいつ終了しましたか。

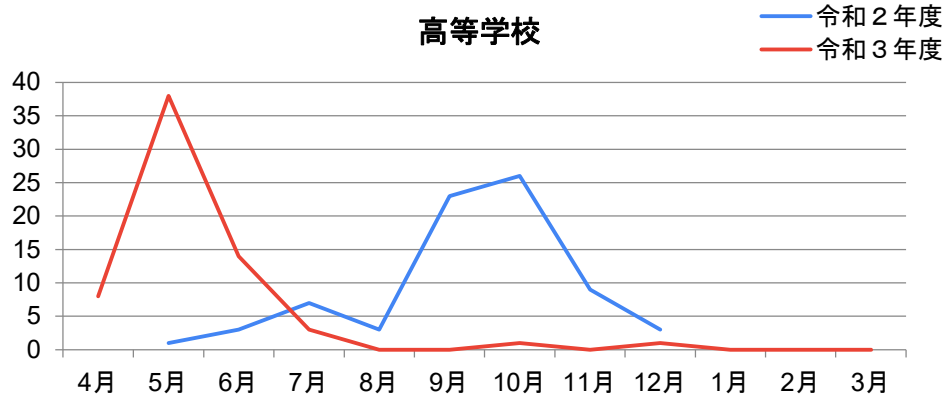
小学校



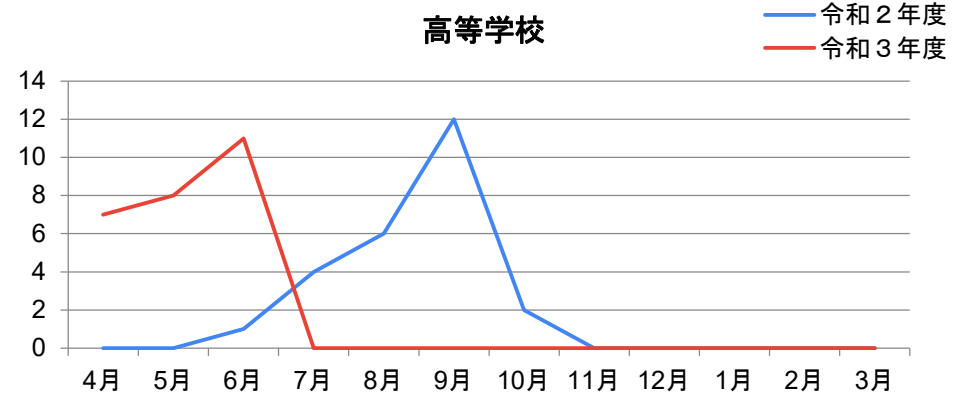
中学校



高等学校



高等学校



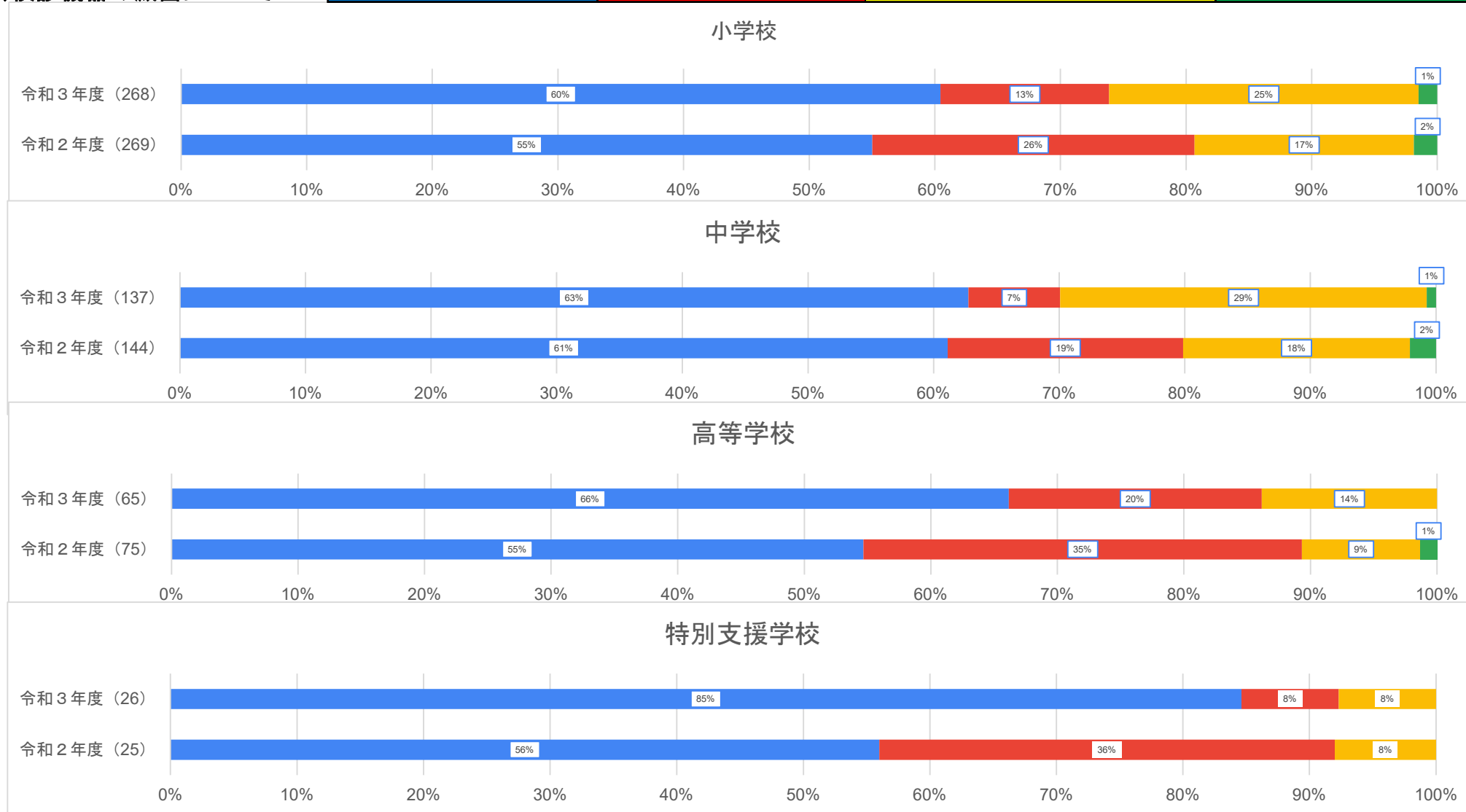
中等教育学校

令和2年7月終了(1校回答)

令和3年6月終了(1校回答)

(2) 検診機器の滅菌について

ア.オートクレーブによる滅菌 イ.その他の消毒(薬液、煮沸等) ウ.その他(ディスポの検診器具の使用等) 未回答



中等教育学校

令和3年度 ア.オートクレーブによる滅菌(1校回答)

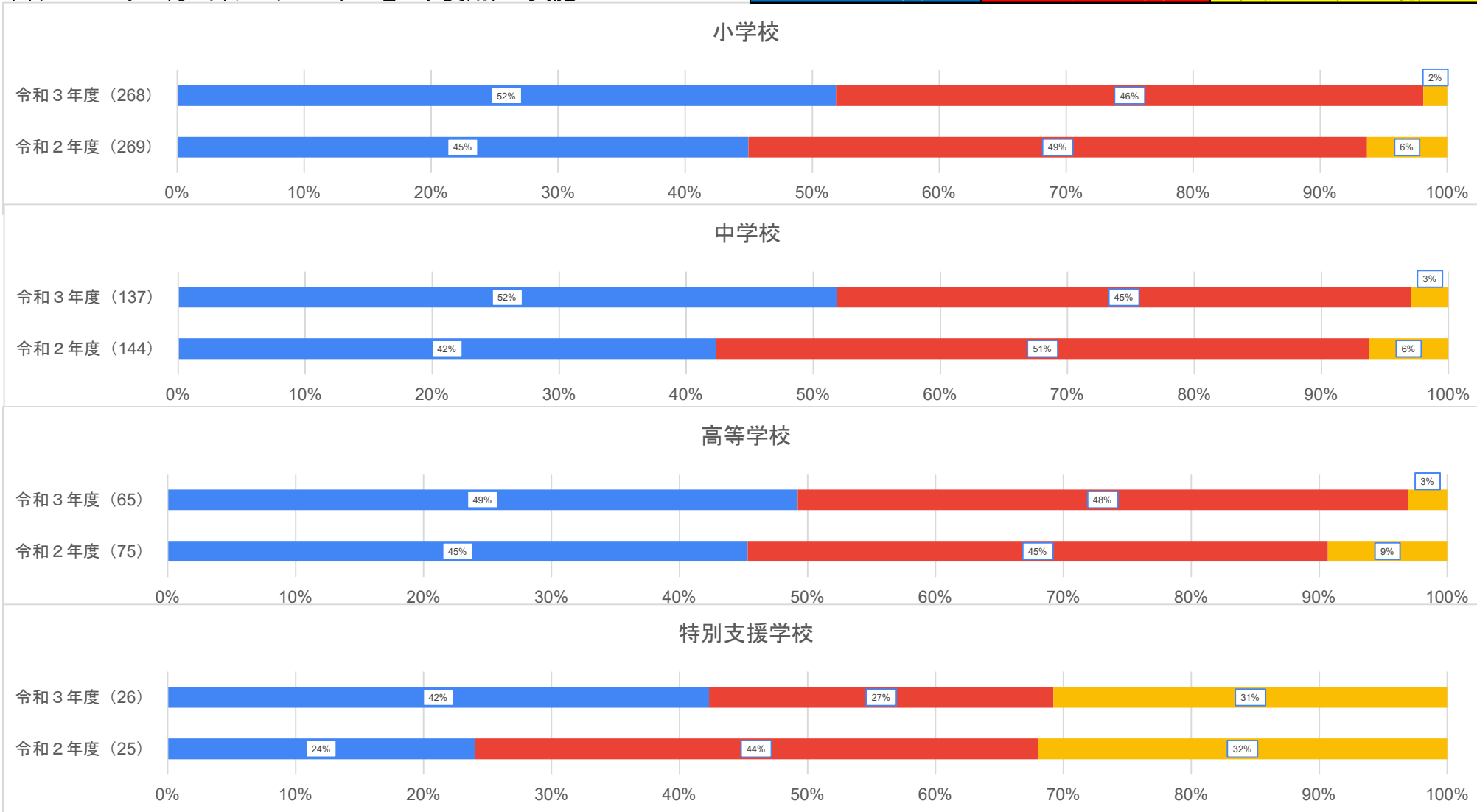
令和2年度 ア.オートクレーブによる滅菌(1校回答)

(3)ダブルミラー方式(デンタルミラーを2本使用)の実施について

アダブルミラー方式で実施

イシングルミラー方式で実施

ウ.その他の方法(歯ブラシ等併用)



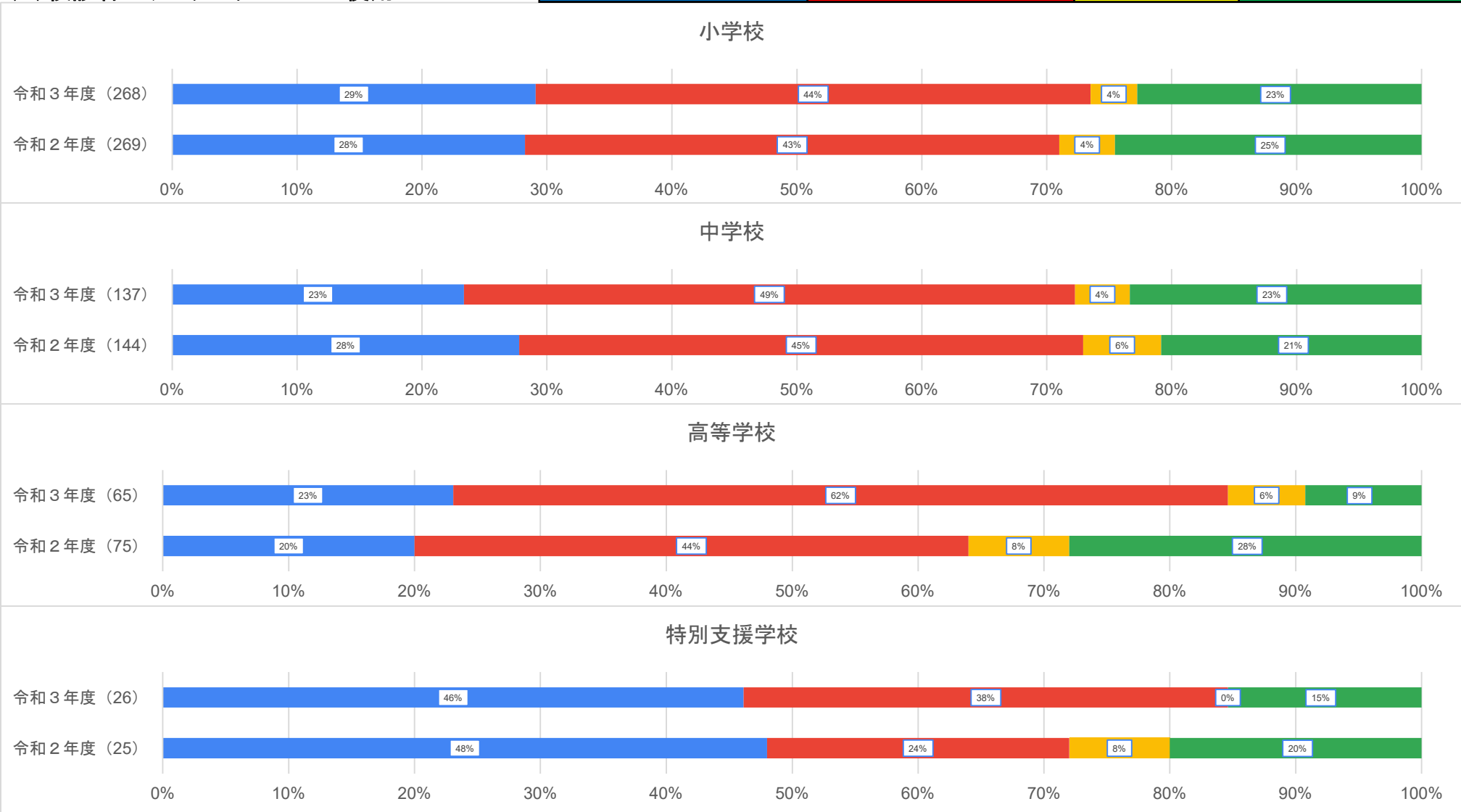
中等教育学校

令和3年度 ダブルミラー方式で実施(1校回答)

令和2年度 シングルミラー方式で実施(1校回答)

(4) 検診者のデンタルグローブの使用について

ア.全ての児童生徒に対し交換
イ.口腔内触診などの際に交換
ウ.交換なし
エ.その他(アルコール消毒等)



中等教育学校

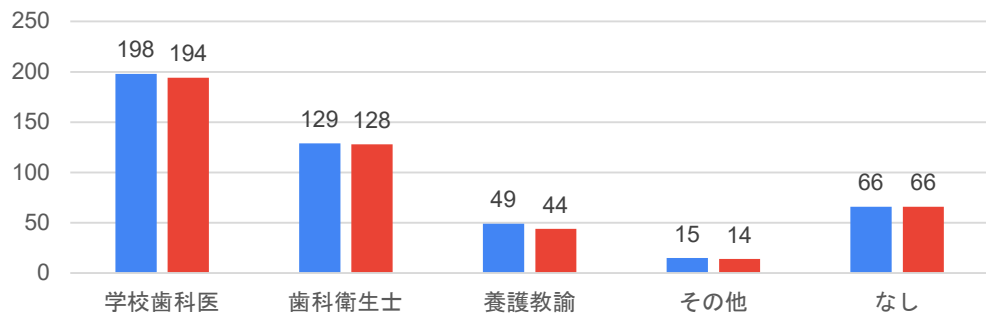
令和3年度 口腔内触診などの際に交換(1校回答)

令和2年度 その他(アルコール消毒等)(1校回答)

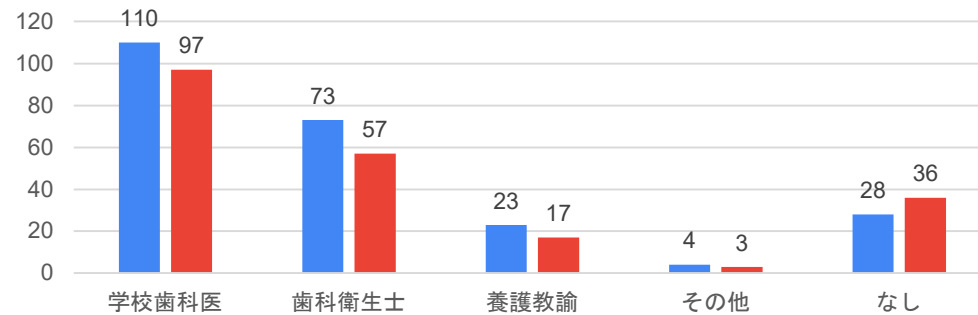
(5)フェイスシールドの着用者について(人数)

令和2年度 令和3年度

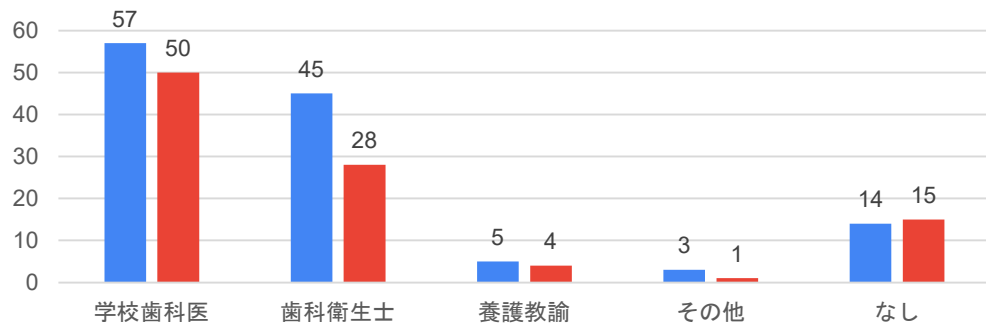
小学校



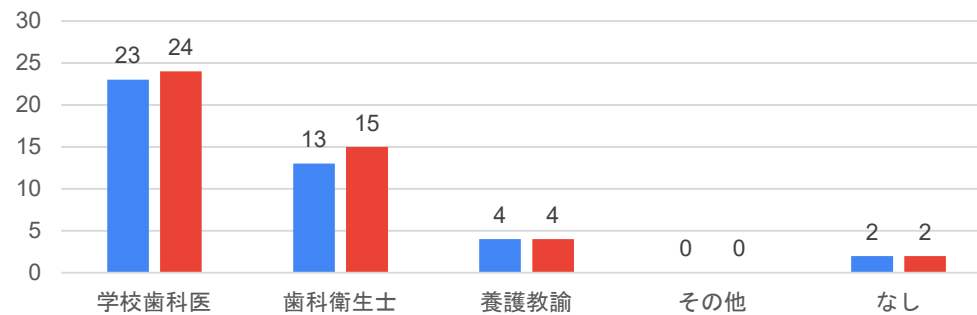
中学校



高等学校



特別支援学校



中等教育学校

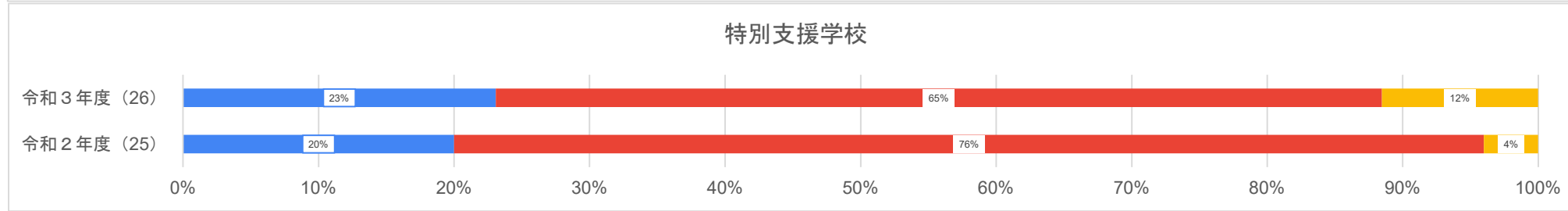
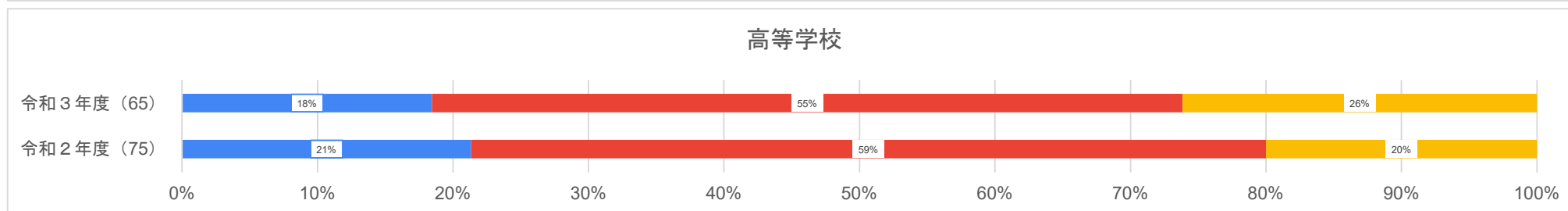
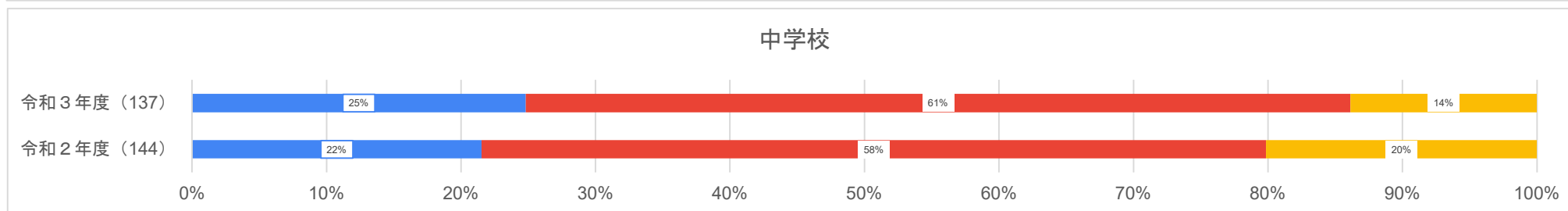
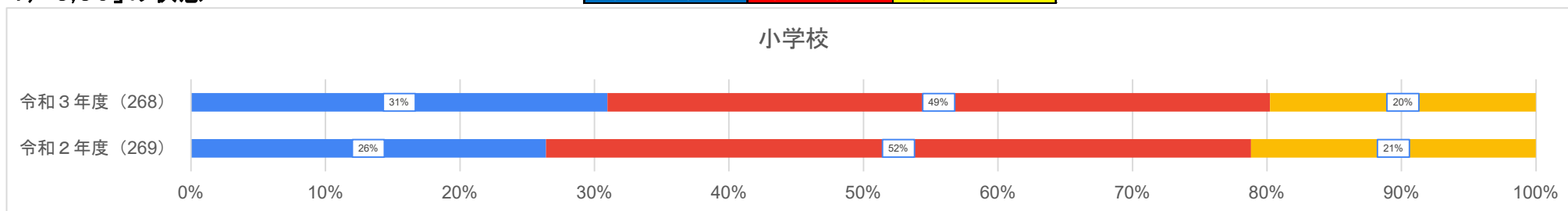
令和3年度 学校歯科医(1校回答)

令和2年度 なし(1校回答)

(6)前年度の検診結果と比較して変化がありましたか

1)「C,CO」の状態

ア.前年より良い イ.前年同様 ウ.前年より悪い



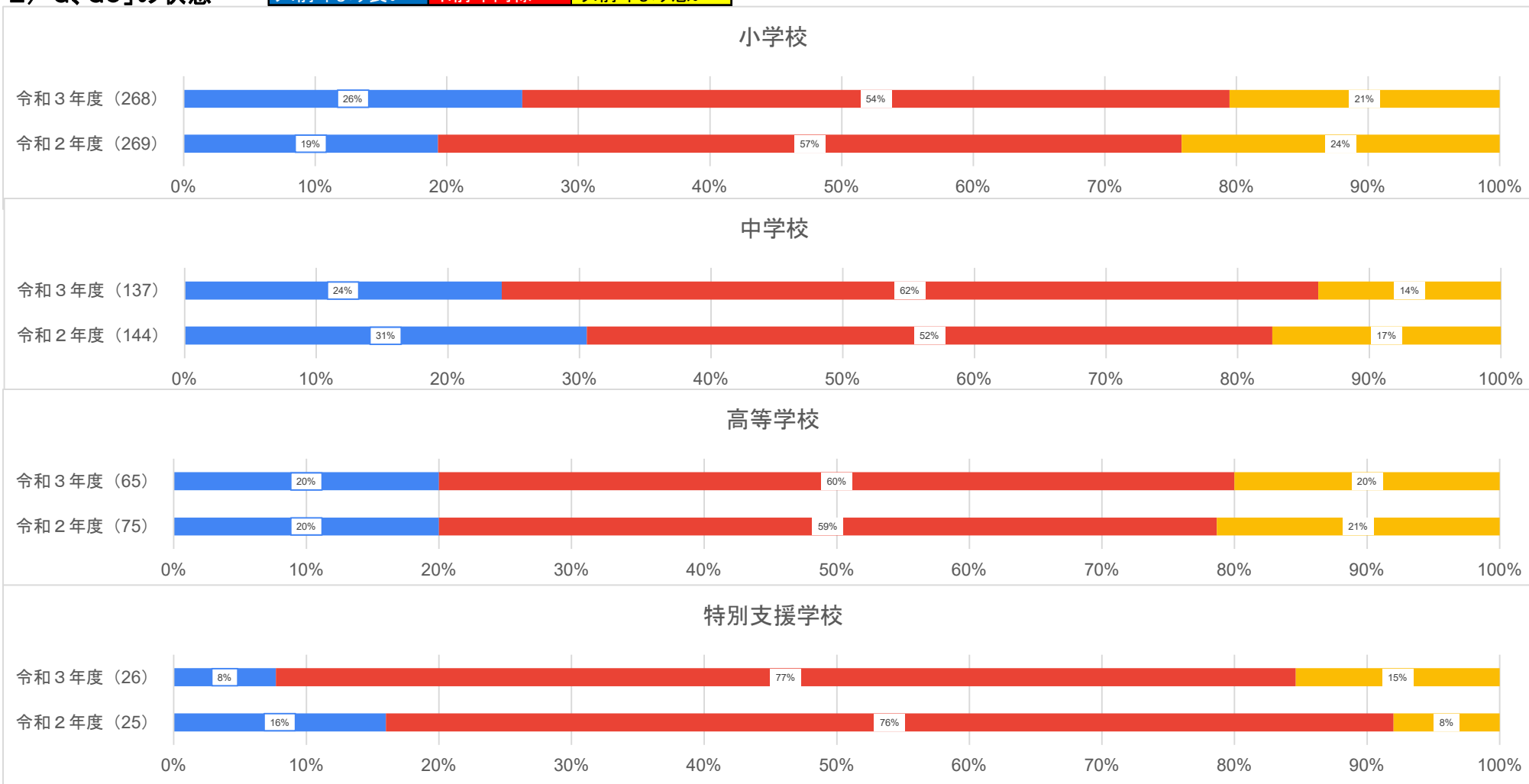
中等教育学校

令和3年度 前年同様(1校回答)

令和2年度 前年より良い(1校回答)

2)「G、GO」の状態

ア.前年より良い イ.前年同様 ウ.前年より悪い



中等教育学校

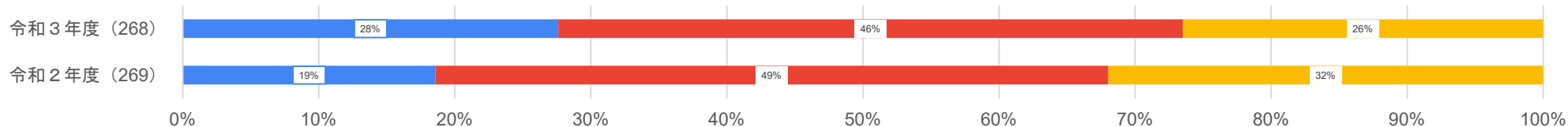
令和3年度 前年より良い(1校回答)

令和2年度 前年より良い(1校回答)

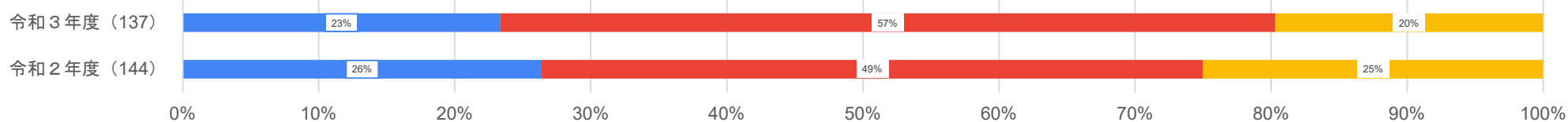
3) 歯垢の状態

ア.前年より良い イ.前年同様 ウ.前年より悪い

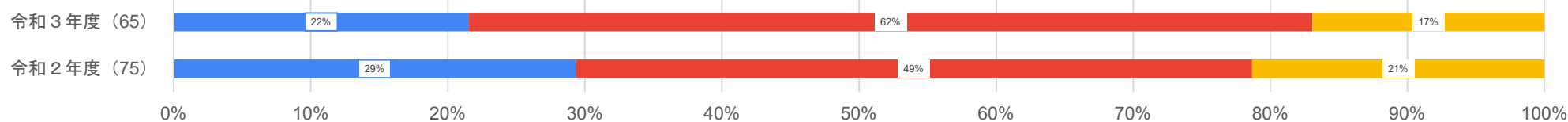
小学校



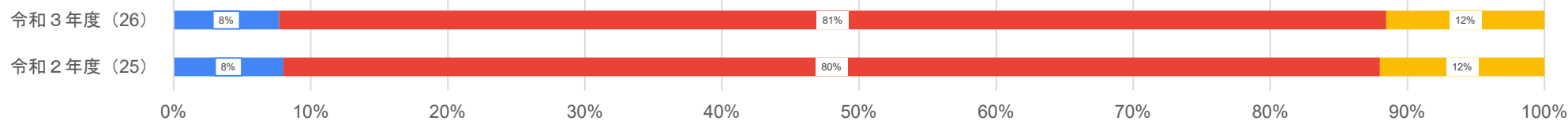
中学校



高等学校



特別支援学校



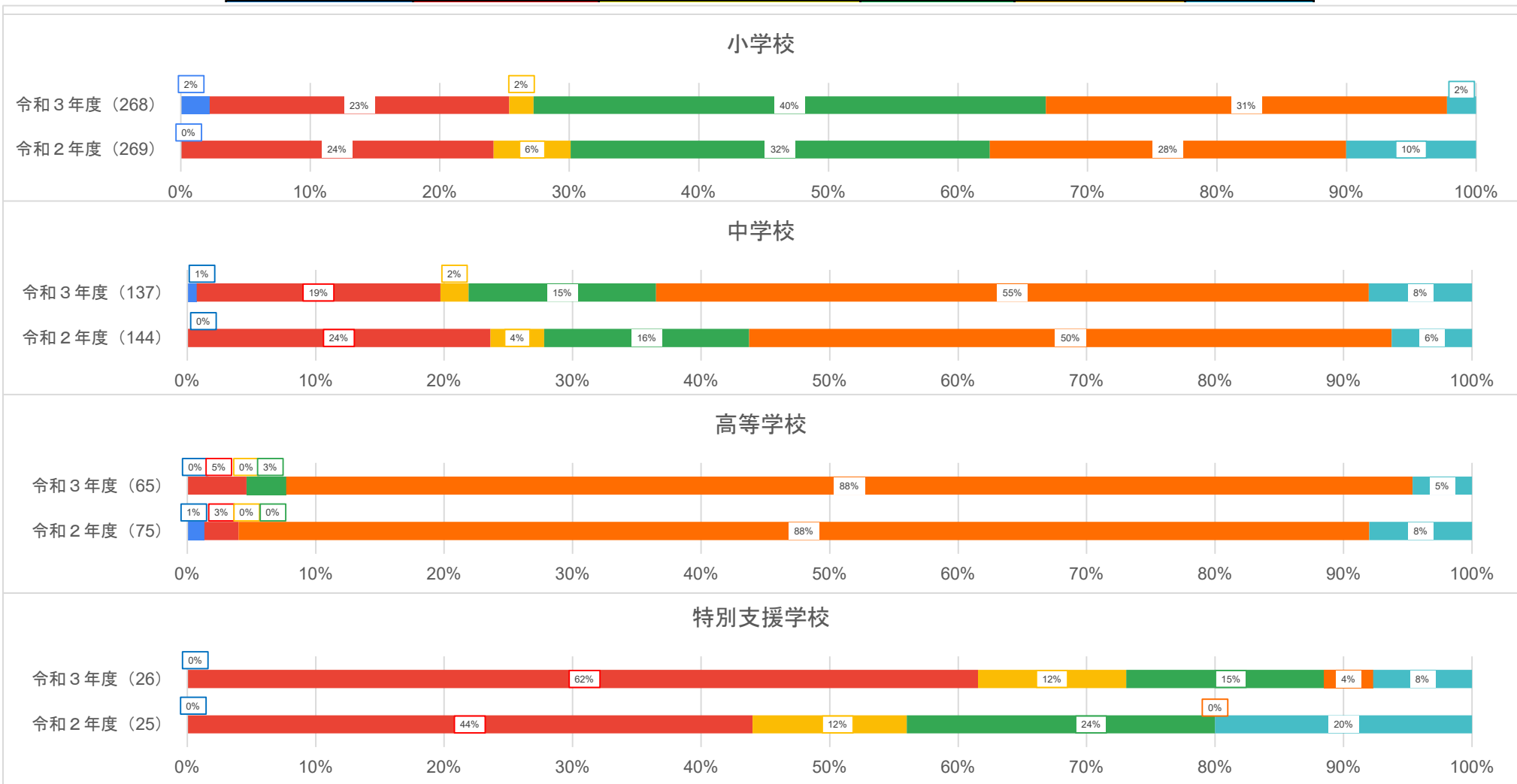
中等教育学校

令和3年度 前年同様(1校回答)
 令和2年度 前年より良い(1校回答)

学校歯科保健活動について

(1)給食後の歯みがきの実施について

ア前年を上回る実施
イ前年同様実施
ウ人数・回数等を縮小し実施
エ中止した
オ以前から未実施
カその他回答



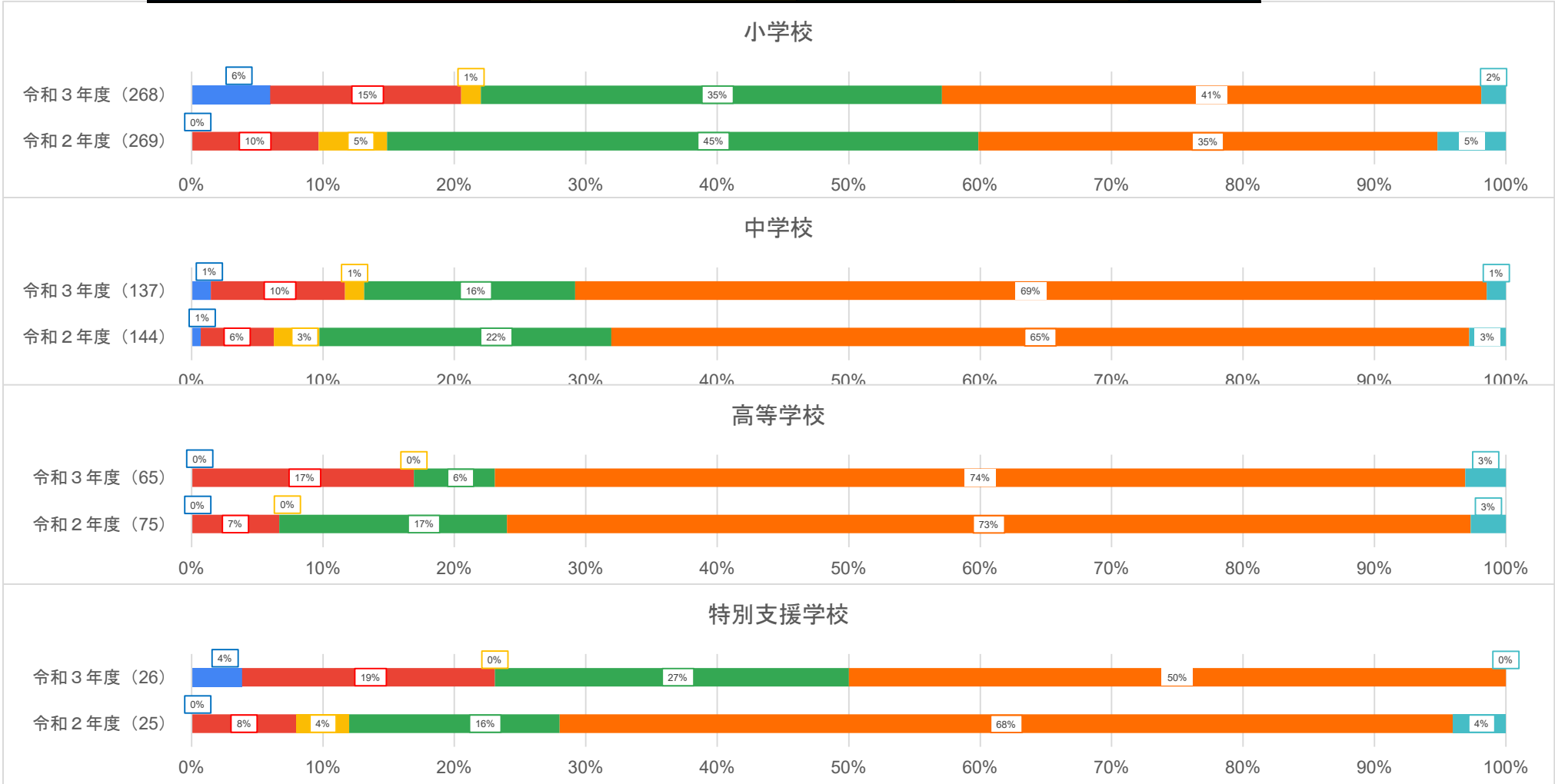
中等教育学校

令和3年度 以前から未実施(1校回答)

令和2年度 以前から未実施(1校回答)

(2)学校歯科医、歯科衛生士による講話や歯みがき指導の実施について

ア.前年を上回る実施 イ.前年同様実施 ウ.人数・回数等を縮小し実施 エ.中止した オ.以前から未実施 カ.その他回答



中等教育学校

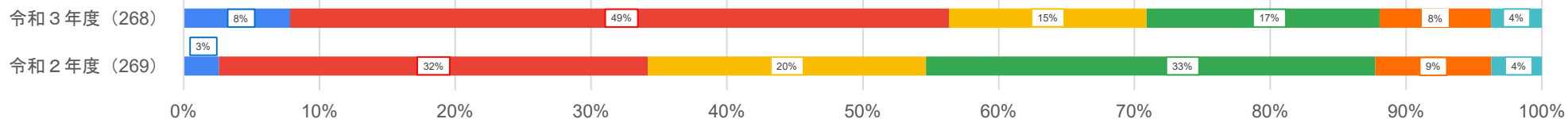
令和3年度 前年同様実施(1校回答)

令和2年度 前年同様実施(1校回答)

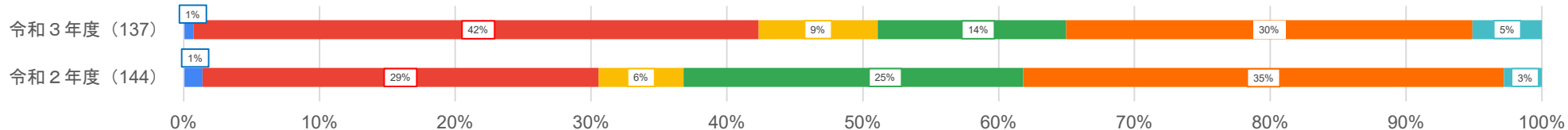
(3) 養護教諭、児童生徒委員会活動等による歯科保健啓発活動の実施について

ア.前年を上回る実施 イ.前年同様実施 ウ.人数・回数等を縮小し実施 エ.中止した オ.以前から未実施 カ.その他回答

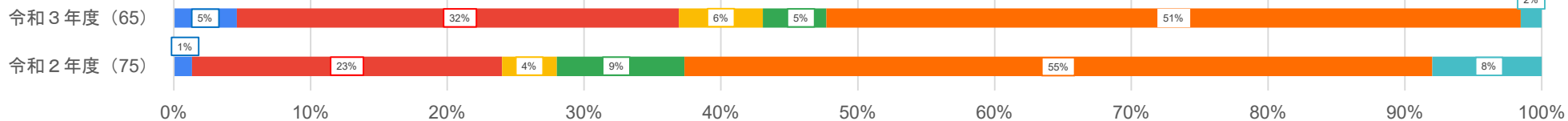
小学校



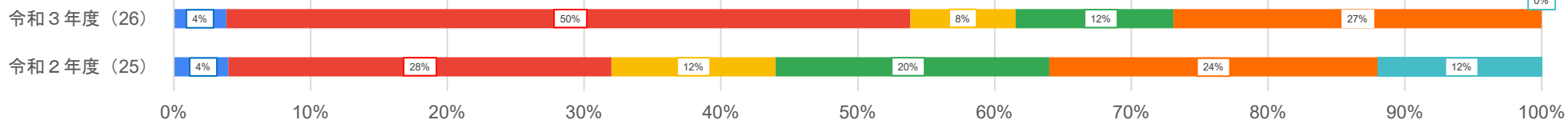
中学校



高等学校



特別支援学校



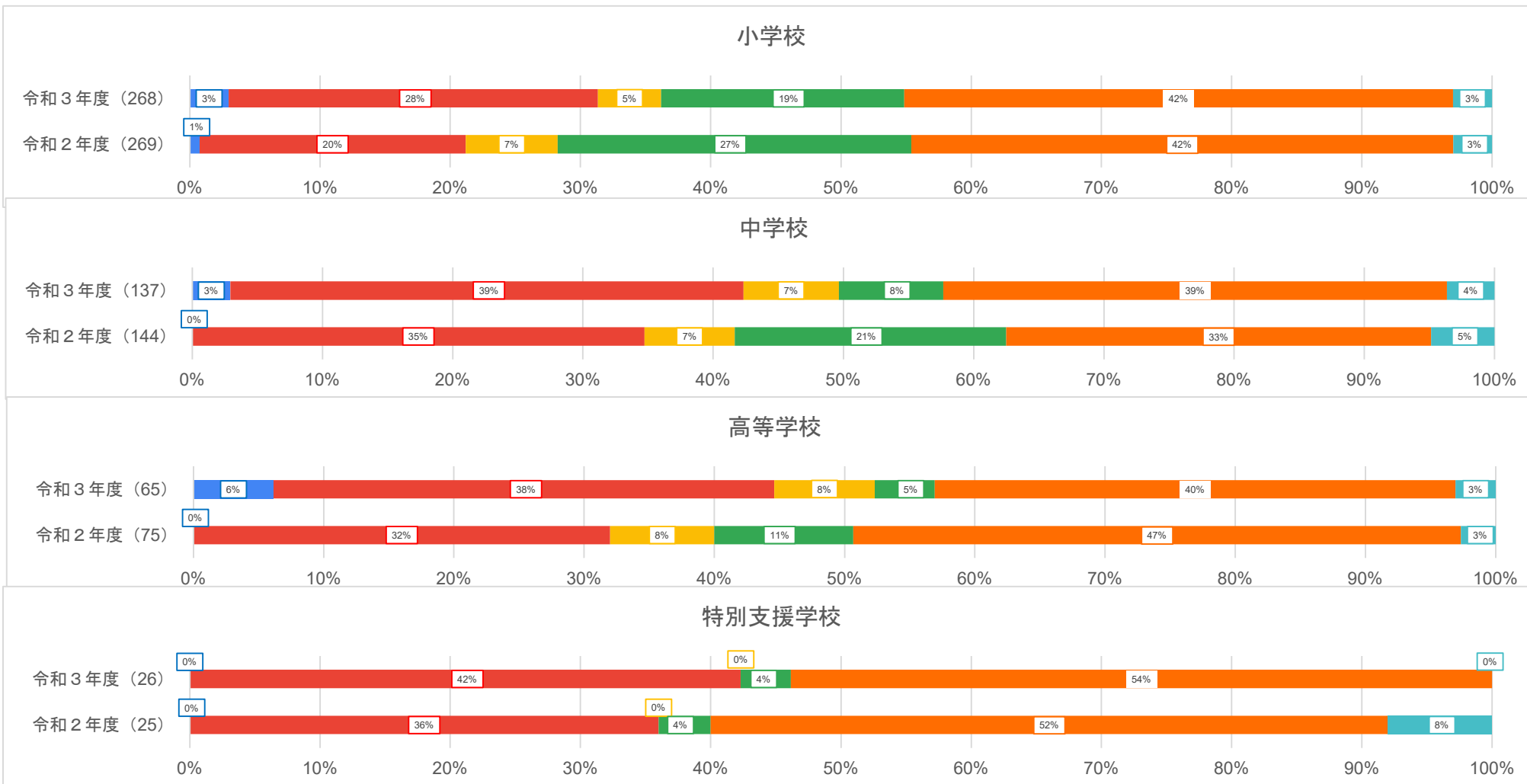
中等教育学校

令和3年度 前年同様実施(1校回答)

令和2年度 以前から未実施(1校回答)

(4)「CO」、「GO」等の個別指導、歯科保健相談について

ア.前年を上回る実施
イ.前年同様実施
ウ.人数・回数等を縮小し実施
エ.中止した
オ.以前から未実施
カ.その他回答



中等教育学校

令和3年度 前年を上回る実施(1校回答)

令和2年度 中止した(1校回答)

(5)小学校にお聞きします。「全国小学生歯みがき大会」への参加について

ア.前年同様実施 イ.方法を変更し実施 ウ.参加していない エ.参加登録はしたが未実施

